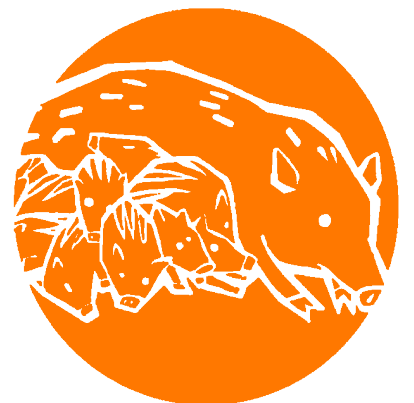


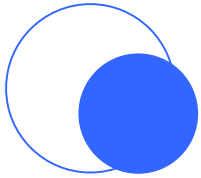
-平成25年度-

館報

2013

vol. 22





はじめに

2013年、人と自然の博物館（ひとはく）は、21年目の新しい運営の段階に入ってきました。研究者、事務員などの入れ替わりはありましたが、組織としては、人間に例えますと、自立した、自律ある成人になったといえます。ここに収録しますわたしたちの活動の成果は、これまでの20年間の蓄積の上に立ちつつも、新たな方向を目指す芽生えが各所に見られるものと確信しています。

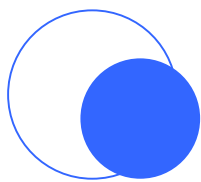
2013年の研究活動の一環として、古生物学会第163回が開催されたことがあげられます。恐竜等脊椎動物化石の研究発表が多くあったと聞いています。篠山層群の脊椎動物化石や淡路島のウミガメ化石もこの流れに位置付けられます。加えて、白亜紀のオサガメ類の化石の発見や与論島の在来性爬虫類・両生類の絶滅に関する研究などがあります。

研究活動の成果として、ひとはく研究員と共にミツバチ研究をした高校生が、第57回日本学生科学省兵庫県知事賞を受賞したことや、ひとはく研究員が、長年にわたって、兵庫県立有馬富士公園の住民参加型公運営に指導的に参画しながら、研究論文としてまとめた成果が日本造園学会賞として評価されています。

県民の皆様と協働で進めてきました参加型の各種事業が継続しています。Kidsサンデー、共生のひろば、ひとはくフェスティバルなどです。20周年を機に導入して頂きました「ゆめはく」が本格的に稼働をはじめています。さらに、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科の開設、そして、関西広域連合での生物多様性保全に貢献しています。

ひとはくでは、このような研究活動、協働型の事業、社会貢献活動を積極的に継続してきているところですが、成熟社会、高齢社会を反映して、阪神・淡路大震災以降、ひとはくの人員、予算の減少は続いています。特に、開館20年余を経過し、博物館の重要な役割である標本の収集と保存を担う収蔵庫の老朽化に伴う漏水、密閉化の不足などが深刻な問題になってきています。標本や資料は、自然史の研究の材料であるとともに、次の世代に継承すべき重要な科学的資産であるといえます。そのための装置としての収蔵庫を含めて、標本や資料の重要性や新たな意味を議論すべき時期であると思います。

これからは、20年以降の新たな活動に向けてさらに前進していきたいものと考えています。温かく見守っていただき、厳正なご批判と、有益なご指導をいただければと期待いたします。



目次

■組織及び施設概要

・ 沿革	4
・ ひとはく将来ビジョン	5
・ 常設展示の概要	6
・ 施設の概要	9
・ 組織と職員	11
・ 各研究部の概要	13

■平成 25 年度事業報

・ ひとはくトピックス	15
・ タスクフォース活動報告	26
・ 平成 25 年度事業報告	28

■資料および個人別成果

○博物館概要等に関連する資料

・ 主な収蔵資料	37
・ 情報システム	38
・ 条例等	40
・ 博物館協議会委員名簿	47

○個人別成果報告に関する資料

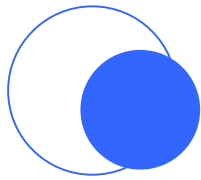
・ 館長	48
・ 自然・環境評価研究部	52
・ 自然・環境マネジメント研究部	85
・ 自然・環境再生研究部	107

○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	120
・ 企画展等一覧	124
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	125
・ 学校教育支援プログラム	126
・ 来館一般団体一覧	127
・ 来館学校団体一覧	131
・ 連携事業等	135
・ ひとはくフェスティバル'13 参画団体	141
・ フロアサービス実績一覧	142
・ 外部資金導入状況	144

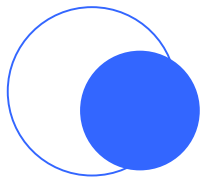
利用案内	146
------	-----

組織及び施設概要



沿 革

昭和 44 年 2 月 26 日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和 44 年 6 月 5 日	県議会において請願が採択された。
昭和 48 年 6 月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和 51 年 5 月	IFHP兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和 59 年 4 月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和 61 年 12 月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想(報告)が策定された。
昭和 63 年 8 月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館(仮称)設立準備室が設立された。
平成 3 年 12 月	研究・収蔵棟が完成した。
平成 4 年 3 月 25 日	本館(ホロンピア館)の様式替え工事が完了した。
平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成 4 年 6 月 25 日	ジーンファームが完成した。
平成 4 年 9 月 20 日	エントランスホールが完成した。
平成 4 年 9 月 30 日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成 4 年 10 月 9 日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成 4 年 10 月 10 日	開館。
平成 9 年 6 月 14 日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成 9 年 11 月 4 日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成 10 年 3 月 12 日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成 11 年 11 月 13 日	NPO 法人「人と自然の会」(博物館ボランティア)と協力協定を締結した。
平成 13 年 4 月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成 14 年 4 月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成 18 年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成 14 年 10 月	博物館が開館 10 周年を迎え、10 周年記念式典を執り行った。
平成 16 年 4 月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成 18 年 6 月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成 18 年 9 月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成 19 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想が策定された。
平成 20 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画が策定された。
平成 20 年 4 月	「ひとく恐竜ラボ」がオープンした。
平成 21 年 7 月	加東市と協力協定を締結した。
平成 21 年 8 月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。
平成 22 年 6 月	篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結した。
平成 24 年 10 月	博物館が開館 20 周年を迎え、20 周年記念式典を執り行った。
平成 25 年 3 月	「ひとく将来ビジョン」が策定された。



ひとはく 未来ビジョン

ひとはくは、開館 20 周年の節目にあたり、これまでの成果を振り返るとともに、変化する社会状況に対応しながら、いま、実践すべき戦略を検討し、これからのひとはくが目指すものを示した「ひとはく未来ビジョン」を描き上げていきます。このビジョンは、ひとはくの今後あるべき姿を描くと同時に、日本の博物館の進むべき方向を示唆するものであると考えます。ひとはくは、これからもみなさまとの協働を通じて博物館と地域の未来について思索し、行動し、提言し続けていきます。

創造と共生の舞台・兵庫で県民のみなさんと共演する生涯学習院

生涯学習院とは、①驚きや喜びを感じ、自発的で自律的な学びを支える／②県民の参画と協働で、知識だけでなく創造性を育む／③年齢や立場などによる、様々な学習のかたちに対応する／④感じるから伝えるまで、トータルな学習プロセスを提供する／これらを実現できる「県民が集い、学び合う参加・交流型の博物館」です。

【実現に向けた5つの行動指針】



■ 5つの行動指針で進める「生涯学習院」

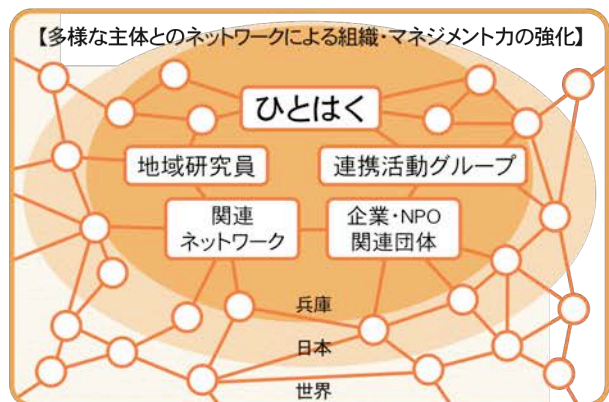
これまでひとはくでは、多彩なセミナーや館外へのアウトリーチ事業などによって、県内外の多くの方々には様々な学習の機会を提供してきました。これまでの展示とは違った、利用者とモノ、利用者と空間との間に人が介在することで、興味を持ってもらったり、参加してもらったりすることができる「演示」という仕掛けを用いて、学びのサイクルを生みだすことを試みてきました。

今後は、このような取り組みをさらに進めていくために、上図の5つの行動指針を定めて、さらなる展開を図ります。



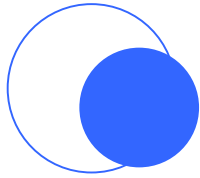
■ 「演示」による生涯学習プログラムのさらなる実践

演示の手法を活用した生涯学習プログラムによって目指すべき博物館像を実現して行きます。先行して実践を進めてきたソフトだけでなく、未だ実現に至っていないハードについても、博物館の根幹機関である収蔵庫や演示の実践の舞台について整備を進めていきます。



■ 多様な主体との連携によるマネジメントの仕組みづくり

多様な主体が関わるオープンなネットワークを形成するため、マネジメント組織の設立や民間との連携を図り、ひとはくの活動効果をさらに高めていきます。また、兵庫県立大学と一体となった組織体制をより一層活用し、ひとはくにとっても大学にとっても相乗的な効果があげられるような仕組みを構築していきます。



常設展示の概要

○ 本館3階

■ 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海・太平洋に面した数少ない県で、北部の多雪地帯から南部の暖温带まで、多様な自然があります。人々の生活は多様な自然の影響を受けていますが、人々の生活、も各地の自然のありように強く影響を与えています。ここでは、但馬、丹波、播磨、摂津、淡路の特色ある自然を標本、映像、ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」には、兵庫県の野生動物をはく製で紹介しています。



■ 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、ジオラマ・映像などで紹介するとともに、“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。



■ ナチュラリストの幻郷

博物館の収蔵庫には多くの方々から寄贈していただいた資料が集められています。

このコーナーでは江田茂氏による 27 万点に及ぶ昆虫コレクションや小林桂助氏による貴重な鳥のコレクションをはじめとする、コレクション類の一部を紹介しています。



■ 丹波の恐竜化石

2006 年 8 月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。同じ場所で見つかった他の恐竜の歯、小動物の化石なども随時展示しています。





○ 本館 2階

■ 水生生物の世界

川や海といった水中に暮らす生物の食物連鎖や環境への適応を展示しています。淡路のナガスクジラの骨格標本や川の上中下流の魚類などの標本があります。



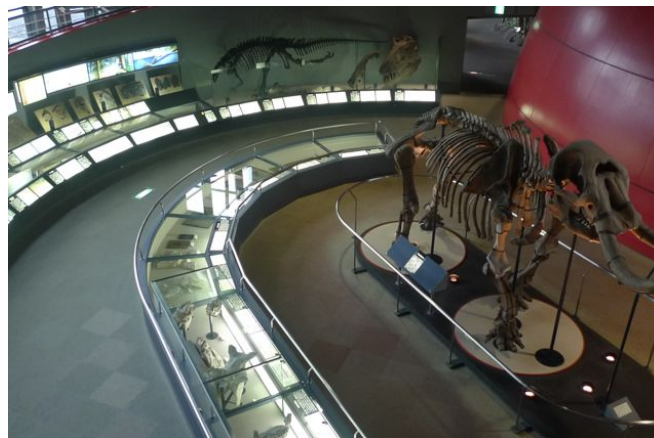
■ ひとく多様性フロア ~魅せる収蔵庫トライアル~

開館から 20 年間に寄贈された標本や館員が収集してきた標本などの一部を、一般の来館者にみえるように配置しました。これらの標本は、間近で観察することができます。セミナーや講義など、その場で研究員が解説する「演示」の手法で双方向での対話型の学習にも活用されます。

○ 本館 1階

■ 地球・生命と大地

約 35 億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。



■ 共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。生物多様性の豊かな熱帯雨林を体感しながら学ぶことができます。



○ 本館4階

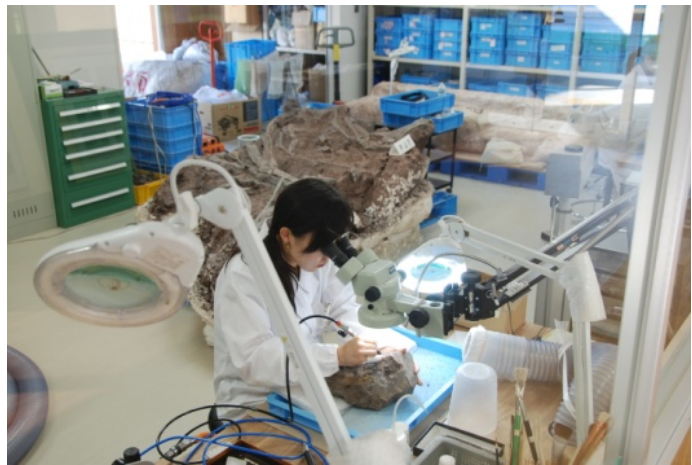
■ ひとはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。



○ ひとはく恐竜ラボ

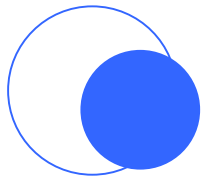
恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



※ 移動博物館車『ゆめはく』

ひとはく開館20周年にあわせて、2012年に移動博物館専用の2t車「ゆめはく」を導入しました。「ゆめはく」は、車体そのまま展示室になります。これによって、まったく展示施設のないところでも、さまざまな資料を展示することができるようになりました。





施設の概要

(1) 規模

・敷地(設置許可・使用承認面積): 37,988.12 m²、延床面積: 18,951 m²

(2) 建物構造

- ・本館(鉄骨4階建) 建面積: 4,221 m²、延床面積: 12,222 m²
- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型) 建面積: 360 m²、延床面積: 360 m²
- ・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建) 建面積 2,327 m²、延床面積: 5,988 m²
- ・ジーンファーム管理棟(軽量鉄骨平屋) 建面積 121 m²、延床面積: 121 m²
- ・ひとはく恐竜ラボ(鉄骨平屋) 建面積 260 m²、延床面積: 260 m²

(3) 施設の概要

・本館(鉄骨4階建)

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。



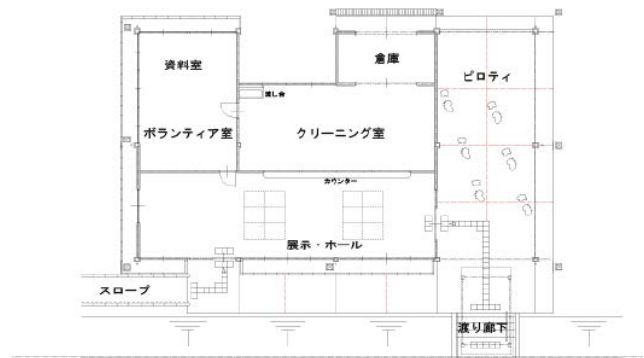
・ひとはく恐竜ラボ

恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

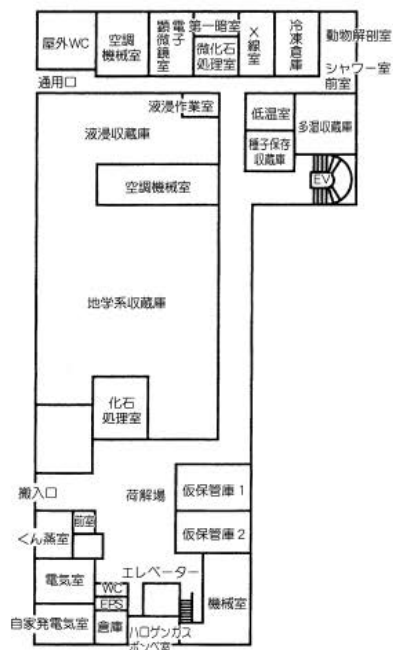
ひとはく恐竜ラボ



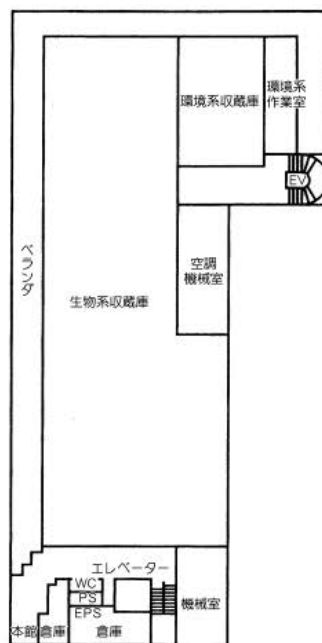
・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建)

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

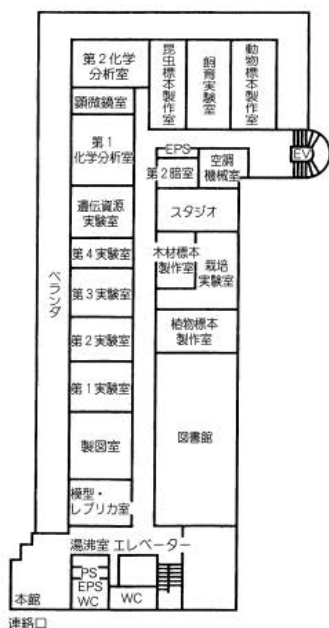
1階



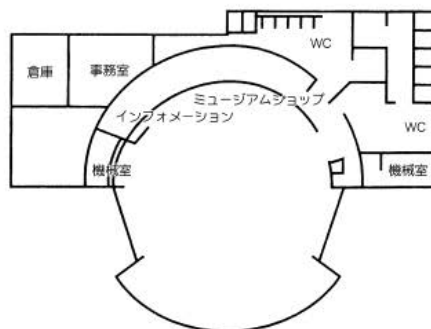
2階



3階



エントランスホール

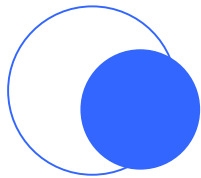


・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型)

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

(4) 施設状況

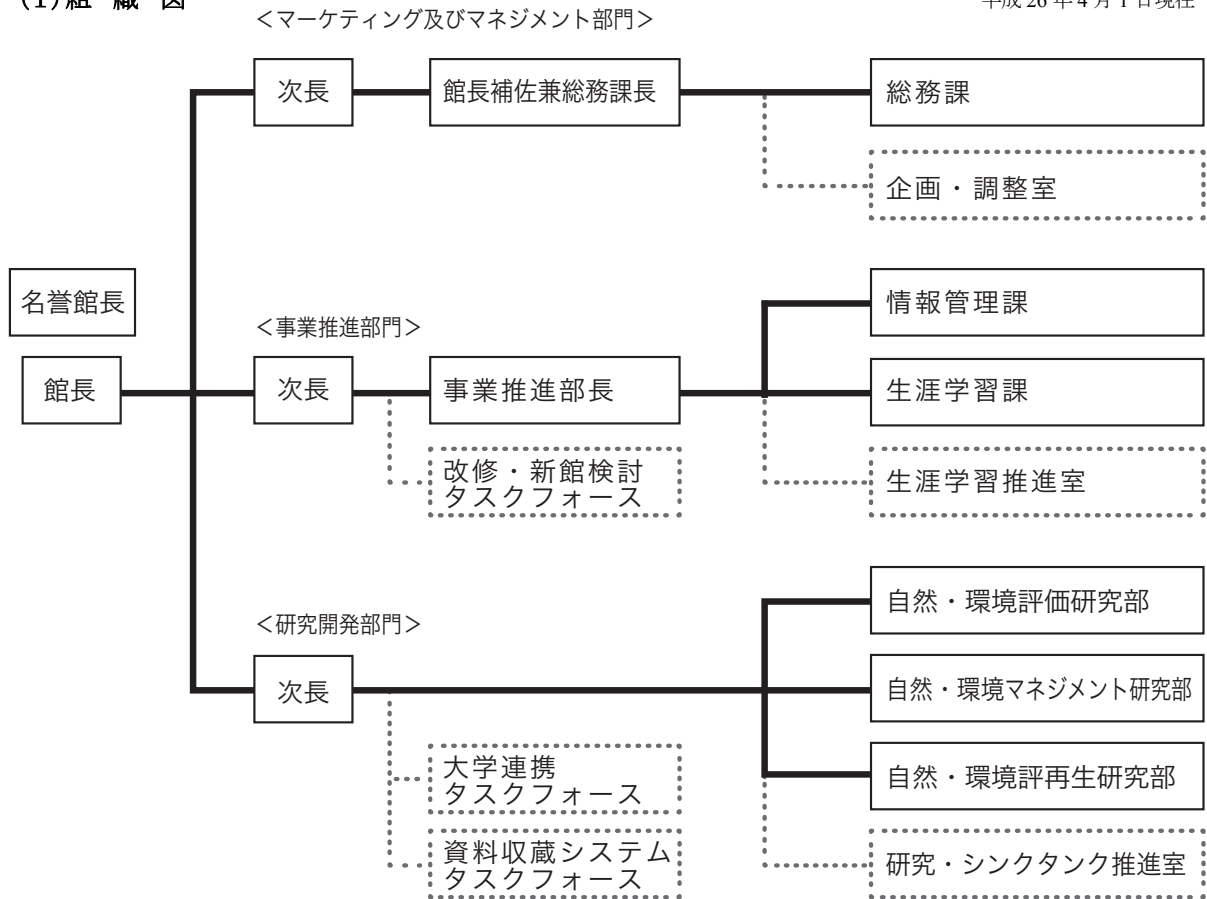
- ・展示関係: 4,124 m²
- ・管理関係: 349 m²
- ・収蔵関係: 2,966 m²
- ・研究関係: 2,105 m²
- ・教育普及関係: 1,324 m²
- ・エントランス: 360 m²
- ・機械、その他: 7,723 m²



組織と職員

(1) 組織図

平成26年4月1日現在



※ 実線は行政組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制(研究員の兼務)

(2) 職員数

平成26年4月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	3(館長・名誉館長)+3 ^{※2}	13
情報管理課	2			2 ^{※2}	4
生涯学習課	4			3 ^{※2}	7
自然・環境評価研究部		6 (併任 6 ^{※1})		1 ^{※3} +3 ^{※2}	10 (併任 6 ^{※1})
自然・環境マネジメント研究部		4 (併任 7 ^{※1})		6 ^{※2}	10 (併任 7 ^{※1})
自然・環境再生研究部		2 (併任 5 ^{※1})		2 ^{※2}	4 (併任 5 ^{※1})
合計	11	12 (併任 18 ^{※1})	1	23	48 (併任 18 ^{※1})

^{※1}(併任)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員の併任、^{※2} 県政推進事務員、^{※3} 化石整理技術指導

(3) 職員配置

(平成26年4月1日現在)

名誉館長	河合 雅雄
名誉館長	岩槻 邦男
館長	中瀬 勲
次長(事務系)	田中 千雄
次長(研究系)	太田 英利
次長(事業系)	田原 直樹
館長補佐	光川 安則
事業推進部長	高橋 晃

【マーケティング及びマネジメント部門】

■総務課

課長	光川 安則
主査	西村 敦
主任	鈴木 智仁
事務職員	沖 祐美子
事務職員	東 成一
技師	塚本 健司

■企画・調整室(研究員兼務)

室長	八木 剛
副室長	鈴木 武 [※]
主任研究員	半田 久美子

【事業推進部門】

■情報管理課

課長	船越 充
主任指導主事	阪上 勝彦

■生涯学習課

主任指導主事兼課長	八尾 滋樹
主任指導主事	橋尾 和紀
主査	柏木 徹
教育事務推進専門員	笹倉 達義

■生涯学習推進室(研究員兼務)

室長	小舘 誓治 [※]
副室長	藤本 真里 [※]
主任研究員	高野 温子
研究員	黒田 有寿茂 [※]
研究員	上田 萌子

■改修・新館検討タスクフォース(研究員兼務)

リーダー	橋本 佳明 [※]
サブリーダー	三橋 弘宗 [※]
研究員	池田 忠広

【研究開発部門】

■自然・環境評価研究部

研究部長	佐藤 裕司 [※]
(地域環境地質研究グループ)	
研究部長	佐藤 裕司 [※]
主任研究員	加藤 茂弘
研究員	菊池 直樹
(埋蔵自然遺産研究グループ)	
主任研究員	古谷 裕 [※]

主任研究員	三枝 春生 [※]
主任研究員	半田 久美子
研究員	池田 忠広
(森林多様性研究グループ)	
事業推進部長	高橋 晃 [※]
主任研究員	秋山 弘之 [※]
主任研究員	高野 温子

(昆虫共生系研究グループ)

次長(研究系)	太田 英利 [※]
主任研究員	橋本 佳明 [※]
主任研究員	八木 剛
主任研究員	山内 健生 [※]

■自然・環境マネジメント研究部

研究部長	太田 英利 [※]
------	--------------------

(流域生態研究グループ)

主任研究員	三橋 弘宗 [※]
主任研究員	和田 年史 [※]

(動物共生研究グループ)

主任研究員	三谷 雅純 [※]
研究員	布野 隆之
研究員	高木 俊

(コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)

主任研究員	赤澤 宏樹 [※]
主任研究員	藤本 真里 [※]
研究員	大平 和弘

(コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)

次長(事業系)	田原 直樹 [※]
研究員	上田 萌子

■自然・環境再生研究部

研究部長	高橋 晃 [※]
------	-------------------

(植生創出研究グループ)

主任研究員	石田 弘明 [※]
研究員	小舘 誓治 [※]
主任研究員	橋本 佳延

(生物多様性保全研究グループ)

主任研究員	藤井 俊夫
研究員	鈴木 武 [※]
研究員	黒田 有寿茂 [※]

■研究・シンクタンク推進室(研究員兼務)

室長	橋本 佳延
主任研究員	三谷 雅純 [※]
研究員	大平 和弘

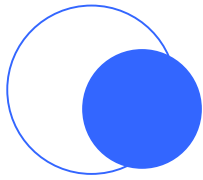
■大学連携タスクフォース(研究員兼務)

リーダー	石田 弘明 [※]
サブリーダー	加藤 茂弘
主任研究員	赤澤 宏樹 [※]

■資料収蔵システムタスクフォース(研究員兼務)

リーダー	秋山 弘之 [※]
研究員	布野 隆之

[※] は、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員(併任)



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

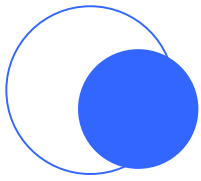
本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山林や半自然草原などの植生やフジバカマ、エビネ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム(ジーンバンク機能を果たす圃場)における増殖などの事業も展開しています。

平成 25 年度事業報告



ひとはくトピックス

1

ひとはく研究員とともにミツバチ研究

～第 57 回日本学生科学賞兵庫県知事賞を受賞

平坂優衣さん(小林聖心学院中学校 3 年生)は、大谷剛名誉研究員の指導で、「ミツバチの巣室の形の謎を解く」という研究を行って、第 57 回日本学生科学賞(平成 25 年度)兵庫県審査会で兵庫県知事賞を、さらに中央審査会では日本科学未来館賞を受賞しました。平坂さんはひとはくセミナーをきっかけに大谷さんと知り合い、大谷さんの指導で、ひとはくの研究施設なども利用しながら、独自の発想の研究を進めて来ました。

また、共生のひろばでトビケラの発表している県立香寺高等学校 自然科学部も「モンカゲロウ遡上飛行のしくみ」の研究で、兵庫県審査会で知事賞、中央審査会で2等入賞を受賞しました。

ひとはくに関わりを持った中高生たちの研究活動が評価されることは非常にうれしいことで、今後も若い力が伸びるようひとはくの活動を展開したいものです。
(自然・環境再生研究部 鈴木武)



(左上) 知事賞を受賞した平坂さんと指導した大谷
名誉研究員

(左下) 平坂さんが制作したミツバチの巣の模型

(右上) 知事賞を受賞した香寺高校自然科学部
[中央左から藤原さん、西さん、原田さん]

2

兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営 支援の成果をまとめた論文が日本造園学会賞受賞

兵庫県立有馬富士公園開園前の 1999 年からひとはくとの連携はスタートしました。兵庫県が住民参画型の公園運営をめざし策定した運営計画は、中瀬副館長(当時)を中心に多くのひとはく研究員が関わり、しくみづくり・人づくりの実践的研究が始まりました。住民、行政、専門家等が集って、公園のことを決める協議会、住民グループが企画・実施する「夢プログラム」といったしくみが継続して運用されています。ひとはくはそのような実践に取り組む現場職員を 10 年以上にわたってサポートしています。その中で藤本研究員は、しくみの立ち上げ、運用のプロセスや夢プログラム等の成果、住民意識の変化などを調査・研究し、2011 年度「都市公園における住民参画型運営」としてまとめ、大阪大学大学院工学研究科から学位を取得し、2013 年には日本造園学会賞を授与されました。現在も有馬富士公園はひとはくの重要な連携施設であり、多くの研究員がセミナーや研究で連携しています。

(自然・環境マネジメント研究部 藤本真里)



3

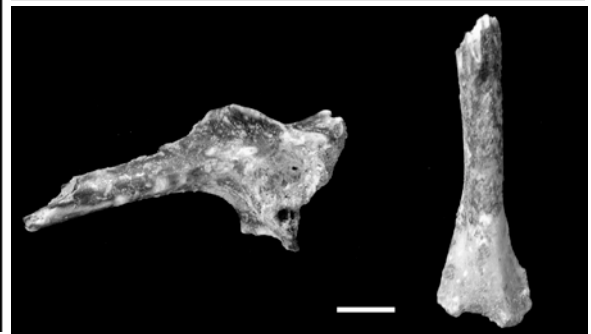
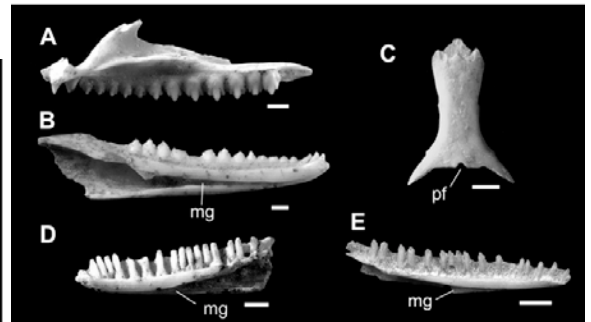
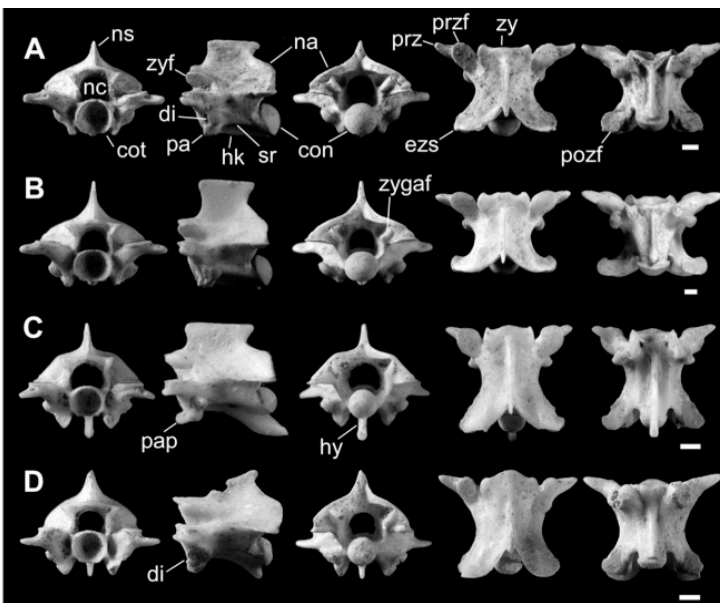
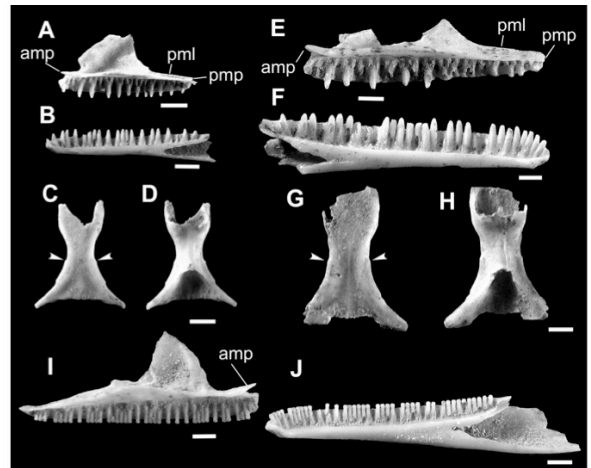
いまそこにある絶滅：与論島の在来性爬虫・両生類の場合

鹿児島県奄美諸島の南端に位置する与論島には現在、陸生ヘビ類1種、トカゲ類3種、カエル類3種の計7種のみ
の陸生爬虫・両生類が在来分布している。ところがこの島の 20 世紀のものと思われるゴミ捨て場跡より収集された脊
椎動物の骨格残骸を高い精度で同定したところ、陸生ヘビ類3種、トカゲ類7種、カエル類4種、計14種分もの残骸
が含まれていた。このうちの丁度半分を占める計7種の爬虫・両生類が現在、与論島にまったく見られないこと
の理由としては、1950年代中頃から1960年代にかけて、ネズミ退治を目的に同島に導入され定着したニホンイ
タチによる、捕食圧の下での絶滅が考えられる。今回の調査研究の結果は、有史以降、ごく短期間で島嶼の
爬虫・両生類の多様性が失われた顕著な例となるが、このような内容が日本国内で物証とともに確認され
たのは初めてである。また今回の発見は、外来性捕食者の島嶼への持ち込みが、在来の動物相にもたら
す危険性をあらためて強く示唆している。

(太田英利 主任研究員/自然・環境マネジメント研究部長)

共同研究者：中村泰之 琉球大学熱帯生物圏研究センター 博士研究員；高橋亮雄 岡山理科大学大学院理学研究科 准教授

出典：Nakamura, Y., A. Takahashi, and H. Ota. 2013. Recent cryptic extinction of squamate reptiles on Yoronjima Island of the Ryukyu Archipelago, Japan, inferred from garbage dump remains. *Acta Herpetologica* 8: 19-34.



与論島で発見された骨格残骸。左、ヘビ類。右上、ヤモリ類。右中、ヤモリ類以外のトカゲ類。右下、オキナワアオガエル。

4

ひとはくフェスティバル、新たな展開へ

ひとはくフェスティバルは、より多くの人々にひとはくに足を運んでもらおうと1996年にスタートしました。2013年まで18回実施し、総ビジター数383,250人です。直近の2013年はビジター数23,823人で、博物館やその連携グループ、ひとはく連携グループ合計25グループとひとはく研究員、フロアスタッフで35のプログラムを実施しました。多くの博物館関係グループの出展は、10周年(2002年)の記念的フェスティバルのときに人と自然の会から全国の博物館ボランティアによびかけたことがきっかけでした。これらのネットワークをさらに深めるために、大規模になったひとはくフェスティバルを終了し、連携するグループと密な連携ができる事業をさらに推進しようと考えています。すでに、2003年からはじまったキャラバン事業では、多くの地域にでかけ、研究員をはじめとする館員をface to faceで知っていただき、さまざまなグループとの連携も実現しています。2012年度からは、移動博物館車「ゆめはく」を導入し、より多くの地域に出かけ、新



たな仲間との出会い、連携が生まれることを期待しています。

(生涯学習推進室 副室長
藤本真里)



5

今年から本稼働、「ゆめはく」の活躍

ひとはくの開館 20 周年を記念して 2012 年秋に作られた移動博物館車「ゆめはく」は、2 年目を迎えて本格的な稼働が始まりました。

ゆめはくは県内各地で開かれたさまざまなイベントなどに出展するほか、東日本大震災の復興支援のため、岩手、宮城、福島各県を訪れました。11 月のひとはくフェスティバルの時には、しぜんかわらばんやキッズかわらばんの表彰式も、ゆめはくを台にして行われました。

その稼働日数は、遠方への移動日を除いても延べ 50 日を超えています。

ゆめはくは、恐竜化石のレプリカや昆虫の拡大模型など、大型の資料や機材を運び、ゆめはくの中では展示、外では展示やワークショップを展開するなどの方法で活用されています。東北キャラバンで仙台市の会場から福島市の会場に移動する時には、大量の機材を荷室いっぱい積み込み、荷物輸送にも大きな力を発揮しました。

(生涯学習推進室 ゆめはくマネージャー 古谷 裕)



ひとはくキャラバン in 姫路 姫路市立南大津公民館



ひとはくキャラバン in 姫路 姫路市立南大津公民館



ロハスミーツ明石 明石公園



ロハスミーツ明石 明石公園



ひとはくフェスティバル しぜんかわらばん・キッズかわらばん表彰式



梁川天神社 福島県伊達市



大量の機材を積み込んだゆめはく 宮城県仙台市

6

子ども・親子向けプログラムで「Kids サンデー」にぎわう

ひとはくでは、前年度から毎月第一日曜日を「Kids サンデー」と呼び、小さな子どもや親子向けのプログラムを実施（年間 9 回）しています。この日は、フロアスタッフや研究員のオープンセミナー等と、NPO 法人 人と自然の会をはじめとする「ひとはく連携活動グループ」の皆さんにも参加いただいて毎回 10 テーマほどのプログラム（たとえば、パネルシアター、サイエンスショー、デジタル紙芝居、わくわくネイチャー・テクノロジー「自然って、すごい！」など）を行いました。この「Kids サンデー」を楽しみに来館してくれる家族連れも増えて毎日にぎわいました。

（キッズひとはく推進タスクフォース リーダー 小館誓治）



写真1 Kids サンデーの日のエントランスホール前



写真2 Kids サンデーのポスター



写真3 生物多様性フロア(2階)での様子



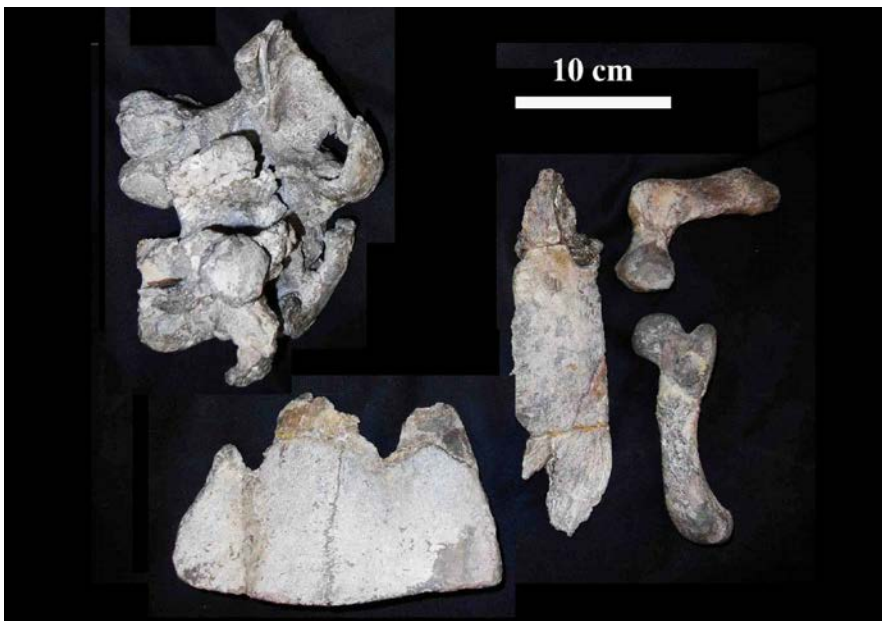
写真4 実習室(4階)での様子

7

白亜紀のオサガメ類の化石を発見

兵庫県洲本市由良町(淡路島)に分布する和泉層群北阿万層(白亜紀後期:前期 Maastrichtia, 約7千万年前)から岸本眞五氏(姫路市、当館地域研究員)と松本浩司氏(愛媛県)によりウミガメ類の完全な頭骨を含む体骨格化石が発見されました。これらの化石は、日本固有の絶滅種である *Mesodermochelys undulatus* と考えられます。本種の化石はこれまで北海道の函淵層群・蝦夷層群(白亜紀後期)、香川県および兵庫県の和泉層群(白亜紀後期)からしばしば報告されており、体の骨格の特徴から白亜紀ではまれなオサガメ科に属することが判明しています。しかし、これほど完全な頭骨の発見は初めてであり、本種の形態的特徴をより詳細に明らかにするとともに、ウミガメ類、とくに白亜紀オサガメ類、の形態進化や古生態の解明に大きく寄与するものと期待されます。今回の化石の発見については、日本古生物学会第163回例会において平山廉氏(早稲田大学国際教養学部 教授)により発表されました。

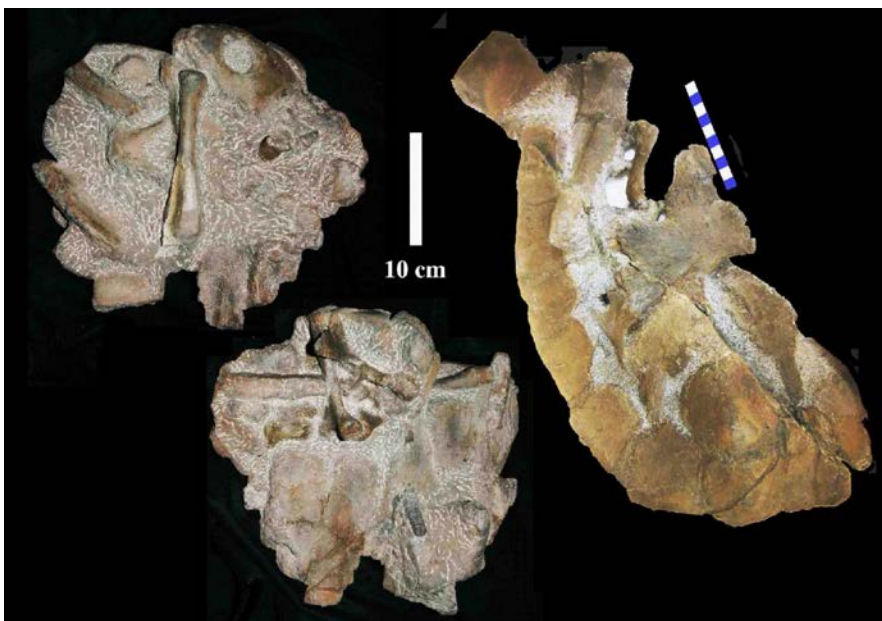
(自然・環境評価研究部 三枝春生)



和泉層群産ウミガメ類化石

上: 第一標本

下: 第二標本



8

ひとはく生物多様性事業 in たんばを開催

日本の森とボルネオ島の熱帯雨林の違いなどについて、体験を通じて学ぶことにより、生物多様性或地球環境問題について自分自身の問題として考えるきっかけとするとともに、国内の異年齢の子ども達やマレーシアの同年齢の子ども達と友好関係を深め、自然や人を大切にし、たくましく生きる子ども達の育成をめざして、2013年7月30日～8月2日の期間、小学生7名、中学生9名、高校生1名合計17名の参加を得て、丹波少年自然の家を拠点に「ひとはく生物多様性事業 in たんば」を実施しました。河合名誉館長やひとはく研究員から日本や熱帯雨林の生物多様性の実態について講義を聴いて学んだり、自然の家の周辺の森へ入り、水生昆虫の捕獲や観察、植物の採集や分類などを研究員らとともに体験実習をしました。また兵庫県立コウノトリの郷公園、豊岡市立コウノトリ文化館、玄武洞公園NPO法人日本ハンザキ研究所など、但馬地方の自然について現地学習および丹波市内のちーたんの館、青垣いきものふれあいの里を訪れ、丹波地域の自然や恐竜化石などについて学びました。最終日、ラハダトゥ・サイエンススクールの生徒たちは、高井芳朗兵庫県教育長を表敬訪問しました。(生涯学習課 八尾滋樹)



「ひとはく生物多様性事業 in たんば」の実施風景

9

関西広域連合生物多様性保全施策の策定に 幹事館として参画

兵庫県も参加する関西広域連合には生物多様性の課題を所管する広域環境保全局が設置されており、平成24年度から平成28年度にかけての5カ年計画である環境保全計画が策定されています。

本計画では5つの戦略が掲げられ、その一つである「自然共生型社会づくり(生態系保全)」では特に(1)広域的な鳥獣保護管理等、(2)生物多様性に関する情報の共有・一元化と流域全体での生態系サービスの維持向上の2つの課題に取り組むこととされています。

工程では、平成24年度から平成25年度のフェーズⅠと平成26年度から平成28年度のフェーズⅡの2期に分けられ、フェーズⅠでは課題(1)、フェーズⅡでは課題(2)に着手することが予定されています。特に課題(2)については、博物館ネットワーク等を活用した関西地域における生物多様性に関するデータベースの共有化等を図るよう定められていたため、平成26年度からの具体的な事業の実施にあたっては、平成25年度の予算要求資料作成段階から広域連合参画自治体の博物館と協議していきたい旨、広域環境保全局事務局(担当:滋賀県)から当館に相談が持ちかけられました。

これを受けて、年度当初より数回の協議を重ね、事務局と当館の共同で予算要求資料素案を作成しました。更に大阪市立自然史博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、和歌山県立博物館、徳島県立博物館をはじめとする主要な自然史系博物館に呼びかけて打合せをし、そのブラッシュアップおよび平成26年度から進める事業へ参画することの一定の合意を取りつけました。予算要求資料では、「生物多様性に関する情報の共有・一元化」に対応する事業として「①関西の残したい自然エリアの選定」を、「流域全体での生態系サービスの維持・向上」に対する事業として「②生態系サービスの指標開発」を提案しました。いずれも平成26年度事業として認められ、平成26年度予算として706万円が充当されることが確定しました。

広域連合事務局から各博物館へ個別に交渉する体制ではやり取りが煩雑となり、意志決定にも時間が煩雑な対応となるため、事業実施にあたってはこれら博物館を代表する幹事館が必要との意見があったため、事務局および他館からの推薦を受けて当館が平成25年度より幹事館を務めることとなりました。

ひとはくは西日本自然史系博物館ネットワークにおいて当館が中心的役割を果たしてきました。また平成23年度から生物多様性協働フォーラムを様々な団体と協働で実施してきました。これらのことが、ひとはくの広域でシンクタンク活動を実践する姿勢としての評価に結びつき、今回のような役目を拝命されるに至ったと思われまます。今後も兵庫県下だけでなく、関西地域の広い範囲においても生物多様性に関するシンクタンク活動を展開することを当館は期待されているといえます。

(シンクタンク推進室 シンクタンク・ジーンバンクマネージャー 橋本佳延)

10

今年も盛況、第9回「共生のひろば」を開催

毎年2月11日に開催。今年度で9回目を迎えました。口頭発表13件・ポスター発表39件の合計52件の発表があり、200人を超える聴講者を迎えることができました。発表半ばには「兵庫県洲本市産ハドロサウルス科恐竜化石」を寄贈して下さった姫路の岸本眞五さんへ感謝状が贈られました。発表内容は活動テーマも活動方法もまちまち、おまけに50歳以上の差があるのに、お互いの発表を聞いていただけるのだろうか？またそれぞれの活動の質を高めるためのヒントをお互いに得ることは可能なのだろうか？多くの方がまだまだ時間不足・交流不足という思いを持って会場を後にされました。既存のどんな学会よりも不思議に退屈しない「ひろば」で、この不思議な「ひろば感覚」は第1回の時と少しも変わっていません。今年は特に高校生の発表が多いのが特徴でした。初めて参加された教育学が専門の兵庫県立大学清原正義理事長・学長は、自身の小学生の頃を思い比べ、あまりに堂々とした小学生の発表態度に驚嘆。

(生涯学習推進室 共生のひろばマネージャー 田中哲夫)



天然酵母の探索と活用に関する研究—サルビアの花酵母を利用した日本酒醸造と地域産業への貢献 兵庫県立農業高校



山陰ジオパークの地形と砂と石 石ころクラブ



河合名誉館長の基調講演



洲本市産恐竜化石寄贈者岸本眞五さんに感謝状贈呈



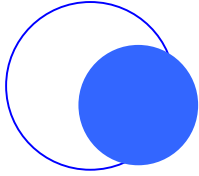
兵庫県立大 清原正義理事・学長より講評をいただく

11

古生物学会第 163 回例会をひとはくで開催

平成 26 年 1 月 24 日～26 日に兵庫県立人と自然の博物館において日本古生物学会第 163 回例会が開催されました。同学会が当館で開催されるのは1999年6月の第148回例会以来です。前回の全発表件数は49件(シンポジウムを含む)であったのに対し、今回はシンポジウム「古生代化石研究の最前線」の講演6件、学術賞受賞講演 2 件、一般講演54件、ポスター発表45件(うち高校生による発表6件)、総計107件と倍増し、一般講演会場も前回より一会場多い3会場で行われました。前回と比べると恐竜等脊椎動物化石の研究発表の増加が印象的であり、篠山層群の脊椎動物化石や淡路島のウミガメ化石もこうした流れの中に位置づけられます。開催準備期間中に事務局長が急きょ変わるという事故がありましたが、幸い多くの方々からご支援を賜り、学会を好評のうちに無事終了することができました。

(自然・環境評価研究部 三枝春生)



タスクフォース事業

タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に平成 20 年度から導入したものである。各タスクフォースは、短期の課題を達成するために結成し、構成員はリーダー、マネージャー、メンバーである。実情に応じて年度途中でも人員は変更可能で、また新たなタスクフォースを発足できるようにしている。

■ 恐竜・化石 タスクフォース

(1) 新たな発掘調査地の策定

- ・県立丹波並木道中央公園内の脊椎動物化石含有層の存在を確かめるために平成26年2月に同公園を調査した。化石含有層があると予想された同公園内駐車場の舗装を剥ぎ、露出した岩盤を検査したが、化石含有層は見つけられなかった。しかし、化石を含有すると期待される残土および地質資料を採取できた。
- ・工事が計画されている川代トンネルは篠山層群の化石含有層を横切ると予想されている。このトンネル坑入り口周辺の整地工事が始まり、掘削時に出た岩屑を調査したが、化石は発見されなかった。しかし、来年度の同トンネル掘削では化石が発見される可能性が高いため、坑内調査および化石含有岩屑の搬出および貯留場所に関して県民局土木・丹波市と協議を行った。

(2) 化石クリーニング作業、および調査研究の推進

- ・竜脚類・有鱗類の記載論文、技師の選考・育成に関する論文を投稿し、有鱗類のうち一編は出版された。
- ・洲本市内田より産出したウミガメの化石について共同研究者と学会発表をした。
- ・洲本産ハドロサウルス類が発見者の岸本氏より寄贈された。この寄贈をうけて、館外の研究者と同化石の共同研究を開始した。

(3) まちづくり推進に係る恐竜化石を活かした教育普及活動の充実

- ・丹波市ちーたんの館の企画展展示協力・監修、クリーニング指導、助言を行った。
- ・篠山市太古の市民研究所、クリーニング運営への助言、資料提供を行った。
- ・丹波市、篠山市、丹波県民局、(財)兵庫丹波の森協会、たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会との連携・協力し、丹波竜のフィギアを完成させた。
- ・丹波市および篠山市の教育関係プログラムに協力した。
- ・COC の採択を受け、県立大学の地域貢献事業として地の拠点整備事業を年度後半から開始した。その一環として丹波市および篠山市でそれぞれ一回普及講演会を行った。

(4) 展示および演習コンテンツの充実

- ・恐竜復元アーティストとの協働を丹波市が企画している復元画・フィギア作成に監修者として参加する形で進め、篠山層群生態環境復元画を完成させた。

(5) 日本古生物学会の開催

- ・日本古生物学会第163回例会(平成 26 年 1 月 24 日～同年同月 26 日)を開催した。

(6) 三田の化石発掘体験広場の活用

- ・トライやるウィーク(平成 25 年 6 月)およびセミナー(平成 25 年 12 月)にて三田の化石発掘体験広場を活用した。さらに平成 26 年度に行う三田市への返還にむけて、足跡化石の基礎データを採取した(平成 26 年 3 月)。

(7) 研究成果や事業の新聞等への報道推進

- ・7件行った。

■大学連携タスクフォース

(1) 兵庫県立大学創立 10 周年／創基 85 周年記念事業の調整

・兵庫県立大学において生涯学習を担う自然・環境科学研究所として、「共生のひろば」を表記記念事業に位置づけ、地域連携や生涯学習の特色をPRしました。当日は清原学長が来賓として来られ、全ての調査研究発表を聞かれ、講評していただいた(写真1)。

写真1



(2) 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」への参画

・兵庫県立大学が採択された標記事業について、丹波・但馬の地域資源を活かした地域づくりに取り組む「地域資源マネジメント系プロジェクト」と、南但馬・西播磨のむら・まちの再生に取り組む「多自然地域再生系プロジェクト」に参画した。前者は丹波市・篠山市での恐竜を活かしたまちづくりを中心に、後者は養父市の明延鉱山跡の活用(写真2)や佐用町の菓草栽培振興を中心に、地域再生エンジンとしての役割を果たすべく活動を続けていく。

写真2



■情報システム更新タスクフォース

博物館の運営・管理を支援する情報システムについて、5年間のリースによる更新を行った。これまでとは入札・契約方式を変更して、提案コンペ方式により参加企業からの提案や改善などを受けて改修した。

これまでとの改善点は、機能面での大幅な向上をはかりつつ、必要機能の厳密な精査や、適正規模のシステム開発により、経費の約50%節減を実現したことにある。主な具体的な改善点は以下の通り。1)ホームページの全面改訂(写真3)、2)セミナーや部屋予約、各種事務支援のシステムを統合化と開発・メンテナンスコストの軽減、3)WEB公開機能と連動した収蔵品管理システムの全面改修、4)オープンソースソフトウェアによる図書管理システムの全面改修、5)一部サーバーのクラウド化と常駐SEを置かないメンテナンス体制の確保、6)4Fひとはくサロン情報端末を利用したレファレンス資料参照・展示システムの導入、7)各種情報機器の更新、8)館内ネットワークの再構築と無線LAN導入などが挙げられる。これらの改修によって、業務の効率化が図られたことに加えて、今後5年間の経費削減だけでなく、次期システム更新時にも大規模な改修を必要としない効率的なシステム構築が図ることができた。

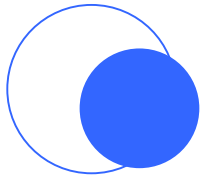
写真3



■マーケティングタスクフォース

コラボレーション組織の検討と設立

・人と自然の博物館の活動をサポートする新組織として、任意団体「ゆめはくネットワーク」を立ち上げることにした。また、設立の準備段階として、組織や規約等を検討し、試行を開始した。



平成 25 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目であり、それぞれに達成を目指すべき目標値(指標)が設定されている。さらに中期目標各項目の下位項目として「措置」を設定し、博物館活動の活性化に資する取り組みを数値で把握するようつとめている。

- 第1期中期目標 平成 14 年度(2002 年度)～18 年度(2006 年度)
- 第2期中期目標 平成 19 年度(2007 年度)～24 年度(2012 年度)
(開館 20 周年にあたって策定したひとはく将来ビジョンを反映させるため、期間を 1 年延長)
- 第3期中期目標 平成 25 年度(2013 年度)～29 年度(2018 年度)

1 -1 研究活動

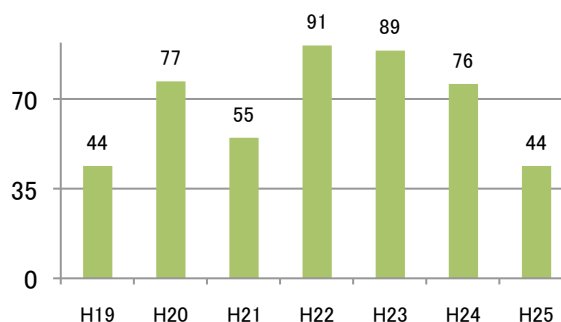
研究
推進室

すべての活動の基礎となる研究を、引き続き精力的に遂行し、成果を還元する。

1 学術論文・図書数

学会等の査読を経て掲載された学術論文と専門図書数

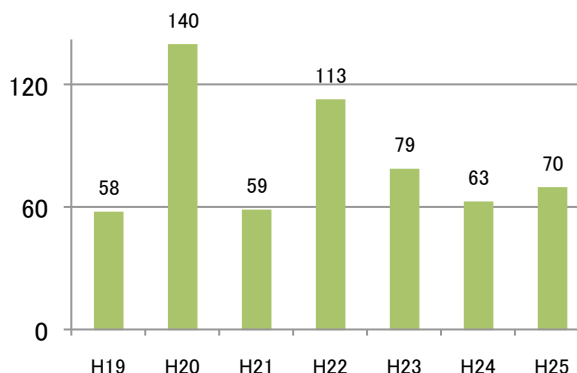
中期目標 : 35 本/年
平成 25 年度 : 44 本 (126%)



2 一般向け著書・その他著作数

論文（総説・その他）、一般向け著書、雑誌・新聞等の著作数

中期目標 : 60 本/年
平成 25 年度 : 70 本 (117%)



平成 25 年度の達成状況と自己評価

学術論文の公表数は合計 44 本となり中期目標の 35 本は達成することができた。しかしながら絶対数として平成 19 年度以来の低い数値となった。これは退職等による研究員数の減少も原因の一つであるが、論文の執筆・公表は普及・展示活動の基盤となるものであり、今後より一層の奮起が望まれるところである。一般向け著作・その他についても同様で、中期目標は達成しているが、普及活動の面からはより多くの貢献が求められるところである。

平成 26 年度の取り組みに向けて

学術論文でも一般向け著者等でもひとはく全体としての中期目標は達成されているが、研究員の間でその貢献数に大きな開きが見られ、最低限の目標がすべての研究員において達成されているわけではないことは自覚する必要がある。

1-2 資料

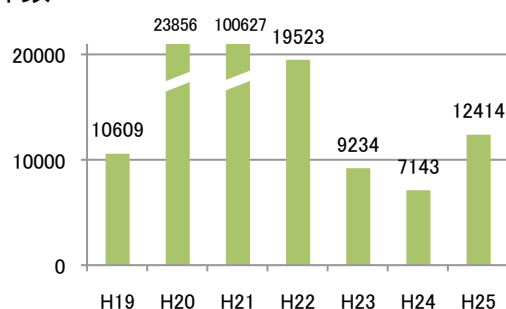
研究
推進室

特色ある質の高い資料を収集・整理し、利活用を推進する。

1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

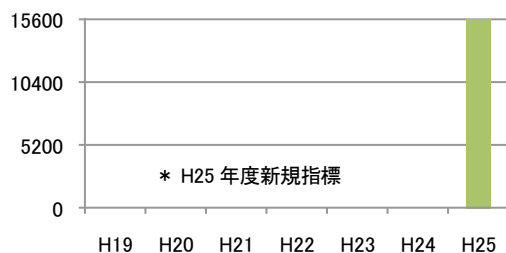
中期目標 : 10,000 点/年
平成 25 年度 : 12,414 点 (124%)



2 資料の利活用点数

館内展示・館外展示・貸出点数・マルチメディア等データ提供点数の合計

中期目標 : 5200 点/年
平成 25 年度 : 15,693 点 (302%)



平成 25 年度の達成状況と自己評価

収蔵資料の登録点数は12,414点で、一昨年・昨年の数値よりも改善が見られ、結果として目標値を達成することができた。これは緊急雇用の予算によって既存データの電子化を優先して進めた結果である。

収蔵資料の活用は、館内展示 14101 点、館外展示 171 点、資料貸し出しが 1421 点、合計 15693 点となり、目標値を達成している。

平成 26 年度 of 取組に向けて

26年度以降は、緊急雇用による既存資料の電子データ化への人員の配置が望めない状況であり、電子データの蓄積をどのように行うかを考えなければならない。

既存資料の活用については、ゆめはくの県内全域への展開に合わせ、運搬用展示セットの開発など、より積極的な展開を行う。収蔵資料を用いた研究成果についても、少なくともひとはくに所属する研究員が出版した論文・著者については、次年度以降その状況を把握できるようにしたい。それとともに、インターネットを通じた画像等の公開についても、これまで同様に充実させてゆく。これらの取り組みを通じて、使われることではじめて価値を発揮する博物館資料・環境情報が、ひとはくに収蔵されていることの意義を伝えることが可能となる。そのためにも、良好な収蔵環境の確保が大切である。

1-3 シンクタンク活動

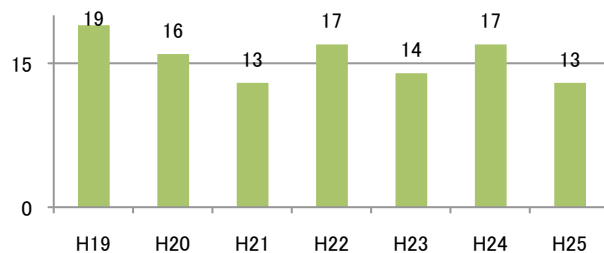


「地域資源の保全・利活用の最適化をはかる」ことを目的としたコミュニティシンクタンク活動を展開する。

1 受託件数

調査研究受託契約件数

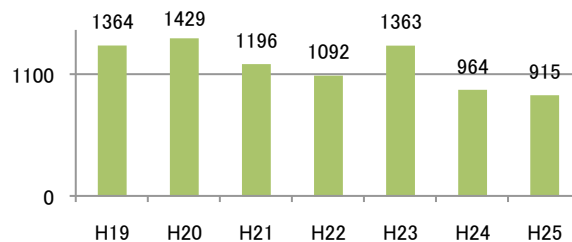
中期目標 : 15 件/年
平成 25 年度 : 13 件 (87%)



2 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会参画数および相談件数

中期目標 : 1100 件/年
平成 25 年度 : 915 件 (83%)



平成 25 年度の達成状況と自己評価

受託研究の実施や各種委員会への参画、相談対応などを通して様々な行政課題・地域課題の解決に尽力し、これまでと同様の成果をあげることができた。また、その結果として様々な自治体との連携を強化・拡大することができた。ただし、残念なことに、上記の数値ではどの項目も目標値を少し下回る結果となった。過去の数値と比較すると、受託件数は年変動の範囲に収まっており、平均的な数値を示していることがわかる。しかし、貢献度は過去の数値よりも明らかに低く、また昨年度の数値とあわせて考えると減少傾向にあるといえるかもしれない。この原因を明らかにし、数値の改善に向けた対策を実施することが今後の課題の一つであると考えられる。

平成 26 年度の取り組みに向けて

下記のような取り組みが必要であると考えられる。

- ・企業からの受託や相談を幅広い分野において一層促進する。
- ・HP による情報発信を強化するなど様々な方法で研究委託の促進につながるようなアピールを行う。
- ・ジーンファームのさらなる活用を図り、自然再生に向けた自治体の取り組みを支援する。
- ・関西広域連合の生物多様性保全施策の推進を図ると共に、生物多様性地域戦略をまだ策定していない自治体に対する働きかけを行う。

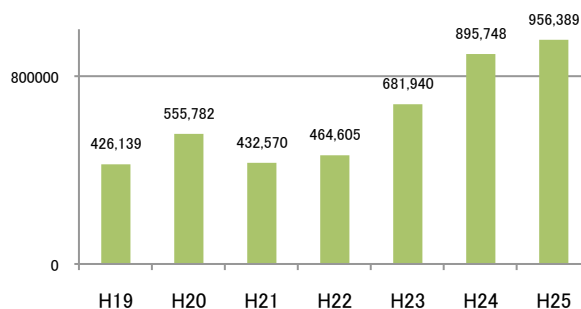
2 生涯学習支援

好奇心を刺激する「演示」手法により、あらゆる世代に学び続ける場を提供する。

1 利用者数

総ビジター数

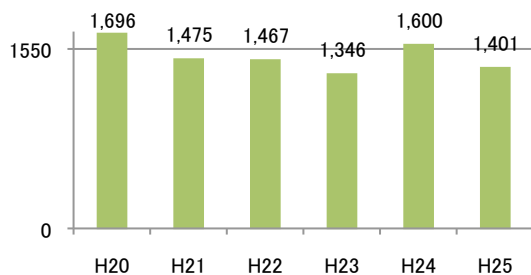
中期目標：800千人/年
平成25年度：956千人(120%)



2 生涯学習プログラム

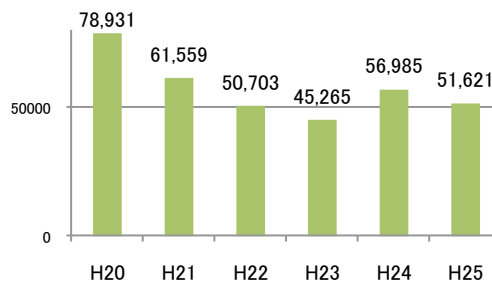
2-1. 主催プログラム実施件数

中期目標：1550件/年
平成25年度：1401件(90%)



2-2. 主催プログラム参加者数

中期目標：50,000人/年
平成25年度：51,621人(103%)



平成25年度の達成状況と自己評価

利用者数のうち総ビジター数については、第3期中期目標を20%近く上回る結果となりました。この数値には本館入館者に加え主催アウトリーチ事業および共催事業などへの参加者も計上しております。館内における主催プログラム実施件数は、「一般セミナー」＋「特注セミナー」＋「オープンセミナー」を計上し、概ね目標を達成(90.4%)できており、参加者数については目標を上回る(103.2%)ことができました。

平成26年度の取組に向けて

引き続きアウトリーチに重点をおくことで総ビジター数は継続的に増加すると考えます。館内での主催プログラムについては、実施内容(コンテンツ)の見直しと充実を図るなど、新たなプログラム開発・展開に向けた取組を推進するとともに、来館予約団体様等には積極的に特注セミナーをご活用いただけるよう促します。

3

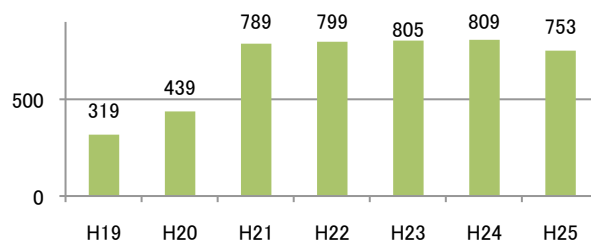
人材育成と活躍の場の整備

生涯学習
推進室

地域研究員・連携活動グループ等の担い手の成長を支援し、活躍の場をつくる。

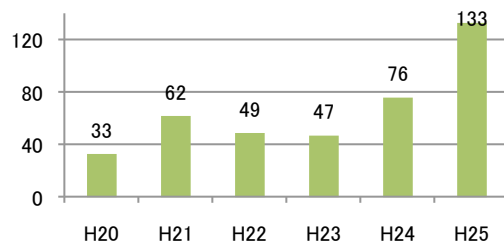
1 地域研究員・連携活動グループ登録者数

中期目標 : 500人 (H29時点)
平成25年度 : 753人 (%)



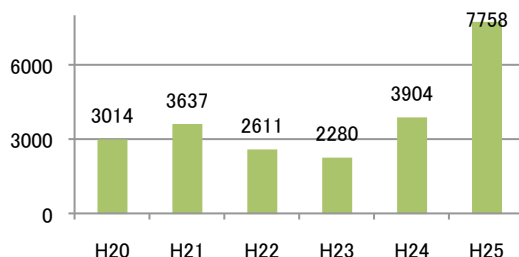
2 地域研究員・連携活動グループ主催事業実施件数

中期目標 : 40件/年
平成25年度 : 133件 (333%)



3 地域研究員・連携活動グループ主催事業参加者数

中期目標 : 3,000人/年
平成25年度 : 7758人 (259%)



平成25年度の達成状況と自己評価

本年は、地域研究員、連携グループの活動状況を担当研究員からレポート等で報告いただき、地域研究員、連携グループの状況の把握を初めて実施しました。また、連携グループ等が本館でセミナーや展示の連携事業を実施しやすくするための本館のスペースの整備も進め、多様性フロアでの演習セミナー等をほぼ毎月において実施いただきました。さらに、共生のひろば展を実施し、地域研究員、連携グループ等から口頭14件、ポスター50件の発表がありました。共生のひろば展では、伊丹市教育委員会との連携事業として小学生の発表の場を設け、また兵庫県立大学創基80周年記念事業として共同で開催する等、活動の場としての新展開にも取り組みました。

平成26年度に向けて

地域研究員、連携グループの活動状況の把握から、すでに活動を休止しているグループや、担当研究員の退職や移動によって活動状況が把握できない研究員等がいることが明らかになりました。次年度以降は、地域研究員・連携グループがひととはくや地域拠点で共催・連携事業等をより良く展開できるよう活動の場や環境条件の整備を進めていくとともに、各種規定の整備を行い、ひととはくやその担当研究員との円滑な協働や意思疎通を図れるようにしていきます。さらに、担い手養成やその成果の発表の場としての共生のひろば展の新展開や新たな企画等を策定し、人材育成や活動の場の整備を実施していきます。

4 連携・アウトリーチ活動

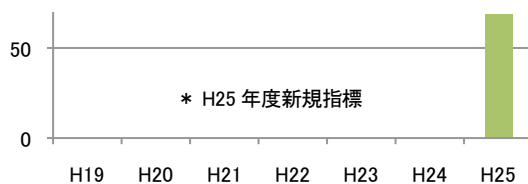
生涯学習
推進室

多様な主体と連携し、全県的に事業を展開する。

1 アウトリーチ事業

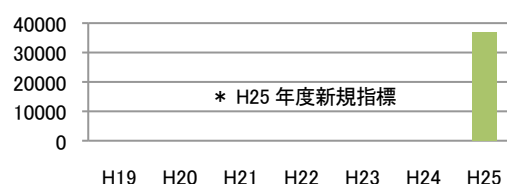
1-1. ゆめはく稼働日数

中期目標 : 50 日/年
平成 25 年度 : 69 日 (138%)



1-2. ゆめはく参加者数

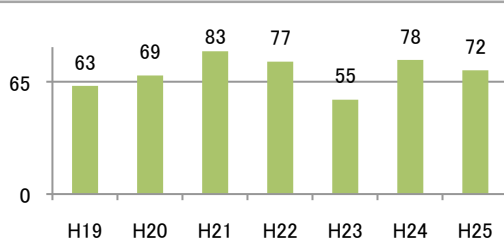
中期目標 : 10,000 人/年
平成 25 年度 : 36,885 人 (369%)



2 連携（協力・共催）事業

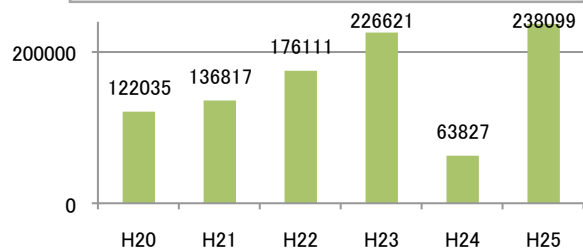
2-1. 連携事業件数

中期目標 : 65 件/年
平成 25 年度 : 72 件 (111%)



2-2. 連携事業参加者数

中期目標 : 200 千人/年
平成 25 年度 : 238 千人 (119%)



平成 25 年度の達成状況と自己評価

本年はキャラバンを 34 件（ビジター数 256,635 人）、ジオキャラバンを 5 件（ビジター数 20,019 人）、キッズキャラバンを 12 件実施しました。昨年度導入した移動博物館車「ゆめはく」号の稼働日数は目標値を達成、また昨年度改装した本館 2 階の「魅せる収蔵庫」のコンテンツもキャラバン実施に有効に活用され、キャラバンの連携先から好評価を得ることができました。さらに、本年度はキャラバン用什器、展示物の管理運用システム等の整備を実施し、キャラバン事業が円滑に展開できるようになりました。

平成 26 年度の取組に向けて

連携・アウトリーチ活動の充実を図って行く為に、新たな地域拠点形成に取り組んで行くとともに、新たに導入したゆめはく号のキャラバンでの運用方法や、その活動を支える「ゆめはくネットワーク」の整備、本館展示の新コンテンツ作成等を進めて行く必要があります、その策定や実施に努めて行きます。

5

マーケティング・マネジメント

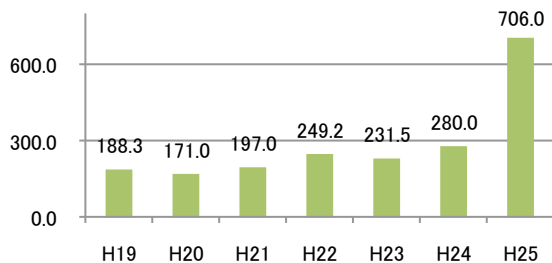
企画調整室

変化する社会に対応した効率的で健全な運営を行い、すべての県民に認知・利用される博物館をめざす。

1 情報発信

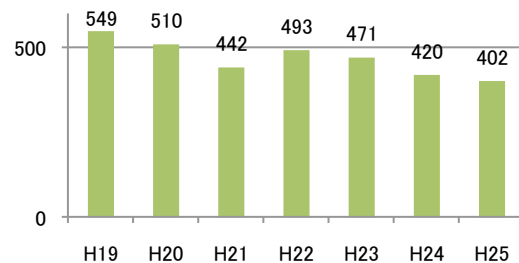
1-1. HP アクセス件数

中期目標 : 300 千件/年
平成 25 年度 : 706 千件 (235%)



1-2. メディア等出演・掲載回数

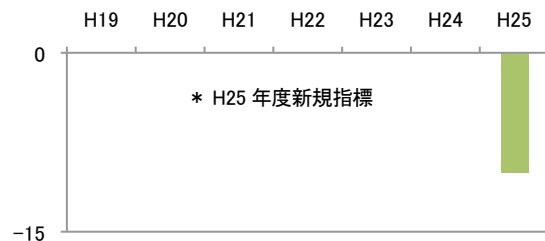
中期目標 : 500 回/年
平成 25 年度 : 402 人 (80%)



2 エネルギー使用量

電気・ガス・水道使用料の削減率

中期目標 : -15% (H24 年度比)
平成 25 年度 : -10% (67%)



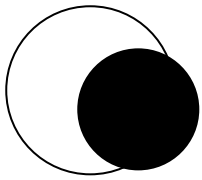
平成 25 年度の達成状況と自己評価

ホームページのアクセスは、情報システム更新に伴う全般的な見直しにより、大きく伸びました。検索でヒットしやすい環境が整備されたと考えています。メディア等への露出件数は、ここ数年、漸減傾向となっています。恐竜化石発掘関連の報道が近年は多くなかったこと（丹波市で恐竜化石が発見され公表されたのは平成 18 年度でした）、平成 25 年度には研究員の転退職が相次いだことなどが、その要因ではないかと考えています。エネルギー使用量は、以前より積極的な削減につとめており、しだいに削減余地が少なくなってきたものと思われま

平成 26 年度への取組に向けて

情報システムの更新により見やすくなったホームページを活用し、さらに魅力的な情報提供につとめていきます。新聞社やテレビ局からの日常的な問合せにも丁寧な対応を心がけ、わかりやすい情報提供につとめます。引き続き、エネルギー使用量の適正化をはかります。

資料および個人別成果



博物館概要等に関する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
ドイツ・メッスル産化石一式
ポプロフォネウス
アメリカマストドン全身骨格
ヒプセロサウルス卵化石
ユーステノプテロン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石
隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
(台湾・中国産 1,300 点)
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
(高橋コレクション 7,248 点)
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹
屋久杉輪切り(年輪)標本
種子標本(種子コレクション)

2) 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点(堀冶三朗氏)
神戸層群産植物化石 4,085 点(高岡得太郎氏)
日本産中生代貝類化石 890 点(市川浩一郎氏)
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点(仙頭鷹雄氏)
備北・勝田層群産中新世化石 187 点(岸本眞五氏)
兵庫県養父市産化石 800 点(長岡桂介氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点(シルバー生野)

[動物]

貝類標本 10,000 点(菊池典男氏)
鳥類標本 620 点(西堀静江氏)
鳥類標本 130 点(柴田嘉三氏)
鳥類標本 15,000 点(小林登美子氏)
無脊椎動物標本 100 点(土井敏男氏)
トラ本剥製 1 点(伊丹検察庁)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点(田中粹氏)
チョウ類等標本 14,000 点(柴田篤弘氏)
チョウ類等標本 5,700 点(山本廣一氏)
チョウ類等標本 11,000 点(小林登美子氏)
チョウ類標本 13,132 点(佐藤英次氏)
カリバチ類タイプ標本 367 点(常木三澄子氏)
ハバチ類標本 14,000 点(猪股光子氏)
ゴミムシ類標本 5,700 点(大倉孝子氏)
ハネカクシ科等標本 114 点(林 靖彦氏)
ゾウムシ科標本 2,221 点(中村剛之氏)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点(中西田鶴子氏)
シダ類標本 4,000 点(稲田政子氏)
高等植物標本 20,000 点(細見末雄氏)
日本産植物標本 1,045 点(松岡成久氏・吉田誠治氏・友永常太郎氏)
頌栄短大高等植物標本 250,000 点

○平成 25 年度の受贈資料

松尾幹生コレクション(植物)・高野哲司コレクション(植物)・鳴橋直弘コレクション(植物)・矢内正弘コレクション(植物)・丸岡道行コレクション(植物)・広瀬重夫コレクション(植物)・清水孝之コレクション(植物)・中澤博子コレクション(植物)・頌栄短期大学植物関連図書・春木實コレクション(日本産カミキリムシ・チョウ類)・川副昭人コレクション(チョウ類)・井塚篤司コレクション(ほ乳類)・各種無脊椎動物ならびに脊椎動物化石・洲本市産ハドロサウルス科恐竜化石・阿部明士コレクション(ニホンイヌワシ卵)・杉本俊一郎コレクション(シリアゲムシ) (受付順)

○平成 25 年度の受託資料

洲本市産オサガメ(ウミガメ)化石

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の6つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



① 収藏品管理システム～ひとはくデータベース～

約170万点の収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収藏品(標本の管理単位)の属性データ及び静止画像・音・動画等のマルチメディアデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末からWebブラウザを利用して行う。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末からWebブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



③ 普及広報システム

平成8年度より館内に独自のWebサーバを設置し、インターネットによる情報発信を実施している。現在の発信内容は、新着情報、ひとはくブログ、博物館について、セミナー・学習素材、展示情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容など、内容の充実を図っている。独自に整備したシステムとして、運営支援システムで管理しているセミナー情報からWEBページのセミナー一覧表の自動ページ構築とアップデート機能をもっている。



④ 研究支援システム

収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである地理情報システムをはじめ、ホロンピアホールなどの講演をセミナー室等にも配信するライブ配信機能や顕微鏡カメラの精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



⑤ 運営支援システム

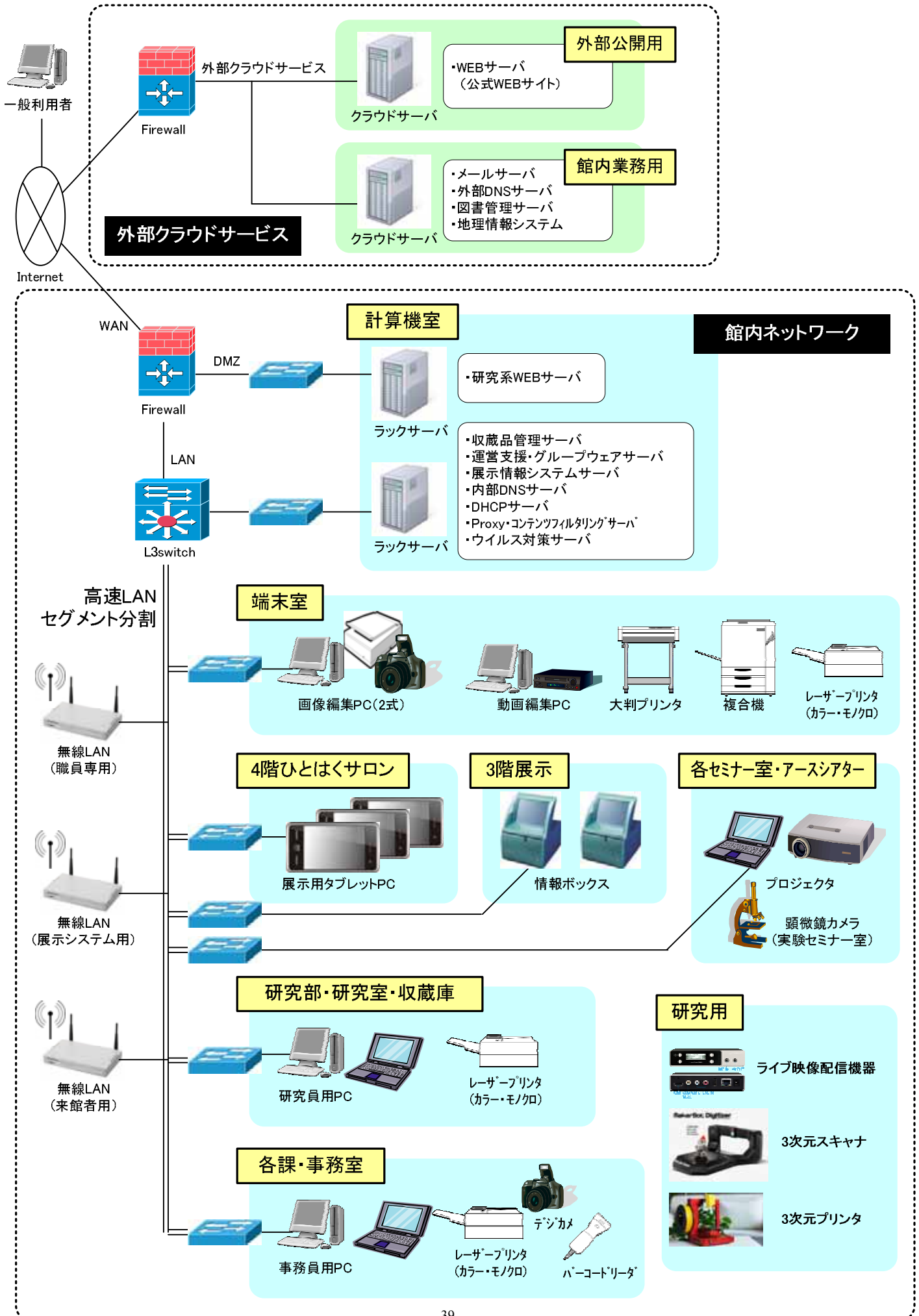
グループウェア機能をはじめ、各種イベント、セミナー情報や受講者管理、団体受付や入館者管理など、館員の端末からWEBブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



⑥ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する12万弱の図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

2)システム概要図



〇条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号改正
平成24年3月21日条例第5号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

- 2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。
- 3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。

(5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることのできる。

一部改正〔平成24年条例5号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び

第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成16年3月26日条例第7号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成18年9月28日条例第53号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第9号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成22年3月19日条例第6号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。（後略）

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	200円	150円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150円	100円	
高校生	100円	70円	

全部改正（平成22年条例6号）

別表第2（第5条関係）

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000円	1,600円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500円	1,200円	
高校生	1,000円	800円	

全部改正（平成22年条例6号）

別表第3（第9条関係）

区分	使用料			備考
	講堂から10時まで	10時から15時まで	15時から閉館まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例（平成12年兵庫県条例第12号）別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額（一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相			

	当する金額	
附属設備	別に教育委員会規則で定める額	

全部改正〔平成15年条例7号〕、一部改正〔平成16年条例7号・18年53号・19年9号・22年6号〕

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

（平成4年3月27日）
教育委員会規則第8号

〔沿革〕

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正

平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正

平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正

平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正

平成22年3月31日教育委員会規則第6号

平成23年3月29日教育委員会規則8号

（趣旨）

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（観覧料の納付）

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

（特別展示観覧料）

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

（特別観覧の許可等）

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

（展示品の利用）

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

（施設の利用の許可等）

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第2号。以下「利用許可申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書（様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。）に、利便

施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

- 3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書（以下「利用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。
- 4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書（様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。）に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
- 5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。
- 6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

（利用等の許可の基準等）

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときには、条例第6条又は条例第9条第1項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文章で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
 - (3) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき。
- 2 第6条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、博物館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付すことができる。

（使用料の額）

第10条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）

第11条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第12条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額
 - (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額
- （利用等の許可の基準等）

第13条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。
 - ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額
 - イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第5号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）		
観 覧	150 円		
模写・模造	2,000 円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150 円	1,000 円
	原色	300 円	2,000 円

備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。

2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。

3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,400 円	5,600 円	10,000 円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250 円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 2,000 円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 3,000 円
持込み電気器具用コンセント （ミキシングセットを持込む場合）	持込み器具1式につき 5,000 円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号
(第6条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話.....-.....番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観 覧 希 望 日 時	年 月 日 時から 時まで		
研 究 の 方 法	熟 覧 模 写 模 造 撮 影		
研 究 の 目 的			

様式第2号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話.....-.....番

次のとおり申請します。

利 用 目 的	
利 用 室 名	
附 属 設 備 の 名 称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 月 日 時まで
利 用 者 数	
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) ※印の欄は、申請書において記入しないでください。

様式第3号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話.....-.....番

次のとおり申請します。

利 便 施 設 の 用 途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号

(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話.....-.....番

次のとおり申請します。

変 更 の 内 容	事 項	変 更 前	変 更 後
	利便施設の用途 利用許可を受けようとする利便施設		
利用許可を受けようとする期間		年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで
変 更 の 理 由			

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号

(第13条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話.....-.....番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返 還 請 求 の 内 容	※還付金の内訳
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から (日 時間) 月 日 時まで
既 納 付 額	円
返 還 を 受 け よ う と す る 理 由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議
会の組織及び運営に関する規則 (平成4年3月27日)
(教育委員会規則第9号)
(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人

と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（補則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程

（平成4年3月31日）
教育長訓令第2号

（趣旨）

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則（平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第16条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（権限の委任）

第2条 教育長は、規則第15条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第12条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育長訓令第4号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日教育長訓令第2号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

教育委員会 行政組織規則 （抜粋）

（平成4年3月31日）
教育長訓令第2号

〔沿革〕

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

第1章 総則

（目的）

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

（機関の分類）

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

（機関の定義）

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等

をいう。

（行政機能の発揮）

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

（規定の範囲）

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

（組織の特例）

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

（位置）

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

（業務）

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- （1）自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- （2）博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- （3）博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- （4）博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- （5）自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- （6）貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- （7）自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- （8）他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- （9）前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

（組織）

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課
情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部
（事業推進部の事務）

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- （2）大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- （3）自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- （4）自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- （5）その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

（総務課の事務）

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）公印の保管に関すること。
- （2）文書の收受、発送、保存等に関すること。
- （3）職員の進退及び服務に関すること。
- （4）給料その他の諸給与に関すること。
- （5）児童手当に関すること。
- （6）会計経理に関すること。
- （7）県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- （8）人と自然の博物館協議会に関すること。

- (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。
(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (4) 情報機器の管理に関すること。
- (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。
(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。
(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。
(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。
(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制
(教育機関の長)

第79条

- 3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。
- 5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。
- 6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉

野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

- 2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。
- 3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。
(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

- 6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。
(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

- 2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。
- 4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。
(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務

主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
-------	---------------------

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることができる。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、（副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長）が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月8日条例第43号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成15年3月17日条例第37号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第15号）

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則（平成19年2月28日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第25号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

（昭和46年3月25日）
（条例第16号）

〔沿革〕

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

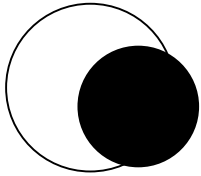
3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

兵庫県立人と自然の博物館協議会委員名簿

平成26年3月現在

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市けやき台小学校長	松浪 治
〃	神戸市立有野北中学校長	磯辺 次雄
〃	県立伊川谷北高等学校長	梶原 愛子
社会教育関係者	県立考古博物館長	石野 博信
〃	神戸松蔭女子学院大学教授 (兵庫県社会教育委員)	寺見 陽子
〃	兵庫県ライフデザイン研究所FLAP代表	岩木 啓子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山西 良平
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春
〃	兵庫県立大学副学長	新免 輝男
〃	三田市長	竹内 英昭
〃	関西学院大学教授	角野 幸博
〃	キッズプラザ大阪企画運営グループプランナー	石川 梨絵
〃	神戸大学大学院准教授	畠中 知子
公募委員		岡部 芳彦
公募委員		丸谷 聡子



個人別成果報告に関する資料

No. 1

● 館長

中瀬 勲 NAKASE, Isao

兵庫県立大学名誉教授。

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。

兵庫県立丹波の森公苑長，兵庫県立淡路景観園芸学校顧問，日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，日本学術会議等所属。

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

2) 共同研究

総合共同研究

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムとソーシャルキャピタル形成」，研究分担者。

3) 論文・著書

- ◎田中陽朗・山崎義人・赤澤宏樹・中瀬勲(2013)「市街地の住環境の向上に向けた農業用水路の活用に関する研究～尼崎市の農業用水路の行政と住民団体の利用・管理に着目して～」，48 No.2, 399-404.
中瀬勲(2013)「祈念施設としての公園緑地の課題」，グリーンエージ，No.478, 16-20.
中瀬勲他共著(2013)「地域を元気にする実践！コミュニティデザイン」，彰国社，10-29.

4) その他著作

- 中瀬勲(2013)「ぬくもり第30号発刊によせて」，ぬくもり30周年記念号，丹波OB大学自治会，18-19.
中瀬勲(2013)「仲間としてよろしく」，平成24年度丹波OB大学大学院2012年のまとめ，(公財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑文化振興部，1.
中瀬勲(2013)「次世代に期待」，情報誌「丹波の森」No.46，(公財)兵庫丹波の森協会，1.
中瀬勲(2013)「メタボリズムの美学」，丹波の森(兵庫丹波の地域情報誌)No.47.
中瀬勲(2013)「緑の裾野を広げよう」，造園連新聞，第1186号，平成25年9月21日。
中瀬勲(2014)「初めて譲ってもらった座席」，丹波の森地域情報誌，丹波の森No.48(2014.1).
中瀬勲(2014)「地域の文化」，丹波文化団体協議会会報，No.15(2014.3).
中瀬勲(2014)「造園文化の進展と女性」，花と緑，

201403, Vol. 22, 全国女性造園技術者の会，4-5.

5) 研究発表

TAKEYAMA Hiroshi・YAMASHITA Yoshihiro・NAKASE Isao, Development of Learning Tool which used "Mobile-Phone with GPS" and "Web-GIS" for Environmental Education, 7th Pacific Rim, Community Design Network Conference, p.267.

6) 学会役員など

- 日本造園学会，校閲委員。
日本造園学会，代議員。
日本都市計画学会，学術研究発表論文・一般研究論文審査部会，委員。
環境情報科学センター，環境情報科学論文集査読委員会，委員。
兵庫県政学会，評議員。
日本造園学会 CPD プログラム認定委員会，委員。
環境情報科学センター，第一企画委員。
日本造園学会，関西支部，顧問。
兵庫県立淡路景観園芸学校，顧問。
日本学術会議，日本学術会議連携会員。

7) 賞罰

- 兵庫県立大学功績賞
第34回北村賞
兵庫県教育功労者表彰(知事表彰)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

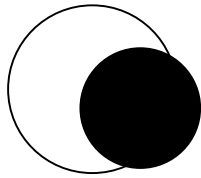
1) セミナー

- 中瀬勲，2013.6，「花と緑のまちづくりと私たちの役割」，講師，阪神シニアカレッジ，(40名)
中瀬勲，2013.6，「これからのパークマネジメント」，講師，公園管理運営士会関西支部設立総会，(160名)
中瀬勲，2013.7，「環境資源を活かしたまちづくり」，講師，高槻市民環境大学，(30名)
中瀬勲，2013.7，「芥川倶楽部に期待すること」，講師，芥川倶楽部総会，(120名)
中瀬勲，2013.7，「森林の役割」，講師，島本フォレストクラブ開講式，(80名)
中瀬勲，2013.8，「環境総論」，講師，宝塚市環境市民大学，(30名)
中瀬勲，2013.9，「多自然地域の活性化」，講師，ひょうご地域再生塾，(20名)
中瀬勲，2013.9，「地域との連携」，講師，関西大学コンソーシアム，(40名)
中瀬勲，2013.9，「これからの公園緑地」，兵庫県園芸・

- 公園協会 40 周年記念フォーラム, (400 名)
- 中瀬勲, 2013.10, 「地域の景観を学ぶ」, 講師, 阪神シニアカレッジ, (30 名)
- 中瀬勲, 2013.10, 「祈念施設としての公園緑地の課題ーパークマネジメントの視点からー」, 講師, パネラー, 日本緑化センター研究会, (200 名)
- 中瀬勲, 2013.11, 「造園 1」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, (60 名)
- 中瀬勲, 2013.11, 「連携で始まる地域活性化」, 講師, 丹波の森大学, (40 名)
- 中瀬勲, 2013.11, 「里山の暮らしに学ぶ」, 講師, 武庫川女子大学生活美学研究所秋季シンポジウム, (300 名)
- 中瀬勲, 2013.11, 「ネットワークで守ろう丹波地域の豊かな自然」, 講師, 丹波県民局, (250 名)
- 中瀬勲, 2013.11, 「西播磨ふるさとの風景づくりコンクールフォーラム」, コーディネーター, (300 名)
- 中瀬勲, 2014.11, 「造園 2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, (60 名)
- 中瀬勲, 2014.12, 「ランドスケープ研究 40 年余ー恩師からのバトナー」, 講師, 平成 25 年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生研究発表会特別講演, (80 名)
- 中瀬勲, 2014.1, 「多自然地域の活性化」, 講師, 加陽湿地と中筋の未来を考えるワークショップ, (40 名)
- 中瀬勲, 2014.2, 「生物多様性と住民参加」, 講師, 棚田ラバーズフォーラム, (30 名)
- 中瀬勲, 2014.2, 「世界の話」 「町づくりと造園」, 講師, フレミラ宝塚, (計 60 名)
- 中瀬勲, 2014.3, 「尼崎 21 世紀の森フォーラム」, コーディネーター, 阪神北県民局, (300 名)
- 中瀬勲, 2014.3, 「生物多様性発表会」, 講師, 兵庫県農林環境部, (80 名)
- 中瀬勲, 2014.3, 「地域マネジメントの実践と展望ーひょうごの山・里・川・海での試みー」, 講師, 土木学会講演, 神戸大学, (80 名)
- 中瀬勲, 2014.3, 「まちづくりと市民参加」, 講師, (60 名)
- 中瀬勲, 2014.3, 「ネットワークで守ろう 豊かな自然」, 講師, 六甲砂防務所, (60 名)
- 兵庫県立大学・大学院教育**
- 環境戦略特論 (主任)
- 共生地域創生論 (主任)
- 2. シンクタンク事業**
- 1) 行政等支援**
- 委員会等 (計 110 件)**
- 1993.3- (公財) 丹波の森協会, 理事.
- 1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.
- 1996.4- (公財) 丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.
- 1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森公苑.
- 1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.
- 1998.8- (財) ひょうご環境創造協会, 環境アドバイザー.
- 1999.4- (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
- 2000.6- (社) 大阪自然環境保全協会, 里山保全アドバイザー.
- 2001.8- 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
- 2002.3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
- 2002.5- 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
- 2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部 (県民政策部) .
- 2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.
- 2003.6- (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.
- 2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2004.6- (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
- 2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
- 2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
- 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
- 2005.4- 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
- 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
- 2005.7- 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
- 2005.7- 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
- 2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.
- 2005.8- 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.9- ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社. 以降継続中
- 2006.2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
- 2006.4- (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
- 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
- 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』,

- 塾長, (財)兵庫丹波の森協会.
- 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
- 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会, 委員(長), 兵庫県立年丹波年輪の里.
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会, 委員, 会長(2011.4-), 神戸市.
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
- 2007.6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
- 2007.6- 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
- 2007.6- 平成19年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ. (継続中)
- 2007.7- 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会, 会長(2010.1から), 副会長, 兵庫県農林水産部.
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会, WLM推進部会, 部会長(代行), 兵庫県農林水産部.
- 2008.4- 丹波縄文の森塾, 塾長, (財)兵庫丹波の森協会.
- 2008.4- やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.
- 2008.6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム, 座長, 兵庫県丹波県民局.
- 2008.6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2009.1- 丹波の森大学, 学長, (財)兵庫丹波の森協会.
- 2009.5-2011.4 県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2010.2- たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会, 副会長.
- 2010.2- 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.
- 2010.5- 兵庫の貴重な自然改訂委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.6- ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.5- 新名神高速道路 大阪府域自然環境保全検討委員会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2010.12- 新名神高速道路 兵庫地域自然環境保全検討委員会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2011.4- 神戸市公園緑地審議会, 計画・緑化部会, 部会長, 神戸市.
- 2011.5- (財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる自己評価システム検討委員会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2011.5- 生物多様性ひょうご基金審査委員会, 委員, (財)ひょうご環境創造協会.
- 2011.6- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2011.8- 西播磨花の郷選定委員会, 委員長, 兵庫県西播磨県民局.
- 2011.8- ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2011.8 平成23年度名勝慶野松原保存整備委員会, 委員, 南あわじ市.
- 2011.9 中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会, 委員, 環境省.
- 2011.9 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家バンク登録, 公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター.
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会, アドバイザー
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会, 委員長.
- 2011.10-2017.10 日本学術会議連携会員, 日本学術会議.
- 2011.11 あわじ環境未来島構想推進事業審査会, 委員, 兵庫県淡路県民局.
- 2012.1 (財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる評価・検証委員会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2012.3 兵庫県立丹波年輪の里運営協議会委員長.
- 2012.4 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会, 理事.
- 2012.4 生物多様性ひょうご戦略推進委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2012.4 長期ビジョン審議会公募委員選考会議, 委員, 兵庫県企画県民部.
- 2012.7 播磨新宮～山崎間自然環境保全検討会, 会長, 西日本高速道路株式会社.
- 2012.8 環境基本計画検討小委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2012.9 (仮称)関西広域連合環境保全計画に関する有識者会議, 委員, 関西広域連合.
- 2012.9 神戸市建設局自転車等駐車場整備・管理運営事業者選定委員会, 委員長, 神戸市.
- 2012.9 (新)森の円卓会議, 会長, 兵庫県立丹波並木道中央公園, 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会.
- 2012.10 長期ビジョン審議会環境優先社会・多彩な交流社会分科会, 部会長, 兵庫県企画県民部.
- 2012.10 加古川流域懇談会, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2013.1 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会, 委員, NEXCO 西日本.
- 2013.1 神戸市建設局ネーミングライツ検討会, 委員長, 神戸市.

- 2013.4-2015.3 神戸市建設局指定管理者選定評価委員会、委員長、神戸市。
- 2013.4 やしろの森公園運協、評議員、やしろの森公園協会。
- 2013.4 姫路市生物多様性地域戦略検討会、委員長、姫路市。
- 2013.4-2015.3 神戸市公園緑地審議会、委員長、神戸市。
- 2013.4 北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）環境影響評価技術検討委員会、委員長、国土交通省近畿地方整備局。
- 2013.4-2015.3 神戸市建設局自転車等駐車場事業者選定委員会、委員長、神戸市。
- 2013.4 平成25年度森の円卓会議、委員、兵庫県立丹波並木道中央公園。
- 2013.4 平成25年度森の円卓会議、会長、兵庫県立丹波並木道中央公園。
- 2013.5 新名神高速道路鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討委員会、委員、西日本高速道路株式会社。
- 2013.5 平成25年度グリーンスクール審査委員会、委員、兵庫県教育委員会。
- 2013.6 あわじ環境未来島構想推進事業審査会、委員、兵庫県淡路県民局。
- 2013.6 尼崎市公園緑地審議会、会長、尼崎市。
- 2013.6 淡路花博15周年記念事業企画委員会、委員、淡路花博15周年記念事業実行委員会。
- 2013.6 淡路花博15周年記念事業エネルギーと暮らし部会、アドバイザー、淡路花博15周年記念事業実行委員会。
- 2013.6 姫路市生物多様性地域戦略検討会、会長、姫路市。
- 2013.6 兵庫県環境審議会、委員、兵庫県。
- 2013.7 円山川水系自然再生推進委員会、委員、近畿地方局整備・兵庫県丹波県民局。
- 2013.7 有馬富士公園運営・計画協議会、会長、公益財団法人兵庫県園芸・公園協会。
- 2013.7 中央環境審議会瀬戸内環境保全小委員会、専門委員、環境省。
- 2013.7 地域再生大作戦顕彰委員会委員、兵庫県。
- 2013.7 評価・検証委員会」、委員長、公益財団法人兵庫県園芸・公園協会。
- 2013.7 新名神高速道路大阪府域自然環境保全検討委員会、委員長、西日本高速道路株式会社。
- 2013.7 神戸市道路公社設置駐車場管理運営業務委託業務委託業者選定評価委員会、委員長、神戸市道路公社。
- 2013.7 地域再生大作戦検証委員会、委員、兵庫県企画県民部。
- 2013.7 三田市まちづくり基本条例進捗管理委員会、委員、三田市。
- 2013.10 日本科学未来館運営評価委員会、委員、日本科学未来館。
- 2013.12 六甲山フォレストプロジェクト・ブレインストーミング、委員、神戸市。
- 2013.12 加陽湿地と中筋の未来を考える懇談会、アドバイザー、豊岡市。
- 2014.1 淡路花博2015花みどりフェア県民提案事業審査委員会、委員長、淡路花博記念事業実行委員会。



個人別成果報告に関する資料

No. 2

●自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/
埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫 KOBAYASHI, Fumio

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授.

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物部門 兼担.

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会等所属.

The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The Paleontological Society 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

3. 研究開発部門

博物館学術交換図書 of 整理

旧地球科学研究部研究担当, 「人と自然」第24号編集委員

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 古生代後期・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界
4. 地域防災に関わる地学教育

2) 共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用」, 研究分担者.

3) 論文・著書

Kobayashi, F. (2013) Late Permian (Lopingian) foraminifers from the Tsukumi Limestone, Southern Chichibu Terrane of eastern Kyushu, Japan. *Journal of Foraminiferal Research*, 43: 154-169.

Kobayashi, F. (2013) Permian foraminifers contained in limestone and conglomerate of the Maizuru Group in the Shimo-Yakuno area, Kyoto Prefecture, Japan. *Nature and Human Activities*, 24: 9-20.

Kobayashi, F. (2013) Morphologic variation of five species of *Parafusulina* from the Middle Permian Nabeyama Formation in the Kuzu area, Tochigi Prefecture, Japan. *Nature and Human Activities*, no. 24. p. 85-122.

Kobayashi, F. and Wernli, R. (2014) Early Cretaceous

(Berriasian to Valanginian) foraminifers from the Torinosu limestone at the type locality of Sakawa, Shikoku, Japan. *Revue de Paleobiologie*, 33(1): 1-12.

半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐藤裕司・武田重昭・上田萌子・坂上勝彦・八尾滋樹・小林美樹・西岡敬三・古谷裕・高橋晃・太田英利・中瀬勲 (2013) ひょうご恐竜国際シンポジウム実施報告. 人と自然, 24: 51-62.

4) その他著作

小林文夫 (2013) ペルム系常森層の石灰岩ブロック・岩片中の古生代後期有孔虫類-秋吉石灰岩層群のそれらとの関係-. 化石, 93: 142.

小林文夫 (2013) 「フズリナ化石に惹きつけられ石灰岩薄片作成 45 年」 シリーズ私の研究、ハーモニー第 83 号 (ひとはく新聞).

7) 学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行事委員.

Italian Journal of Geosciences, レフェリー

Geological Journal, レフェリー

Journal of Paleontology, レフェリー

Journal of Paleontology, レフェリー

日本古生物学会第 163 会例会シンポジウム「古生代化石研究の最前線」, 外部講師との連絡・対応, 進行立案, 総合討論座長

8) 助成を受けた研究

文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 c) 「日本産古生代後期有孔虫類の種多様性と群集組成の時空分布」, 平成 25-27 年度 研究費総額 442 万円 (研究代表者, 単独)

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2013.12, 石灰岩サンプルの収集 (403 点) 山口県秋吉石灰岩, 岐阜県福地一の谷石灰岩 (小林文夫コレクション).

2013.4-2013.12, 石灰岩岩石薄片の作成と登録 (3614 点) 山口県秋吉石灰岩, 岐阜県福地一の谷石灰岩 (小林文夫コレクション).

2013.4-2013.12, 石灰岩薄片写真資料 (850 点, 小林文夫コレクション).

2013.4-2013.12, 石灰岩岩石資料の整理と登録 (213 点, 小林文夫コレクション).

2) 受贈担当資料

2014.3, 「市川浩一郎コレクション」 15 点

3) 整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩とその岩石薄片).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2013.4, 「日本の恐竜化石含有層」, 博物館 (9名)

小林文夫, 2013.4, 「フズリナ化石の世界」, 博物館, (特注セミナー, 兵庫県立宝塚北高等学校生徒・教員 44名)

小林文夫, 2013.5, 「人と自然の共生と人口問題」, 博物館 (4名)

小林文夫, 2013.8, 「紀州由良の白崎石灰岩とフズリナ化石」, 博物館, (特注セミナー, 和歌山県立海南高等学校 SSC クラス生徒・教員 35名)

小林文夫, 2013.8, 「大量絶滅事件の背景」, 博物館, (特注セミナー, シニア自然大学校空組 57名)

小林文夫, 2013.10, 「大量絶滅事件の背景」, 博物館 (19名)

小林文夫, 2013.10, 「流れる水のはたらき」, 博物館, (特注セミナー, 明石市立人丸小学校生徒・教員 151名)

◎小林文夫, 2013.4, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 38名)

◎小林文夫, 2013.7, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 46名)

◎小林文夫, 2013.9, 「フズリナ化石組みたてゲーム」, 博物館 (オープンセミナー, 18名)

館外講演など

小林文夫, 2013.6, 「教科書的でない川、武庫川」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 宝塚市立老人福祉センター (32名).

小林文夫, 2013.6, 「野外観察-教科書的でない川、武庫川」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 仁川下流域 (31名).

小林文夫, 2014.3, 「古代の生きものと地質学ー大量絶滅事件の背景ー」NPO シニア自然大学校マイスターNo.31 修了講座, 大阪産業創造館 (61名)

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論 (主任)

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8.5-8.19, 大学生 3名

相談・指導助言

来訪者 19件, 24名. 電話・FAX 相談 5件, メール相談 4件.

5) 学会開催等支援

日本古生物学会第 163 会例会開催実行委員会事務局

佐藤裕司 SATO, Hiroshi

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／企画調整統括

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授.

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物部門 兼担

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。学術博士(神戸大学)。日本第四紀学会、日本陸水学会、日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整統括

2. タスクフォース 恐竜・化石タスクフォース

渉外担当

3. 研究開発部門

研究部長、研究部門会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 完新世の相対的海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と水環境保全に関する研究

2) 共同研究

部門研究「地形・地質を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究代表者.

3) 論文・著書

◎Tanigawa, K., Hyodo, M., and Sato, H. (2013) Holocene relative sea-level change and rate of sea-level rise from coastal deposits in the Toyooka Basin, western Japan. *The Holocene*, 23(7) : 1039-1051.

4) その他著作

◎佐藤裕司(2013) 兵庫県産淡水藻目録. 人と自然, 24 : 63-83.

6) 研究発表

Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Dettman, D.L. and Sato, H.(2013) Possible linkage between geomagnetic field, temperature and monsoon: implication of high-resolution magnetic and climatic data from a sediment core in Osaka Bay, Japan. *American Geophysical Union's 46th annual Fall Meeting, San Francisco, California, USA* (12月)

7) 学会役員など

- 2013.5, 日本珪藻学会・査読
- 2013.8, 日本第四紀学会・査読
- 2013.8, 日本珪藻学会・査読

8) 助成を受けた研究

「恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環

境教育への展開」(科学研究費補助金・基盤研究(C)) 代表者 (H.25 110万円/H.24-26 400万円).

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 現生淡水藻類の標本採集. 丹波市・上郡町など.

3) 整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

1) セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2013.4.20, 21, 5.11, 12, 「ため池をさぐる」, 博物館・野外. (全4回, のべ45名)

佐藤裕司, 2013.6.13, 特注セミナー「水辺の観察」, 博物館. 加東市小学校教員・環境教育担当者会 (9名)

佐藤裕司ほか, 2013.8.9, 教職員・指導者セミナー「身近な生き物観察」, 博物館. (19名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2013.10.5, 6, 「カワバタモロコの数調べ(キリンビオトープ)」, キリンビール(株)神戸工場, (全2回, のべ8名)

佐藤裕司, 2013.10.27, 「地上最強?の生物、クマムシを探そう」, 博物館. (全1回, 4名)

佐藤裕司, 2014.3.8, 「湧き水を訪ねる, パート2」博物館・野外. (8名)

オープンセミナー

◎解説! 恐竜ラボ, 2013.7.14. (24名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2013.9.22. (16名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2013.2.23. (28名)

館外講演

2013.8.24, 「なぜ自然史を学ぶか」, 丹波市山南町上久下地域づくりセンター. (20名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生博物学」(オムニバス形式, 代表)

大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

兵庫県立大学COC事業

2013.11.23, ワークショップ「アンモナイト化石の石けんレプリカづくり」企画・実施

2013.12.26-27, 兵庫県立龍野高校SSH「自然史入門合宿」企画・実施

2014.3.16, 研究発表会「丹波竜の小さな仲間たち」企画・実施

ラジオ・テレビ等出演

2014.3.23, サンテレビ「ひょうご“ワイワイ”」

2) キャラバン事業および地域研究員養成事業

主担当

加東市との協力協定事業(加東市ノーベル大賞事業)

成果発表

2014.2.11, 共生の広場「恐竜化石の活用とフィールドワークを重視した6年生理科「大地のつくり」授業実践 ～加東市立三草小学校における授業実践の

成果と課題について～), 岸本清明 (指導助言)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6, 三田市立八景中学校2名, 富士中学校2名,
長坂中学校1名

講師派遣

2013.11.14, 加東市立三草小学校 (21名) 「恐竜化石を
活かした大地の学習」

2013.10.17, 加東市立東条東小学校「加東市ノーベル大
賞、応募作品審査」

2013.11.17, 「加東市ノーベル大賞」講評

6) 研修生等の受入

研修生

2013.8.26, 県庁インターンシップ (高校生4名、県立
農業高校 (1)、県立川西明峰高校 (2)、県立伊丹北
高校 (1))

7) フェスティバル等

2013.11.4, ひとはくフェスティバル、「アンモナイトの
石けんレプリカづくり」を実施

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ
創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社
神戸工場.

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 4名.

4) 行政等支援

委員会等 (計5件)

2013.4-2014.3, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かした
まちづくり推進協議会・企画運営委員会, 委員, た
んば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進
協議会

2013.4-2014.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政
環境部環境創造局自然環境課

2013.4-2014.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会,
委員, 篠山市教育委員会

2013.6-2014.3, 加東市とひとはく協力協定連携推進会
議, 委員, 加東市教育委員会

2012.7-2015.6, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省
自然環境局野生生物課

相談・指導助言

来訪者17件, 36名. 電話・FAX相談20件, メール
相談25件.

5) 学会開催等支援

日本古生物学会第163回例会

先山 徹 SAKIYAMA, Tohru

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/地域展開推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門/ジオ環境研究部門 准教授。

昭和29年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本鉱物科学会, 地学団体研究会, 日本地学教育学会, 日本科学教育学会, 日本サイエンスコミュニケーション協会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 地域展開推進室

ジオパークマネージャー

2. タスクフォース 地域資源マネジメントタスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 火成岩類の岩石学的研究
2. 兵庫県下の地質多様性の評価と活用に関する研究

3) 論文・著書

◎先山 徹 (2013) 山陰哀願ジオパークにおけるジオツアーと博物館の役割. 吉田 勝ほか編「地学を楽しく」. 日本地質学会, 117-131.

6) 研究発表

◎先山 徹 (2013) 兵庫県下のジオ資源を活かした地域づくり. 日本地球惑星科学連合大会, 幕張 (5月).

◎先山 徹・井口博夫・松原典孝・山崎義人 (2013) 山陰海岸ジオパークにおける大学院「地域資源マネジメント研究科(仮称)」設置構想. 日本地球惑星科学連合大会, 幕張 (5月).

◎先山 徹 (2013) ジオパークにおける生涯学習支援—山陰海岸ジオパークと兵庫県立人と自然の博物館—. 地学団体研究会, 松江 (8月).

◎先山 徹・松原典孝 (2013) 山陰海岸ジオパークにおける生涯学習とジオガイドの継続教育(Geo-CPD). 日本地質学会, 仙台 (9月).

◎松原典孝・先山 徹 (2013) 山陰海岸ジオパーク但馬御火浦における中新世火山砕屑岩類の産状と形成過程. 日本地質学会, 仙台 (9月).

◎松原典孝・先山 徹 (2013) ジオパークにおける住民参加型散策コース策定の効果と課題—山陰海岸ジオパークの例—. 日本地質学会, 仙台 (9月).

◎SAKIYAMA, T. (2013) Lifelong Education Programs by the Museum in the San'in Kaigan Geopark. The 3rd Asia-Pacific Geoparks Network Jeju Symposium. Korea (Jeju) (9月)

◎Mitamura, M., Sakiyama, T., Matsubara, N. and Nakagai, M. (2013) Grants-in-Aid System for Encouragement of Academic Research of the San'in

Kaigan Geopark. The 3rd Asia-Pacific Geoparks Network Jeju Symposium. Korea (Jeju) (9月)

◎先山 徹・井口博夫・松原典孝・山崎義人 (2013) 山陰海岸ジオパーク内に設置申請中の大学院—兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科—. 第4回日本ジオパーク全国大会, 隠岐 (10月).

◎先山 徹 (2013) 山陰海岸ジオパークの災害と暮らし. 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」, 豊岡市 (11月).

◎先山 徹・松原典孝 (2013) 地震の液状化と建物の揺れ型に関する実験. 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」, 豊岡市 (11月).

7) 学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員.
地学団体研究会, 常任エディター

8) 助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究代表者(金額130万円/897万円).

西日本における中世石造物の成立と地域的展開—石材と形態・様式に着目して—文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額32万円/741万円).

9) 海外調査

2013.9 韓国(第3回アジア太平洋ジオパークネットワーク済州島大会出席)

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2012.4-2013.3 山陰海岸ジオパーク地域の地質資料の収集(北但層群凝灰岩類など). 豊岡市, 香美町, 新温泉町など

3) 整理同定担当資料

岩石・鉱物

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

1) セミナー

館主催セミナー

先山 徹・加藤茂弘, 2013.5.12, 6.23, 8.11, 9.1, 11.17, 12.8, 1.5, 2.9 「石ころクラブ」博物館(各21名)

先山 徹, 2013.4.6 「山陰海岸ジオパーク・大地の魅力を探ろう」香美町(10名)

先山 徹, 2013.4.28 「あまるベジオガイド・あまるベ〜たかのすの森の大地観察会」香美町(20名)

先山 徹・松原典孝, 2013.5.6 「豊岡市内、地形観察トレッキング」豊岡市(24名)

先山 徹・加藤茂弘, 2013.5.26 「石めぐりバスツアー、丹後半島の鳴き砂と地層」京丹後市(39人)

先山 徹, 2013.6.2 「香住で足跡化石やカエル島を見よう」香美町(5名)

先山 徹, 2013.6.15 「地震の被害や建物の揺れ方」, 豊岡市(12名)

先山 徹, 2013.6.16 「試してみよう、地震の被害や建

物のゆれ方」香美町（5名）
 先山 徹, 2013.7.21「竹野海岸の石を見て、大地の成り立ちを知ろう」豊岡市（15名）
 先山 徹, 2013.8.18「ジオパーク博士と行く京丹後バスツアー」京丹後市（3名）
 加藤茂弘・先山 徹, 2013.9.29,「秋の石めぐりハイキング～仁川・甲山周辺の地層と岩石～」, 西宮市・甲山公園周辺.（25名）
オープンセミナー
 ◎ダイヤモンドを拡大してみよう, 2013.5.3.（50名）
 ◎ダイヤモンドを拡大してみよう, 2013.8.10.（50名）
 ◎ダイヤモンドを拡大してみよう, 2013.2.23.（40名）
館外講演
 2013.7.4,「山陰海岸ジオパークの大地」, 神戸大学付属中等学校（40名）
 2013.7.22,「山陰海岸ジオパークの基礎」山陰海岸ジオパークガイド養成講座（新温泉町）, 新温泉町湯村（50名）
 2013.7.27,「山陰海岸ジオパークの大地」, 豊中高校（60名）
 2013.8.22,「ジオパークへ行こう」宝塚市（15名）
 2013.10.11,「大地が作り出した兵庫の暮らし」, 兵庫県中学校教育研究会理科部会, 新温泉町（250名）
 2013.10.19,「山陰海岸ジオパークの基礎」山陰海岸ジオパークガイド養成講座（新温泉町三尾地区）, 三尾集会場（15名）
 2013.10.30,「芦屋の大地の成り立ちと暮らし」芦屋川カレッジ, 芦屋市（40名）
 2013.10.31,「山陰海岸ジオパークの基礎」, 香美町ジオパークマスター講座, 香住区中央公民館（15名）
 2013.11.10,「山陰海岸ジオパークの大地」, 山陰海岸ジオパークガイド養成講座（香美町）, 兎和野高原野外教育センター（20名）
 2013.11.30, 地域のあるものさがし講師, 南紀熊野ジオパーク構想, 和歌山県串本町（20名）
 2013.12.4,「宝塚の大地と岩石」いきいき学舎・フレミラ 専門コース（環境・自然コース）, フレミラ宝塚（36名）
 2013.12.4,「中山寺の岩石」いきいき学舎・フレミラ 専門コース（環境・自然コース）, フレミラ宝塚（32名）
 2014.1.21,「山陰海岸ジオパークの大地と私たちの暮らし」サイエンストライやる特別授業, 香美町立香住第二中学校（32名）
 2014.1.29,「古代から中世までの墓石」, ジオカフェ, 香美町香住文化会館（30名）
 2014.2.2,「猪名川の大地の成り立ちと多田銀山」, 多田銀山顕彰会, 猪名川町中央公民館（40名）
 2014.2.6,「山陰海岸ジオパークの大地と私たちの暮らし」サイエンストライやる特別授業, 朝来市立築瀬中学校（80名）
 2014.2.14,「山陰海岸ジオパークと四国西予ジオパーク」四国西予ジオパーク推進協議会, 愛媛県西予市

（40名）
 2014.2.25,「山陰海岸ジオパークの自然と暮らし」サイエンストライやる特別授業, 豊岡市立出石中学校（120名）
 2014.3.8,「災害を伝える」京丹後市ジオパーク講演会, 京丹後市峰山地域公民館（10名）
 2014.3.15,「石垣のあるまち」香美町ジオカフェ, 香美町香住文化会館（20名）
兵庫県立大学・大学院教育
 兵庫県立大学全学共通教育科目「ジオパークと地域」（オムニバス形式, 代表）
 兵庫県立大学全学共通教育科目「人と自然の共生」（オムニバス形式）
非常勤講師
 2012.8「地学概論」, 神戸女学院大学
2) キャラバン事業および地域研究員養成事業
主担当
 2013.7.26-10-4 おおやキャラバン
 ジオキャラバン in 湖山池
2. シンクタンク事業
4) 行政等支援
委員会等（計5件）
 2013.4-2014.3 山陰海岸ジオパーク運営委員会, 委員, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.
 2013.4-2014.3 山陰海岸ジオパーク学術部会, 兵庫分会長, 山陰海岸ジオパーク推進協議会.
 2013.4-2014.3 松江市史編纂委員会松江城部会, 委員, 松江市.
 2013.4-2014.3 兵庫県文化財審議会, 委員, 兵庫県教育委員会.
 2013.4-2014.3 玄武洞整備検討委員会, 委員長, 豊岡市.
相談・指導助言
 来訪者5件, 8名. 電話・FAX相談10件, メール相談10件.

加藤 茂弘 KATO, Shigehiro

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和35年5月12日岐阜県生。東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学。理学修士。日本第四紀学会，日本活断層学会，日本人類学会，日本地理学会，日本地質学会，日本地形学連合，東北地理学会，ナイル・エチオピア学会所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室 ゆめはくマネージャー，地域担当
(淡路地区)

3. 研究開発部門

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 火山灰層序に基づく後期新生代の古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

2) 共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」，研究分担者。

3) 論文・著書

Katoh S., Suwa G, Nakaya H, Beyene Y (2014) Stratigraphic and chronologic context of the Konso Formation paleontological collection. In: Suwa G, Beyene Y, Asfaw B (eds) Konso-Gardula Research Project, Volume 1, Paleontological Collections: Background and Fossil Aves, Cercopithecidae, and Suidae. The University Museum, The University of Tokyo, Bulletin No. 47: 11-23.

4) その他著作

◎高田将志・加藤茂弘・廣内大助監修(2013)更新版治水地形分類図(5万分の1)「大阪西北部」，「大阪東北部」，「大阪西南部」，「大阪東南部」，「桜井」，「和歌山」，「粉河」，「五條」。

◎小田佑介・山口 覚・窪田高宏・村上英記・加藤茂弘・上嶋 誠(2013)山崎断層帯大原断層東端部および土万断層の地下比抵抗構造. 2013年 Conductivity Anomaly 研究会論文集, 133-138.

5) ブログへの情報提供

3件

6) 研究発表

加藤茂弘(2013.6)エチオピアのテフラ研究. 長岡信治シンポジウム&日本地質学会西日本支部2013年大会, 福岡大学火山災害研究センター・日本地質学会西日本支部, 雲仙岳災害記念館(がまだすドーム), 島原市。(招待講演)

加藤茂弘・石村大輔・檀原 徹・岩野英樹・平田岳史・岡田篤正・竹村恵二(2013.8)気山層最下部に挟在する美浜テフラのLA-ICP-MS-FT年代と大山火山起源のテフラとの対比. 日本第四紀学会2013年大会, 弘前大学, 弘前市。

Katoh S., Ishimura, D., Okada, A. and Takemura, K. (2013.8) Late Quaternary sedimentation history at the eastern coast of Lake Mikata, western Japan, relating to the Mikata fault zone activity. IGU2013 Kyoto Regional Conference, Kyoto National Conference Center, Kyoto City.

Beyene Y, Asfaw B, Suwa G, Katoh S. (2013.7) The characteristics and chronology of the earliest Acheulean. East African Association for Paleoanthropology and Paleontology, Mombasa, Kenya.

石村大輔・加藤茂弘・岡田篤正(2013.11)福井県，三方湖・中山低地の地下地質情報に基づく三方断層帯の活動性. 日本活断層学会2013年度秋季学術大会，つくば国際会議場，つくば市。

◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・David L. Dettman・佐藤裕司(2013.5)地球磁場の減少によって生じた寒冷化. 2013年度地球惑星科学連合大会，幕張メッセ国際会議場，千葉市。

◎小田佑介・山口 覚・窪田高宏・村上英記・加藤茂弘・三島稔明・上嶋 誠(2013.5)山崎断層帯大原断層東端部および土万断層の地下比抵抗構造. 2013年度地球惑星科学連合大会，幕張メッセ国際会議場，千葉市。

◎小田佑介・山口 覚・窪田高宏・村上英記・加藤茂弘・三島稔明・上嶋 誠(2013.11)山崎断層帯主部北西部と主部南東部との中間部の地下比抵抗構造 (1). 2013年地球電磁気・地球惑星圏学会，富山大学，富山市。

◎半田久美子・加藤茂弘・石田弘明(2013.12)宝塚市丸山湿原の花粉化石群と微粒炭. 日本植生史学会第28回大会，高知大学，高知市。

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh S., Dettman, D.L. and Sato, H. (2013.12) Climate vegetations and floral changes during the Mid-Pleistocene transition around Osaka Bay, Japan. East Asia International Workshop on Present Earth Surface Processes and Long-term Environmental Changes in East Asia), 神戸大学，神戸市。

7) 学会役員など

日本第四紀学会，編集委員(2009年9月～2013年8月)。

日本第四紀学会，渉外委員会委員(2011年9月～2013年8月)。

国際地理学会(IGU)京都地域会議組織委員会，日本第四紀学会代表委員(企画・プログラム班委員)(2010年9月～2014年3月)。

日本第四紀学会，INQUA2015年プレ巡検(山陰海岸ジオパーク)担当(2013年4月～2015年8月)

8) 助成を受けた研究

地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開。文部科学省科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究), 研究代表者(金額152万円/総額351万円)

袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価。文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B), 研究分担者(金額104万円/総額273万円)

ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実。文部科学省科学研究費補助金(特別推進研究), 研究分担者(金額1170万円/総額6214万円)

9) 海外調査

2013.12 台湾(竹山車龍埔断層保存館や近隣地区における地震断層の保存・活用状況に関する調査)

2014.1 台湾(921地震教育園区と竹山車龍埔断層保存館他における地震断層の保存・活用状況に関する調査)

2014.2-3 エチオピア(チョローラ層分布域での中新世類人猿化石の探索)

10) 賞罰

20年永続勤務表彰, 兵庫県教育委員会

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.7 男鹿軽石, 阿蘇3火山灰, 洞爺火山灰と中期～後期更新世の貝化石ほか。秋田県安田海岸。

2013.8 日本最北端の始良 Tn 火山灰。青森県つがる市出来島海岸。

2014.2-3 エチオピア, アファー地溝帯南部のチョローラ層中の火山灰, 軽石層など。

3) 整理同定担当資料

第四紀堆積物(火山灰, ボーリングコア等, 活断層・地層のはぎとり標本等)。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘, 2013.7.13-14, 「火山灰を調べる: 上級編(全2回)」, 人と自然の博物館。(10名)

加藤茂弘・先山 徹, 2013.9.29, 「秋の石めぐりハイキング～仁川・甲山周辺の地層と岩石～」, 仁川植物園・甲山公園周辺。(25名)

加藤茂弘, 2013.10.20, 「新・エチオピアの大地に人類進化の謎を探る」, 人と自然の博物館。(14名)

加藤茂弘, 2013.4.13, 「実体顕微鏡や偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」, 人と自然の博物館。(26名)

加藤茂弘, 2013.5.11, 「実体顕微鏡や偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」, 人と自然の博物館。(38名)

加藤茂弘, 2013.6.22, 「実体顕微鏡や偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」, 人と自然の博物館。(53名)

加藤茂弘, 2013.10.12, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 人と自然の博物館。(30名)

加藤茂弘, 2013.11.9, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見

てみよう」, 人と自然の博物館。(35名)

加藤茂弘, 2013.12.7, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 人と自然の博物館。(95名)

加藤茂弘・上田萌子・古谷 裕・塚本健二ほか, 2013.8.18, 「ゆめはく化石展示解説」(225名), 「アンモナイト化石レプリカづくり」(71名)。淡路ハイウェイオアシス, 淡路市。

先山 徹・加藤茂弘・松原典孝, 2013.5.26, 「石巡りバスツアー・丹後半島の鳴き砂と地層」, 立岩・琴引浜・郷村断層など。(37名)

先山 徹・加藤茂弘, 2013.5.12-2014.2.9, 「石ころクラブ(全8回)」, 人と自然の博物館。(80名)

特注セミナー

加藤茂弘, 2013.6.26, 「見直される近未来の南海地震像」, シニア自然大学校「緑組」, 人と自然の博物館。(42名)

加藤茂弘, 2013.7.2, 「見直される近未来の南海地震像」, シニア自然大学校「花組」, 人と自然の博物館。(25名)

加藤茂弘, 2013.7.9, 「兵庫県西部の自然史」, 鉱物クラブ, 人と自然の博物館。(24名)

加藤茂弘, 2013.7.12, 「見直される近未来の南海地震像」, シニア自然大学校「風組」, 人と自然の博物館。(51名)

加藤茂弘, 2013.12.3, 「エチオピアの大地で人類進化の謎を探る」, 鉱物クラブ, 人と自然の博物館。(23名)

館外講演

加藤茂弘, 2013.8.16, 図書館×ひとはく 自由研究大応援! 「ナマズウシ先生の防災学習の巻一図書館を活用した防災学習一」, ドミノ倒しで学ぶ活地震と断層, 動く断層ペーパークラブ, 講師, 兵庫県立図書館, 明石市。(各30名)。

加藤茂弘, 2013.10.2, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 芦屋川シニアカレッジ, 講師, 芦屋市。(110名)

加藤茂弘, 2013.10.21, 「見直される近未来の南海地震像」, 阪神シニアカレッジ2年生, 講師, 宝塚ソリオ, 宝塚市。(105名)

加藤茂弘, 2013.10.22, 「兵庫県西部の山崎断層を歩く」, 鉱物クラブ, 講師, 宍粟防災センターや琵琶甲断層, 暮坂峠断層ほか, 宍粟市・加西市ほか。(19名)

加藤茂弘, 2013.10.25, 「エチオピアの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ4年生, 講師, 宝塚ソリオ, 宝塚市。(143名)。

加藤茂弘, 2013.11.27, 「中山寺周辺の活断層を歩く」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市。(36名)

加藤茂弘, 2013.11.27, 「宝塚の活断層と近未来の大地震」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市。(38名)

加藤茂弘・古谷 裕・西岡敬三・南あわじ地学の会ほか, 2013.11.10, 「ゆめはく化石展示解説」(100名), 「アンモナイト化石レプリカづくり」(257名)。淡

路うずしおフェスティバル2013, 国立淡路青少年の家, 南あわじ市.

加藤茂弘, 2014.1.13, 「野島断層親子体験教室」, 簡単!化石のレプリカづくり, ドミノ倒して学ぶ!地震と断層, 野島断層保存館見学ツアー, 動く断層ペーパークラフトを作ろう, 講師, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (103名).

加藤茂弘・古谷 裕・塚本健二ほか, 2014.1.5, 1.12, 「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 講師, 国営明石海峡公園, 淡路市. (270名)

加藤茂弘・川東丈純・塚本健二ほか, 2014.2.8, 「地震はどうして起きるんだろう?学習会」, ドミノ倒して学ぶ 地震と断層, 動く断層ペーパークラフトを作ろう, 講師, 宍粟市立図書館, 宍粟市. (各35名)

ラジオ・テレビ等出演

2013.4, 淡路島の活断層と地震. 毎日放送神戸支局.

2013.4, 淡路島の活断層と地震. テレビ朝日.

2013.8, 地震の神様「ナマズウシ」. NHK 神戸支局.

2014.2, 地震はどうして起こるんだろう?学習会. 宍粟市ケーブルテレビ.

2) キャラバン事業

副担当

2013.7.24-9.2, 淡路地区「道の駅キャラバン in 淡路ハイウェイオアシス 2013」, 淡路市淡路ハイウェイオアシス. (179,680名)

4) 連携事業

連携グループ等

石ころクラブ (主担当)

Run♪Run♪Plaza♪ (副担当)

南あわじ地学の会 (副担当)

成果発表

石ころクラブ, 「第9回共生のひろば」にて展示発表ほかを指導.

共催事業

2013.7.27-9.18, 図書館×ひとはく 連携展示!「ナマズウシ先生の巡回展示文庫—図書館を活用した防災学習展—」(展示品作成・設置など), 兵庫県立図書館, 明石市. (56,576名).

2013.8.3, 「ゆめはくがやってくる」, 南あわじ市パルティ, 南あわじ市. (167名)

2013.8.16, 図書館×ひとはく 自由研究大応援!「ナマズウシ先生の防災学習の巻—図書館を活用した防災学習—」(ワークショップ学習会の企画・実施など), 兵庫県立図書館, 明石市. (60名).

2013.8.20-10.6, 「兵庫県立図書館×徳島県立図書館 交流企画展 兵庫県発!! 震災・防災・減災～阪神・淡路大震災の教訓から～」, 徳島県立図書館. (82,550名)

2014.1.17-2.8, 巡回展示文庫「図書館を活用した防災学習」(展示品作成・設置, ワークショップ学習会の企画・実施など), 宍粟市立図書館. (2,642名)

協力事業

2013.11.10, 「淡路うずしおフェスティバル2013」, 国

立淡路青少年交流の家, 南あわじ市. (1,767名)

2013.12.21-2014.1.13, 「あわジオフェスティバル2013」, 国営明石海峡公園, 淡路市. (7,408名)

2014.1.13, 「国指定天然記念物 野島断層普及講演会 2014 および野島断層親子体験教室」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (160名)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6.4-6.7, 三田市立八景中学校2名, 三田市立富士中学校2名, 三田市立長坂中学校1名. (ポーリングコアの整理ほか)

学校団体対応

2013.4.26, 「近未来の南海地震」, 大阪府立泉北高等学校, 人と自然の博物館. (128名)

2013.4.29, 「近未来の南海地震」, 兵庫県立宝塚北高等学校, 人と自然の博物館. (42名)

2013.9.12, 「火山灰を調べる」, 兵庫教育大学, 人と自然の博物館. (13名)

2013.9.27, 「暗やみで光る鉱物を見てみよう」, 豊能町立田尻小学校. (22名)

2013.11.2, 「情報端末を使った岩石の学習(A班・B班)」. 神戸大学付属住吉小学校. (47名)

2013.11.26, 「六甲山とその周辺の地形・地質の成り立ち」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科. (43名)

講師派遣

2013.6.18, 「南海地震について」, 講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科. (43名)

6) 研修生等の受入

卒論生等

山田圭太郎 (京都大学大学院理学系研究科修士課程)

7) フェスティバル等

ひとはくフェスティバル2013 実行委員会 委員. (着ぐるみ出演担当)

8) 展示

常設展

2013.5-2014.3, 2階常設展示「ひとはく多様性フロア～魅せる収蔵庫トライやる～」コーナーの岩石展示追加や修繕, および3階常設展示「上昇する六甲」コーナーの管理・修繕

ミニ企画等

2013.12.14-2014.1.5, 干支展2014「午さんようこそ!」(神馬が登場する鯰絵展示の作成)

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究 (研究代表者), 淡路市教育委員会, 金額27万円.

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 12回, 32名.

4) 行政等支援

委員会等 (計4件)

2013.4-2014.3, 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会.

2013.8-2014.3, 平成 25 年度土地履歴調査 (兵庫・和歌山地区) 委員会, 委員, 国土交通省国土政策局国土情報課.

2013.11-2014.3, 平成 25 年度治水地形分類 (近畿地区) 判定委員会, 委員, 国土交通省国土地理院.

2013.11-2014.3, 平成 25 年度兵庫県北部沿岸津波調査委員会, 委員, 兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課.

相談・指導助言

来訪者 30 件, 50 名. 電話・FAX 相談 40 件, メール相談 150 件.

5) 学会開催等支援

2013.8.5-8.9 国際地理学連合 2013 年京都地域会議, 京都国際会議場, 1,400 名. (加藤茂弘, プログラム委員会委員, セッション座長 2 件)

2014.1.23-25 日本古生物学会第 163 会例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 273 名 (加藤茂弘, 開催補助)

古谷 裕 FURUTANI, Hiroshi

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

1952年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会, 日本地学教育学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進事業室

ゆめはくマネージャー 中期目標とりまとめ, 国際シンポジウム事務局運営 担当

2. タスクフォース

キッズひとはく推進タスクフォース

サブリーダー かわらばん担当

情報システム更新タスクフォース

3. 研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究
3. 小さな子どもたちに対する地学教育に関する研究

4) その他著作

半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐藤裕司・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・八尾滋樹・小林美樹・西岡敬三・古谷 裕・高橋 晃・太田英利・中瀬 勲 (2013) ひょうご恐竜化石国際シンポジウム実施報告, 人と自然.

8) 助成を受けた研究

恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開, 文部科学省科学研究費 基盤研究(C), 研究分担者 (平成25年度分10万円/総額220万円). 被災した子ども達が大人になるまで—博物館こそができる長期継続型支援システムの構築. 文部科学省科学研究費 基盤研究(C), 研究分担者 (平成25年度分10万円/総額117万円).

2. 資料収集・整理

2) 受贈担当資料

2013.3 洲本市産恐竜化石.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

◎古谷 裕, 2013.4「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館、(1回、43名)

古谷 裕, 2013.4「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館、

(1回、7名)

◎古谷 裕, 2013.5「小さな化石を楽しもう」, 博物館、(1回、51名)

◎古谷 裕, 2013.7「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館、(1回、81名)

古谷 裕, 2013.7「南あわじで地層を見る」, 南あわじ市、(1回、12名)

◎古谷 裕, 2013.7「石ころをしらべよう」, 南あわじ市、(1回、17名)

◎古谷 裕, 2013.8「石ころをしらべよう」, 博物館、(1回、42名)

古谷 裕 2013.8「化石を使ったキッズプログラム」 博物館、(1回、4名).

◎古谷 裕, 2013.8「石ころをしらべよう」, 丹波市、(1回、41名)

古谷 裕, 2013.8「身近な石ころを調べる」, 博物館、(1回、27名)

古谷 裕, 2013.8「身近な石ころの中の化石」, 博物館、(1回、9名)

古谷 裕, 2013.8「伊丹の石を調べる」, 伊丹市、(1回、8名)

◎古谷 裕, 2013.9「小さな化石を楽しもう」, 博物館、(1回、205名)

◎古谷 裕, 2013.10「石ころをしらべよう」, 博物館、(1回、17名)

古谷 裕, 2013.10「丹波で地層を見る」, 丹波市、(1回、15名)

古谷 裕, 2013.11「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館、(1回、19名)

◎古谷 裕, 2013.12「自然ってすごい! ~ちいさなかわいい かせき~」, 博物館、(1回、14名)

◎古谷 裕, 2013.12「石ころをしらべよう」, 博物館、(1回、13名)

古谷 裕, 2013.12「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館、(1回、8名)

◎古谷 裕, 2013.12「いろいろな化石を見よう触ろう」, 博物館、(1回、61名)

◎古谷 裕, 2014.3「わくわくネイチャー・テクノロジー自然ってすごい!」, 博物館、(1回、33名)

◎古谷 裕, 2013.9「小さな化石を楽しもう」, 博物館、(1回、62名)

古谷 裕, 2014.3「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館、(1回、24名)

古谷 裕, 2014.3「豊岡の石と化石」, 豊岡市、(1回、13名)

館外講演

古谷 裕, 2013.11.「チャートで遊ぼう」, 西宮市、(12名)

古谷 裕, 2014.2.「宝塚の地層と化石」, いきいき学舎フレミラ、宝塚市、(30名).

古谷 裕, 2014.2.「街中で化石探し」, いきいき学舎フレミラ、宝塚市、(30名)

古谷 裕, 2014.2.「阿万海岸の石ころはどこから来

た?」, 国立淡路青少年交流の家、南あわじ市, (30名)

非常勤講師

2013.10-2014.3. 「地学実習」, 西宮市、神戸女学院大学.

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.10. 東条湖おもちゃ王国 「はたらくくるま大集合！」

展示作成

2013.8 淡路ハイウェイオアシス ゴルンホーフェンの化石

セミナー担当

2013.6 こどもひかりフェスティバル in せんだい 仙台市

2013.6 こどもひかりフェスティバル in ふくしま 福島市

2013.6 こどもひかりキラキラ復興フェスティバル 盛岡市

2013.7 ひとつはくキャラバン IN 梁川天神社 福島県伊達市

成果発表

2014.2 共生の広場 「淡路島の泉層群から産出する脊椎動物化石」, 岸本眞五 (発表支援)

4) 連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会 (主担当)

篠山層群をしらべる会 (顧問)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6, 中学生4名.

学校団体対応

2013.7, 兵庫県立姫路飾西高等学校1年生 (40名).

講師派遣

古谷 裕, 2013.11. 「北条東小学校周辺の石ころの秘密」, 加西市立北条東小学校、加西市, (60名).

古谷 裕, 2013.12. 「兵庫県の大きな化石小さな化石」, 宝塚市立光が丘中学校、宝塚市, (30名).

古谷 裕, 2013.12. 「兵庫県の大きな化石小さな化石」, 川西市立北陵小学校、川西市, (30名)

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「野島断層の保存・活用に関する研究」. 淡路市.
(¥270,000)

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 31名.

4) 行政等支援

相談・指導助言

来訪者3件, 5名. 電話・FAX相談8件, メール相談2件.

5) 学会開催等支援

2014.1 日本古生物学会第163回例会.

三枝 春生 SAEGUSA, Haruo

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本
人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会
等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

2. タスクフォース 恐竜・化石タスクフォース
リーダー

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

2) 共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

3) 論文・著書

Tomida, Y., Nakaya, H., Saegusa, H., Miyata, K., and
Fukuchi, A. (2013) Chapter 12 Miocene Land Mammals
and Stratigraphy of Japan, In X.-M. Wang, L.J. Flynn,
and M. Fortelius eds., Fossil Mammals of Asia: Neogene
Biostratigraphy and Chronology, Columbia University
Press, New York, pp.314-333.

◎Ikeda, T. and Saegusa, H. (2013) Scincomorpha lizards
from the Lower Cretaceous Sasayama Group, Hyogo,
Japan. Journal of Fossil Research, 46: 2-14.

◎半田久美子・三枝春生・池田忠弘・小林文夫・佐藤
裕司・松原尚志・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・
山下正人・八尾滋樹・西岡敬三・小林美樹・古谷裕・
高橋晃・太田英利(2013) ひょうご恐竜化石国際シン
ポジウム実施報告. 人と自然, 24 : 51-62

4) その他著作

Koda, Y., Saegusa²H., Hisao Ando³H. and Iizumi⁴K. (2013) The
first nearly complete skull of Stegophodon
(Stegodontidae, Proboscidea) from the Lower Miocene of
Japan. Abstracts of Papers, Seventy-third Anniversary
Meeting, Society of Vertebrate Paleontology.

三枝春生 (2014) 篠山層群のケラトプシア類化石. 特
別展「恐竜戦国時代の覇者! トリケラトプスー知ら
れざる大陸ララミディアでの攻防一、60-61.

三枝春生 (2014) 篠山層群から見つかる脊椎動物化
石特別展「恐竜戦国時代の覇者! トリケラトプスー
知られざる大陸ララミディアでの攻防一、62-65.

◎Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K (2014) Some
peculiar features of a sauropod braincase from the Early
Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW
Japan. Abstract of International Symposium on Asian
Dinosaurs in Fukui 2014.

6) 研究発表

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子(2013) 篠山層群産
竜脚類の脳函の特異な2形質. 日本古生物学会2013
年年会, 熊本大学, 熊本市

国府田良樹・三枝春生・安藤寿男・飯泉克典・長谷川
善和・高橋修 (2013) 日本の中新統産 *Stegophodon*
属(長鼻目)の頭蓋化石. 日本古生物学会2013年年会,
熊本大学, 熊本市

Koda, Y., Saegusa²H., Hisao Ando³H. and Iizumi⁴K. (2013) The
first nearly complete skull of Stegophodon
(Stegodontidae, Proboscidea) from the Lower Miocene of
Japan. Seventy-third Anniversary Meeting, Society of Vertebrate
Paleontology, Los Angeles, CA, USA

三枝春生 (2013) 「ミャンマーの新生代後期の長鼻類」
霊長類学会・哺乳類学会ミニシンポ 東南アジアの古哺
乳類学 - ミャンマーの鮮新世化石哺乳類相を中心
に - 岡山理科大学, 岡山市

◎三枝春生 (2013) 恐竜時代の祖先を探る~篠山層群
の恐竜と新種真獣類「ササヤマミロス・カワイイ」
~、兵庫県立大学シンポジウム、神戸市産業振興センタ
ー、神戸市

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子 (2014) 兵庫県下
部白亜系篠山層群産竜脚類の尾椎に見られる独特
の形質について. 日本古生物学会第163回例会, 兵庫県
立人と自然の博物館, 三田市

◎小田隆・三枝春生・荻野慎譜 (2014) 丹波竜復元画
の製作過程とその意義. 日本古生物学会第163回例会,
兵庫県立人と自然の博物館, 三田市

◎平山 廉・岸本眞五・三枝春生・池田忠広 (2014)
兵庫県洲本市の和泉層群(後期白亜紀)より見つか
ったウミガメ類頭骨. 日本古生物学会第163回例会, 兵
庫県立人と自然の博物館, 三田市

◎Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K (2014) Some
peculiar features of a sauropod braincase from the Early
Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW
Japan. International Symposium on Asian Dinosaurs in
Fukui 2014, Fukui Prefectural University, Fukui
Prefectural Dinosaur Museum, Fukui.

7) 学会役員など

2013.4, PLoS ONE, レフェリー

2013.8, Quaternary International, レフェリー

2013.2, 化石研究会会誌, レフェリー

8) 助成を受けた研究

課題名: 恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養
と環境教育への展開(代表佐藤裕司) 分担者

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2014.1-2, 篠山市恐竜化石含有層の調査, 篠山市.

2) 受贈担当資料

各種無脊椎および脊椎動物化石 173点

3) 整理同定担当資料

脊椎動物化石(哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- ◎三枝春生, 2013. 4-2014. 3, 「オープンセミナー・解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回, 56名)
- 三枝春生, 2013. 5. 9, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫教育大学附属中学校, 博物館. (120名)
- 三枝春生, 2013. 5. 18, 「篠山層群恐竜化石含有量調査結果報告会」, 博物館. (10名)
- 三枝春生, 2013. 5. 21, 講演「篠山層群, これまでの発掘の成果」25年度兵庫県高等学校教育研究会生物部会総会・研究大会, 博物館. (134名)
- 三枝春生, 2013. 5. 25, 特注セミナー「丹波の恐竜化石発掘」, どきどき斎塾, 博物館. (18名)
- 三枝春生, 2013. 7. 13, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫教育大学, 博物館. (31名)
- 三枝春生, 2013. 9. 26, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫県芸術文化協会, 博物館. (50名)
- 三枝春生, 2013. 10. 2, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 神戸シルバークレッジ, 博物館. (60名)
- 三枝春生, 2013. 10. 25, 「兵庫の恐竜」, 県立有馬高等学校連携セミナー, 博物館. (40名)
- 三枝春生, 2013. 12. 1, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 化石発掘体験広場・博物館. (6名)
- 三枝春生, 2013. 3. 16, セミナー「再考恐竜人間」, 博物館. (15名)

館外講演

- 三枝春生, 2013. 5. 11, 講演「兵庫の恐竜-丹波の恐竜化石発掘調査で分かったふしぎ」芦屋市民センター (50名).
- 三枝春生, 2013. 5. 15, 講演「丹波恐竜化石発見から見る太古の丹波地域」, 丹波OB大学, 丹波の森公園 (207名).
- 三枝春生, 2013. 6. 11, 「丹波の恐竜化石とその復元」, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会総会記念講演, 丹波の森公園 (50名).
- 三枝春生, 2013. 10. 23, 11. 6 兵庫県阪神シニアカレッジ講座, 「哺乳類の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習室 (2回, 125名).
- 三枝春生, 2013. 11. 17 「丹波恐竜の発掘」, 西宮市東山台3丁目自治会, (50名).
- 三枝春生, 2013. 11. 23 「篠山層群の恐竜化石」, フォーラム 研究者が語る最新の国内化石発掘, 「恐竜発掘最前線!」, 丹波市山南住民センター (50名).

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学(野外実習分担)

ラジオ・テレビ等出演

2013. 6. 7, 「探偵ナイトスクープ」, 朝日放送

2014. 2. 4, 県立丹波並木道中央公園における篠山層群掘調査に関するニュース, NHK, サンテレビほか

4) 連携事業

篠山層群をしらべる会(主担当)

ラボーンズ(副担当)

協力事業

2013.4-2014.3, 丹波恐竜工房(ちーたんの館)拡充工事, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課(展示監修・制作)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6.4, 八景中学校 男子2名, 富士中学校 男子1名, 女子1名, 長坂中学校 男子1名
合計5名

講師派遣

2013.12.12 「丹波恐竜の発掘」, サイエンス・トライやる, 南あわじ市立南淡中学校(x名).

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

2013.5-2014.3, 篠山層群復元画プロジェクト, 委員, 丹波市.

2013.5-2013.12, ミエゾウ全身骨格復元検討委員会, 委員, 三重県.

2014.3. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 篠山市.

相談・指導助言

2013.7.3, マンモス展の展示解説内容に対するアドバイス, 読売新聞.

2013.7.3, 恐竜 info への問合せ 8/23 丹波の森協会

5) 学会開催等支援

日本古生物学会第163回例会

半田 久美子 HANDA, Kumiko

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和45年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

企画調整室

2. タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

マーケティングタスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

2) 共同研究

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用」, 研究分担者.

3) 論文・著書

半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐藤裕司・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・八尾滋樹・小林美樹・西岡敬三・古谷裕・高橋晃・太田英利・中瀬勲(2013) ひょうご恐竜化石国際シンポジウム実施報告. 人と自然, 24, 51-62.

4) その他著作

◎Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K(2014) Some peculiar features of a sauropod braincase from the Early Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. Abstract of International Symposium on Asian Dinosaurs in Fukui 2014.

6) 研究発表

半田久美子・加藤茂弘・石田弘明(2013) 宝塚市丸山湿原の花化石群と微粒炭. 日本植生史学会第28回大会, 高知大学, 高知市.

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子(2013) 篠山層群産竜脚類の脳函の特異な2形質. 日本古生物学会2013年年会熊本大学, 熊本市

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子(2014) 兵庫県下部白亜系篠山層群産竜脚類の尾椎に見られる独特の形質について. 日本古生物学会第163回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市

◎Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K(2014) Some peculiar features of a sauropod braincase from the Early Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. International Symposium on Asian Dinosaurs in Fukui 2014, Fukui Prefectural University, Fukui Prefectural Dinosaur Museum, Fukui.

7) 学会役員など

日本花粉学会, 図書幹事.

8) 助成を受けた研究

「恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開」(科学研究費補助金・基盤研究(C)) 分担者

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2012.4-2013.3, 神戸層群産植物化石. 三木市など.

3) 整理同定担当資料

植物化石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2013.4, 「空中花粉を調べよう」, 博物館. (5名)

半田久美子, 2013.8, 「空中花粉の調べ方」, 博物館. (14名)

半田久美子, 2014.3, 「丸山湿原に残された森の歴史」, 博物館. (9名)

◎半田久美子, 2013.8-2013.12, 「植物化石を見てみよう」, 博物館 (3回, 137名)

館外講演

半田久美子, 2013.6, 「化石から分かる兵庫の植物」, 講師, 姫路科学館 (20名)

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2013.7, ひとつはくキャラバン in 加西市 (分担者), 加西市立善防公民館.

2013.7-8, ひとつはくキャラバン in 道の駅みき (分担者), 播磨地域, 道の駅みき.

2013.10, はたらくるま大集合! (分担者), 東条湖おもちゃ王国.

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6.4-7, 三田市立八景中学校2名, 三田市立富士中学校2名, 三田市立長坂中学校1名.

学校団体対応

2013.9, スーパーサイエンスミュージアム: 広島県の小学生 (45名)

2014.2, 加古川市立加古川中学校1年生 (330名).

講師派遣

2013.5-2014.2, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2013.11, 伊丹市立南中学校1年生, 伊丹市理科部会研究発表会「学習する意欲を高める理科授業をめざして〜兵庫県立人と自然の博物館との連携」公開授業講師, 事後研修講評, および講演会「植物の進化の歴史」講師.

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル2013, 「君も発掘調査隊員!! 丹波の恐竜化石を探しだそう」(分担者).

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

2013.6-2014.3 加東市とひとはく協力協定連携推進会議委員

相談・指導助言

来訪者4件, 10名. 電話・FAX相談20件.

5) 学会開催等支援

2014.1 日本古生物学会第163回例会開催. 273名.

池田 忠広 IKEDA, Tadahiro

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ/地域展開推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 特任助教

昭和53年鹿児島県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。理学博士。日本古生物学会、日本爬虫両類学会、Society of Vertebrate Paleontology 等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

地域展開推進室 丹波地域担当

2. タスクフォース 恐竜タスクフォース

サブリーダー 発掘・調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

2) 共同研究

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラムの構築 ～丹波地域における実証実験～」, 研究分担者。

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者。

3) 論文・著書

- ◎ Ikeda, T. and Saegusa, H. (2013) Fossil Scincomorphans lizards from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture. *Journal of Fossil Research* 46, 2-14.
- ◎ Ikeda, T., Ota, H. and Saegusa, H. (2014) A new fossil lizard from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo prefecture, western Honshu, Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology* (in press)
- ◎ 池田忠広・三枝春生・半田久美子・和田和美 (2013) 脊椎動物化石の剖出技師の選考・育成方法の開発。化石 (印刷中)
- ◎ 半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐藤裕司・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・八尾滋樹・小林美樹・西岡敬三・古谷 裕・高橋 晃・太田英利・中瀬 勲 (2013) ひょうご恐竜国際シンポジウム実施報告。人と自然, No. 24, 51-62.

4) その他著作

- ◎ 池田忠広 (2014) トカゲ、恐竜と共に生きた小さな生きもの。林原自然史博物館編「発掘! モンゴル大恐竜展」pp.80-81, 読売新聞大阪本社企画事業部。
- ◎ Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K (2014) Some peculiar features of a sauropod braincase from the Early Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW

Japan. Abstract of International Symposium on Asian Dinosaurs in Fukui 2014.

6) 研究発表

Ikeda, T. (2013) The Pleistocene snake fauna (Reptilia: Squamata: Serpentes) of the Ryukyu Archipelago, Japan, as inferred from fossil evidence. 6th Snake Ecology Group Meeting, Kunigami Environmental Education Center, Okinawa, Japan.

三枝春生・池田忠広・半田久美子 (2013) 篠山層群産竜脚類の脳函の特異な2形質。日本古生物学会2013年総会, 熊本大学, 熊本県 (6月)。

池田忠広・三枝春生・太田英利・半田久美子 (2014) 兵庫県下部白亜系篠山層群産カエル類およびトカゲ類化石について。日本古生物学会第163回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県 (1月)。

三枝春生・池田忠広・半田久美子 (2014) 兵庫県の下部白亜系篠山層群産竜脚類の尾椎にみられる独特の形質について。日本古生物学会第163回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県 (1月)。

平山廉・岸本眞五・三枝春生・池田忠広 (2014) 兵庫県洲本市の和泉層群(後期白亜紀)より見つかったウミガメ類の頭骨。日本古生物学会第163回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県 (1月)。

◎ Saegusa, H., Ikeda, T and Handa, K (2014) Some peculiar features of a sauropod braincase from the Early Cretaceous Sasayama Group in Hyogo Prefecture, SW Japan. International Symposium on Asian Dinosaurs in Fukui 2014, Fukui Prefectural University, Fukui Prefectural Dinosaur Museum, Fukui.

8) 助成を受けた研究

恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開。文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額50万円/110万円)。

9) 海外調査

2014.3 インドネシア・バンドン

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2014.2 篠山層群産脊椎動物化石の収集。県立丹波並木道中央公園, 篠山市。

3) 整理同定担当資料

爬虫両棲類化石(無尾目、有鱗目)。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- ◎ 池田忠広, 2013.5, 「化石の展示とクリーニング」, 博物館。(1回18名)
- 池田忠広, 2013.6, 「ヘビの世界」, 博物館。(6名)
- ◎ 池田忠広, 2013.6-2014.3, 「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館。(3回58名)
- 池田忠広, 2013.7, 「篠山層群から発見された恐竜化石」, 博物館。(1回20名)

池田忠広, 2013.7, 「恐竜化石展示解説と化石発掘体験」, 博物館. (1回 17名)

◎池田忠広, 2013.7, 「ふかたん「トカゲを探しにいこう」, 博物館. (1回 44名)

◎池田忠広, 2013.8-10, 「展示解説と発掘体験会」, 博物館. (4回 187名)

池田忠広, 2013.8, 「丹波の恐竜化石と小動物化石」, 博物館. (1回 17名)

◎池田忠広, 2013.8, 「展示解説と化石のレプリカ作り」, 博物館. (5回 502名)

◎池田忠広, 2013.8, 「地学展示解説」, 博物館. (1回 12名)

◎池田忠広, 2013.9,11,12, 「解説! 恐竜化石」, 博物館. (3回 119名)

池田忠広, 2013.10, 2014.3 「恐竜について学ぼう」, 博物館. (2回 187名)

館外講演

池田忠広, 2013.5, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (51名).

池田忠広, 2013.6, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (33名)

池田忠広, 2013.7, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (59名)

池田忠広, 2013.9, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (54名)

池田忠広, 2014.1, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (45名)

池田忠広, 2014.3, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (48名)

池田忠広, 2014.3, 「恐竜について学ぼう」, 化石クリーニングセミナー, 講師, 丹波市ちーたんの館 (48名)

池田忠広, 2013.12, 「篠山層群の化石」, 龍野高校 SSH, 講師, 丹波市ちーたんの館 (8名)

池田忠広, 2014.3, 「恐竜時代のトカゲ〜篠山層群から発見された新種トカゲ〜」, 兵庫県立大学COC事業, 講師, 篠山市市民センター (50名)

兵庫県立大学・大学院教育

池田忠広, 2013.12, 「篠山層群の化石」, 龍野高校 SSH, 講師, 丹波市ちーたんの館 (8名)

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2013.4, 丹波地区 テーマ「ひとはくキャラバン in 西紀SA」

3) ミニキャラバン事業

2013.10, 丹波なみきまつり (分担者), 丹波なみきまつり実行委員会, 丹波並木道中央公園.

4) 連携事業

連携グループ等

ラボーンズ (主担当)

協力事業

2013.4~2014.3, 篠山層群復元画丹波プロジェクト 丹波市 (制作支援)

2013.4-5, 丹波竜復元画大公開, 丹波市ちーたんの館 (開催支援)

2013.11-2014.1, 羽毛を持った恐竜たち, 丹波市ちーたんの館 (開催支援)

2013.12, 丹波竜フェスタ, 丹波市ちーたんの館 (開催支援)

2013.12-2014.1, あわジオフェスティバル, 淡路島国営明石海峡公園 (開催支援)

2014.3-2014.5, 丹波竜の仲間たち 竜脚類展, 丹波市ちーたんの館 (開催支援)

5) 学校教育支援

講師派遣

2013.8. 「篠山層群から産出した恐竜化石」, 講師, 丹波市教職員. (30名).

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8.16- 8.17, 岡山大学理学部学生 2名. 岡山理科大学理学部 1名. 京都造形芸術大学 2名. 高知大学理学部 1名. 神戸学院大学人文学部 1名. 神戸夙川学院大学観光文化学部 1名. 甲南女子大学文学部 1名.

8) 展示

企画展

2014.2.9- 2014.4.6, 企画展「ウミガメ類の化石発見」(分担者).

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

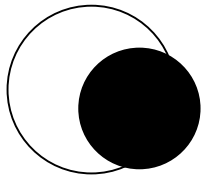
委員会等 (計2件)

2013.4-2014.3. 森の円卓会議, 委員, 丹波並木道中央公園.

2013.4-2014.3. 篠山層群復元画丹波プロジェクト, 委員, 丹波市.

5) 学会開催等支援

2014.1 日本古生物学会 第163回例会. 273名.



個人別成果報告に関する資料

No. 3

●自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

昆虫共生系研究グループ

高橋 晃 TAKAHASHI, Akira

自然・環境再生研究部

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和29年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

事業推進部長

2. 研究開発部門

自然・環境再生研究部/部長

研究部における諸事業推進の統括

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
2. 木本植物の組織形態学・解剖学的研究
3. 植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

2) 共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表者.

6) 研究発表

Takahashi, A. 2013. Exchange between the museums of art and natural history through the interpretation of the artwork or the specimen. The 4th Asian Zoo Educators' Conference (AZEC) 2013, Fukuoka.

8) 助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割, 科学研究費・基盤研究(B), 研究分担者. (分担金20万円/総額300万円)

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

- 2013.5 種子植物, 石川県
- 2013.5 種子植物, 武田尾溪谷
- 2013.6 種子植物, 大分県
- 2013.6 種子植物, 香美町
- 2013.9 種子植物, 秋田県北東部
- 2013.9 種子植物, 奈良県大台ヶ原
- 2013.11 種子植物, 淡路島洲本市

2) 受贈担当資料

2013.1.19 高知県立牧野植物園交換標本2013, 高知県立牧野植物園, 交換, 200点.

2013.1.31 小林禧樹コレクション(日本産植物), 小林禧樹, 寄贈, 900点.

2013.2.20 材鑑プレパラート標本(2007岐阜), 森林総合研究所, 交換, 162点.

2013.3.11 韓国産植物標本, 全南大学(Chonnam Univ.), 交換, 114点.

2013.3.27 材鑑標本(2012,2013森総研所内), 交換, 12点.

2013.6.24 鳴橋コレクション2013, 鳴橋直弘, 寄贈, 181点.

2013.7.17 材鑑証拠さく葉標本(2013大分), 森林総合研究所, 交換, 190点.

2013.8.21 材鑑標本(2013大分), 森林総合研究所, 交換, 189点.

2013.8.21 材鑑プレパラート標本(2008佐賀), 交換, 143点.

2013.9.19 材鑑標本(東大亘理標本), 森林総合研究所, 交換, 95点.

2013.10.9 材鑑証拠さく葉標本(2013秋田), 森林総合研究所, 交換, 137点.

2013.11.1 材鑑標本(2013秋田), 森林総合研究所, 交換, 100点.

3) 整理同定担当資料

種子植物(日本産・外国産)、材鑑標本・プレパラート標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

◎高橋 晃 2013.4 植物多様性講座—樹木の見分け方を学ぶ 初級編—1, 博物館. (31名)

◎高橋 晃 2013.4 オープンセミナー, 春の植物観察—深田公園の春の花, 深田公園, 博物館. (8名)

◎高橋 晃 2013.5 オープンセミナー, ボルネオ・ジャングルのおもしろい植物, 博物館. (30名)

◎高野温子・高橋 晃・山本伸子 2013.5 小代の植物観察会, 香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (20名)

◎高野温子・高橋 晃・山本伸子 2013.5 あまるべジオガイド: あまるべ〜たかのすの森の植物観察会, 香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (21名)

◎高橋 晃 2013.5 オープンセミナー, ボルネオ・ジャングルのおもしろい植物, 博物館. (17名)

- ◎高橋 晃・山本伸子 2013.5 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―2, 博物館. (29名)
- ◎高橋 晃 2013.6 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―3 野外観察, 武田尾. (28名)
- ◎高橋 晃・門川朋樹 2013.6 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―4, 博物館. (25名)
- ◎高橋 晃・先山 徹・門川朋樹 2013.6 山陰海岸ジオパーク 香美町・山のジオパーク～ハチ北の大地と花をめぐる～, ハチ北高原自然協会・香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (23名)
- ◎高橋 晃・先山 徹・門川朋樹 2013.6 山陰海岸ジオパーク 香美町・山のジオパーク～蘇武岳の大地と花をめぐる～, ハチ北高原自然協会・香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (19名)
- ◎高橋 晃・門川朋樹 2013.7 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―5, 博物館. (23名)
- ◎高橋 晃・
- ◎高橋 晃・門川朋樹 2013.8 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―6 野外観察 (4日間), 奥飛騨・上高地. (52名)
- ◎高橋 晃 2013.9 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―7, 博物館. (18名)
- 高橋 晃 2013.9 特注セミナー, 熱帯のおもしろい生きもの, たつのこどもエコクラブ, 博物館. (31名)
- ◎高橋 晃 2013.9 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―8, 博物館. (16名)
- ◎高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2013.10 植物画を描こう1・2, 博物館. (16名)
- 高橋 晃 特注セミナー, 日本人と木の文化, 大阪シニア自然カレッジ, 博物館. (20名)
- ◎高橋 晃 2013.10 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―9, 博物館. (14名)
- ◎高橋 晃 2013.11 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―10 野外観察, 淡路島. (16名)
- ◎高橋 晃 2013.11 オープンセミナー, 植物標本をさわってみよう, 魅せる収蔵庫トライヤル, 博物館.
- ◎橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2013.11 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館.
- ◎高橋 晃 2013.12 植物多様性講座―樹木の見分け方を学ぶ 初級編―11, 博物館. (21名)
- ◎高橋 晃・橋本佳明・布野隆之 2014.3 オープンセミナー, 生物系収蔵庫ツアー, 博物館.

館外講演など

- 高橋 晃 2013.4.20 春の六甲で木の花を見よう, 六甲山魅力再発見市民セミナー, 六甲山を活用する会. (33名)
- 高橋 晃 2013.4.27 日本一の兵庫の自然―兵庫の美しい花々, 兵庫の自然を探る講座, 芦屋市立公民館. (48名)

- 高橋 晃 2013.4.28 美術館で植物散歩, 県立美術館ギャラリートーク, 県立美術館. (20名)
- 高橋 晃 2013.6.13 明石公園の植物, 明石市立文化博物館. (10名)
- 高橋 晃 2013.11.25 兵庫の植物―美しい野生の花々, 神戸新聞文化センター・プレミアムカルチャー倶楽部, 神戸. (55名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 2013.4-2014.3 全学 人権啓発委員会委員
- 2012.6 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」, (主任)
- 非常勤講師など
- 2013.5 博物館特論, 大阪学院大学国際学部.

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

- 2013.8 久美浜キャラバン, 豪商稲葉本家, 京都府.

4) 連携事業

連携グループ等

- GREEN GRASS (アドバイザー, 主担当: 植物画研究会, 主催事業等運営支援)
- ハチ北高原自然協会 (アドバイザー, 主担当: 自然案内人講座等運営支援)
- 山陰海岸ジオパーク談話会 (アドバイザー, 主担当: ジオセミナー等の支援)

地域研究員: 福岡忠彦 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野雅満 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野眞美 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 林 美嗣 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 増井啓治 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 松岡成久 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 法西 浩 (アドバイザー, 副担当)

成果発表

- 2014.2 第9回共生のひろば, 芦屋市の公園で観察したアリたち, 増井啓治 (ひとはく地域研究員) (指導・助言)
- 2014.2 第9回共生のひろば, 「家族でぶらっと六甲散歩」の推進, 堂馬英二 (六甲山を活用する会) (指導・助言)

協力事業

- 2013.4-2014.3 平成25年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣, 六甲山記念碑台周辺, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).
- 2013.4-2014.3 平成25年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」, 六甲山自然保護センター, 六甲山を活用する会 (アドバイザー).
- 2013.3-2013.6 コレクション展「いのちの色 美術に息づく植物」, 兵庫県立美術館 (解説協力).

5) 学校教育支援

学校団体対応

- 2013.7-8 ジングルスクール in 丹波, 小学5年生～高校1年生, 丹波少年自然の家・コウノトリの郷公園・ちーたんの館他. (23名)
- 2013.8 熱帯雨林・絞め殺し植物のひみつ, 神戸市立

六甲アイランド高校, 博物館. (14名)

講師派遣

2014.1 伊丹市立中学校理科自由研究発表会, 伊丹市教育委員会・伊丹市中学校教育研究会理科部会, 伊丹市立総合教育センター. (80名)

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル, かわらばん表彰式運営担当, 記録写真撮影担当

2. シンクタンク事業

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 50人

4) 行政等支援

委員会等

2013.4- 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境省自然環境局.

2013.4- 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2013.4- 三田市環境審議会副会長, 三田市経済環境部.

2013.4- 県立北摂三田高校学校評議員, 県立北摂三田高等学校.

2013.4- 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲山を活用する会.

2013.4- やしろの森公園協会評議員, やしろの森公園協会.

2013.10 第3回ふじのくに自然系博物館基本構想検討委員会, アドバイザー, 静岡県企画広報部政策企画局.

視察対応

2013.5 博物館の運営・ソフト展開・大学との連携等, 静岡県理事・企画広報部政策企画局長ほか.

相談・指導助言

電話・メール・手紙等による相談 8件(5名)

来訪者 8名

秋山 弘之 AKIYAMA, Hiroyuki

自然・環境評価研究部
森林・昆虫研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。
昭和 31 年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会、日本蘚苔類学会、米国蘚苔類学会、英国蘚苔類学会、米国植物分類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

研究推進室 室長

2. タスクフォース

マーケティング TF

3. 研究開発部門

研究関係とりまとめ担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
2. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
3. タイ国インタノン山蘚類相の研究

2) 共同研究

部門研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」、研究分担者。

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究分担者。

3) 論文・著書

論文

Akiyama, H. (2014). Sporophytes newly found in *Clastobryopsis brevinervis* (Pylaisiadelphaceae, Musci). *Bryol. Res.* 11(1): 1-5.

Akiyama, H. & B. C. Tan (2013). The new synonymy of *Horikawaea* with *Cryptogonium* and a proposal of *Pseudocryptogonium*, gen. nov. (Musci, Pterobryoaceae). *Phytotaxa* 98(1): 16-22.

Printarakul, N., B. C. Tan, K. Santanachote & H. Akiyama (2013). New and noteworthy records of mosses from Doi (Mt.) Inthanon, Chiang Mai, Chom Togn District, Northern Thailand. *Polish Botanical Journal* 58(1): 245-257.

秋山弘之・横山勇人・田中敦司・古木達郎・山口富美夫 (2013). 多様な環境を有する島嶼における蘚苔類の種多様性調査—32km 長距離ベルトトランゼクト法を活用した屋久島での事例—。人と自然 24: 21-31.

秋山弘之 (2013). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 27. フウチョウゴケは形態が酷似する *M. submacrocarpum* と生育環境が異なる。蘚苔類研究 10(10): 347-351.

秋山弘之 (2013). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 28. 国内・国外で Queen Moss あるいはマナウス産 ウィローモスとして流通している蘚類は *Hydropogonella gymnostoma* である。蘚苔類研究 10(11): 367-368.

秋山弘之 (2013). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 29. チョウチンハリガネゴケ (蘚類チョウチンゴケ科) で見つかった早落性小枝。蘚苔類研究 10(11): 369-371.

秋山弘之 (2013). アジア産蘚苔類の分類・生態ノート 30. イワマセンボンゴケ自然集団で見つかった原糸体再生と原糸体から生じる無性芽。自然環境科学研究 26: 1-6.

秋山弘之 (2013). 四国から初報告となるナガスジコモチイトゴケとタマコモチイトゴケ (蘚類, コモチイトゴケ科)。蘚苔類研究 10(12): 411-412.

林田信明・小原比呂志・秋山弘之 (2013). 屋久島から新たに発見されたフウチョウゴケ (イワダレゴケ科, 蘚類) の群落。蘚苔類研究 10(12): 407-410.

著書

「コケに誘われコケ入門」(分担執筆) 文一総合出版 (東京)。

4) その他著作

秋山弘之 (2013). 新・コケ百選 第 12 回 シッポゴケ科 (蘚類) 2. 代表的な仲間。蘚苔類研究 10(10): 359-362.

秋山弘之(2013). 新・コケ百選 第 14 回 ジャゴケ科とケゼニゴケ科 (苔類)。蘚苔類研究 11(1): 19-24.

秋山弘之 (2013). 日本の貴重なコケの森「京都市東山山麓」。蘚苔類研究 10(11): 377-378.

土永浩史・木村全邦・秋山弘之 (2013). 日本の貴重なコケの森「大台ヶ原 (吉野熊野国立公園)」。蘚苔類研究 10(11): 379-381.

秋山弘之・小原比呂志(2014). 日本の貴重なコケの森「屋久島コケの森 (霧島屋久国立公園)」。蘚苔類研究 11(1): 13-15.

秋山弘之 (2013). 公園にはこんなキノコたちも。一庫公園ニューズレター「ひとくら通信」第 53 号。

秋山弘之 (2013). 京都府改訂版レッドリスト 2013 (蘚苔類)。京都府文化環境部自然環境保全課。

5) ブログへの情報提供

1 件

6) 研究発表

Akiyama, H. (2013.10). Habitat differentiation in bryophytes: two examples from Doi Inthanon (Thailand) and Isl. Yakushima (Japan). 2013 International Symposium of Bryophyte and Lichen Diversity. Thunghai University, Taichung, Taiwan

秋山弘之 (2014.03) 秩父地方石灰岩に生育するシダレウニゴケ (蘚類ウニゴケ科) 類似植物の正体。日本植物分類学会第 13 回熊本大会 (熊本大学)

前田雅子・芦谷美奈子・秋山弘之 (2013.08). イチョウウキゴケ生活史の解明 1 胞子による繁殖。日本蘚

苔類学会第42回岡山大会(岡山理科大学).

7) 学会役員など

日本植物分類学会 評議員, 学会誌(英文)副編集長,
学会誌(和文)編集委員

日本蘚苔類学会 会長, 学会誌編集委員.

公益財団法人平岡環境科学研究所 理事.

京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員

環境省希少野生動植物保存推進員

International Association of Bryologists, Council

(2012-2016)

8) 助成を受けた研究

日本学術振興会科学研究費(C) 広域分布する蘚苔類
における地域集団間分化の解明(代表者)

日本学術振興会科学研究費(A) 東南アジア林冠部植
物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための
広域インベントリー(分担者)

9) 海外調査

2013.10 台湾 台中

2014.03 マレーシア サバ州

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 蘚苔類(三田市、宝塚市、西宮市、
神戸市、篠山市、香美町、南光町)

2013.4-2014.3 蘚苔類(京都府)

2013.10 蘚苔類(台湾)

3) 整理同定担当資料

植物(蘚苔類、菌類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

◎秋山弘之, 2013.5 コケ植物をみてみよう ~赤目
四十八滝~(全1回, 16名)

◎秋山弘之, 2013.7 夏のキノコかんさつ ~一庫公
園~(全1回, 17名)

◎秋山弘之, 2013.7 自然学への誘い 博物館(全1
回, 20名)

◎秋山弘之, 2013.10 ハチ北高原秋の自然観察ツアー
(全2回, 10名)

◎秋山弘之, 2012.10 秋のキノコかんさつ1 ~神戸
森林植物園~(全1回, 14名)

◎秋山弘之, 2012.10 秋のキノコかんさつ2 ~有馬
富士公園~(全1回, 25名)

◎秋山弘之, 2013.10 「オープンセミナー 秋のキノ
コ」博物館(全1回, 65名)

◎秋山弘之, 2014.2 「オープンセミナー かたいキ
ノコをさわってみよう」博物館(全1回, 33名)

館外講演

秋山弘之, 2013.10 「きのこの楽しみ」丹波少年自
然の家(40名)

秋山弘之, 2013.10 「キノコ観察」青垣生きものふ
れあいの里(20名)

兵庫県立大学・大学院教育

一般教育「人と自然の共生」(分担 全15回中3回 ガ
イダンスを含む)

環境人間科学科 教務委員

5) 学校教育支援

学校団体対応

2013.7, 三田祥雲館高校1年生(40名).

6) 研修生等の受入

卒論生等

2013.4.1-2014.3.31, 大塩愛子(長岡科学技術大学博士
論文 副査), コケ植物の培養

2013.4.-2014.3.31, 大崩貴之(京都大学理学研究科生物
科学専攻修士課程), コケ植物の分類学

7) フェスティバル等

2012.11 ひとつはくフェスティバル, 場内整理

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

委員会等(計5件)

2013.4- 環境省絶滅危惧植物(蘚苔類)調査担当委
員

2013.4- 環境省希少野生動植物保存推進員

2013.4- 京都府レッドデータブック専門委員相談・
指導助言

高野 温子 TAKANO, Atsuko

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和46年大阪府生。大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会、米国植物分類学会、日本植物学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

展示マネージャー・担当 館内展示調整、展示計画策定、展示補修、1F改修工事

3. 研究開発部門

資料担当(燻蒸担当)

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 兵庫県産維管束植物の分類学的研究
2. ショウガ科植物の分類学的研究
3. シソ科植物の分類学的研究

2) 共同研究

総合共同研究 研究分担者。

共同研究「兵庫の動植物相のさらなる解明」, 研究分担者。

3) 論文・著書

◎Takano, A. 2013. Gynodioecy in *Salvia omerocalyx* Hayata (Lamiaceae). *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 63(3):149-153.

4) その他著作

池田博(総合監修)(2013)ポプラディア大図鑑 Wonda 植物. ポプラ社, 東京. (指導協力)

高野温子(2013)雌蕊が動いて性が変わる: ショウガ科の繁殖戦略. ひととはく新聞ハーモニー81号1-2頁.

6) 学会役員など

Plant Species Biology レフェリー 1件.

日本植物分類学会和文誌「分類」レフェリー 2件

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー 2件

Systematic Botany レフェリー 2件

7) 助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額25万円).

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4. 維管束植物 和歌山県、宍粟市、香美町

2013.5. 維管束植物 宍粟市、香美町、豊岡市

2013.6. 維管束植物 広島県

2013.7. 維管束植物 豊岡市、多可町

2013.9. 維管束植物 豊岡市、宍粟市

2013.10. 維管束植物 豊岡市

2013.11. 維管束植物 上郡町

2) 受贈担当資料

2013.7 兵庫県産維管束植物 高野哲司コレクション 95点

2013.7 兵庫県産維管束植物 矢内正弘コレクション 191点

2013.8 兵庫県産維管束植物 丸岡道行コレクション 1044点

2013.8 兵庫県産維管束植物 広瀬重夫コレクション 369点

2013.8 兵庫県産維管束植物 松尾幹生コレクション 19点

2014.2 兵庫県産維管束植物 中澤博子コレクション 109点

2014.2 兵庫県産維管束植物 清水孝之コレクション 14点

3) 整理同定担当資料

維管束植物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

◎高野温子・高橋晃, 2013.5., ひととはくジオセミナー「小代の植物観察会」, 香美町. (全1回, 20名)

◎高野温子・高橋晃, 2013.5., ひととはくジオセミナー「あまるベジオガイド、たかのすの森の植物観察会」, 香美町. (全1回, 21名)

◎高野温子, 2013. 4, 「花を大きくしてみると?」博物館 (25名)

◎中瀬勲・高橋晃・太田英利・橋本佳明・鈴木武・八尾滋樹・阪上勝彦・三橋弘宗・高野温子, ボルネオ+one in たんば 丹波市 (22名)

◎高野温子, 2013. 9, 「身近な植物の見分け方・覚え方」博物館・深田公園 (13名)

◎高野温子, 2013. 10, 「花を大きくしてみると?」博物館 (25名)

◎高野温子, 2013. 11, 「花を大きくしてみると?」博物館 (23名)

◎高野温子, 2014. 3, ふかたん「春の花さがし大作戦!」博物館・深田公園 (13名)

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.7. 有馬瑞宝園キャラバン テーマ「ひととはくから恐竜化石がやってくる」

2013.7. 加西市キャラバン テーマ「ひととはくキャラバン in 加西」

展示作成

加西市立西在田小学校周辺にいる水生昆虫の展示

ジオキャラバン in 久美浜 竜のつく生き物(植物)

セミナー担当

2013.7. 加西市キャラバン「きれいな植物標本をつくらう」(企画運営) 加西市立善防公民館. 21名

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.5.28-5.31, 狭間中学校2名、上野台中学校2名.

県庁インターンシップ

2013.8.30. 川西明峰高等学校1名、伊丹北高等学校1名

学校団体対応

2013.4, 大阪府立泉北高校「DNA抽出実験」(60名)

2013.5, 伊丹市立笹原小学校4年生「兵庫の植物クイズ」(164名).

2013.5, 小野市立小野東小学校3年生「兵庫の植物クイズ」(128名).

2013.7. 香川県立観音寺第一高等学校「博物館の資料について」(50名).

2013.8. 和歌山県立海南高等学校「博物館の資料について」(33名)

2013.9. スーパーサイエンスミュージアム「博物館の資料について」(41名)

2013.9. 兵庫県立大学外国人留学生研修旅行「博物館の展示について(英語解説)」(10名)

2013.10. 県立上野が原特別支援養護学校高等部「熱帯林の種類とその減少について」(3名)

2013.10. 尼崎市立潮小学校「兵庫の植物クイズ。チョウの好きな花」(51名)

2013.10. 県立加古川東高等学校「博物館の資料について」(40名)

2013.11. 県立御影高校環境科学部「収蔵庫見学」(13名)

2013.11. 岡山理科大学 博物館学芸員課程「博物館の概要と標本資料について」(131名)

2013.12. 県立淡路景観園芸学校「収蔵庫見学」(4名)

2014.2. 西脇市立桜丘小学校「兵庫の植物クイズ」(36名)

2014.2. 伊丹市中学校理科研修「博物館の資料について」(14名)

2014.3. 川西市立多田東小学校「兵庫の植物クイズ」(121名)

講師派遣

2013.5.14. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年(5名)

2013.6.11. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年(5名)

2013.7.16. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年(4名)

2013.8.26. 「マレーシアの自然について」, 講師, 篠山鳳鳴高校2年生(187名).

2013.9.13. 「ジャガイモを育てよう」三田市立弥生小学校2年生(32名)

2013.9.17. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年(4名)

2013.10.10. 「ジャガイモを育てよう」三田市立弥生小学校2年生(32名)

2013.10.15. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」

県立大附属中学校2年生(4名)

2013.11.26. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年生(4名)

2013.12.4. 「ジャガイモを育てよう」三田市立弥生小学校2年生(32名)

2013.1.20. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年生(4名)

2014.2.4. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年生(4名)

2014.2.20. 「附属中のまわりの植物図鑑をつくろう」
県立大附属中学校2年生(4名)

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8.5, オリエンテーション.

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル, 「ミュージアムワールド(館内)」(責任者).

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

加西市における「ひとつはくキャラバンの実施」とその評価業務. 加西市. (23万円)

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3回, 40名.

4) 行政等支援

相談・指導助言

来訪者6件, 6名. 電話・FAX相談8件, メール相談15件.

5) 学会開催等支援

2013.6 日本展示学会第32回研究大会. (分担) 100名.

山本 伸子 YAMAMOTO, Nobuko

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和56年岡山県生。岡山理科大学大学院総合情報研究科博士課程修了。学術博士。日本植物学会、ヒマラヤ植物研究会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室キッズ・かわら版マネージャー

2. タスクフォース

キッズひとはく推進タスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 日本産高等植物の系統分類学的研究
2. ヒマラヤ産高等植物の細胞分類学的研究

4) その他著作

池田博(総合監修), 黒崎史平・高橋晃・山本伸子(監修指導) 2013. ポプラディア大図鑑 WANDA「植物」, pp. 215, ポプラ社, 東京.

9) 海外調査

2013.6-7 ネパール・ジャルジャレヒマール

2013.9 中国・雲南省

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.5 種子植物, 石川県、富山県、岐阜県など.

2013.5 種子植物, 香美町.

2013.9-10 種子植物, 長野県、奈良県、広島県.

3) 整理同定担当資料

植物（種子植物）.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

山本伸子, 2013.4, 「じっくり花を解剖—1人1台の顕微鏡で!—」, 博物館. (10名)

高橋 晃・山本伸子, 2013.4, 「植物多様性講座—樹木の見分け方を学ぶ 初級編—」, 博物館. (31名)

高野温子・高橋 晃・山本伸子, 2013.5, 「小代の植物観察会」, 香美町. (20名)

高野温子・高橋 晃・山本伸子, 2013.5, 「あまるベジオガイド あまるべ〜たかのすの森の植物観察会」, 香美町. (21名)

高橋 晃・山本伸子, 2013.5, 「植物多様性講座—樹木の見分け方を学ぶ 初級編—」, 博物館. (29名)

3) ミニキャラバン事業

2013. 3, ひとはく Kids キャラバン in 神戸 (分担者), つぐみ保育園, 神戸市.

2013. 3, 科学・技術フェスタ「くるくる回るタネを

つくってみよう、大きくして見てみよう」(分担者), 京都パルスプラザ, 京都市.

2013. 4, ふれあいフェスティバル (分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 明石公園, 明石市.

8) 展示

ミニ企画等

2013.3.9-4.21, ミニ企画展「東北しぜんかわらばん展」(分担者).

2014.3.8-4.20, ミニ企画展「東北しぜんかわらばん展」(分担者).

2. シンクタンク事業

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3回, 46名.

4) 行政等支援

相談・指導助言

来訪者6件, 12名. 電話・FAX相談2件.

太田 英利 Ota, Hidetoshi

自然・環境評価研究部 昆虫共生研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部
門 教授.

昭和34年愛知県生. 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士(理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

3. 研究開発部門

自然・環境マネジメント研究部 部長

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
2. 東アジアにおけるエラブウミヘビ類の遺伝的多様性と遺伝地理構造の解明
3. 爬虫類を中心とした四足動物における分子を指標とした系統関係の推定
4. 琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然史
5. わが国における外来種の在来生物相へのインパクトとその防除
6. 博物館の収蔵標本の採集時期・産地記録から推定される, 日本産爬虫・両生類の分布の変遷: 特に東日本における津波の, 低平地両生類の分布への影響を中心に

2) 共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

3) 論文・著書

©Nakamura, Y., A. Takahashi, and H. Ota. 2013. Recent cryptic extinction of squamate reptiles on Yoronjima Island of the Ryukyu Archipelago, Japan, inferred from garbage dump remains. *Acta Herpetologica* 8: 19–34.

Tandavanitij, N., H. Ota, Y.-C. Cheng, and M. Toda. 2013. Geographic genetic structure in two laticaudine sea kraits, *Laticauda laticaudata* and *Laticauda semifasciata* (Serpentes: Elapidae), in the Ryukyu-Taiwan region as inferred from mitochondrial cytochrome *b* sequences. *Zoological Science* 30(8): 633–641.

Takahashi, A., R. Fujii, A. Nakachi, and H. Ota. 2014. The first prehistoric record of *Mauremys mutica* (Testudines: Geoemydidae) from the Yaeyama Islands, Southern

Ryukyus, Japan. *Current Herpetology* 33(1): 1–7.

Koizumi, Y., H. Ota, and T. Hikida. 2014. Phylogeography of the two smooth skinks, *Scincella boettgeri* and *S. formosensis* (Squamata: Scincidae) in the southern Ryukyus and Taiwan, as inferred from variation in mitochondrial cytochrome *b* sequences. *Zoological Science* 31: 228–236.

©Siler, C.D., J. R. Oaks, K. Cobb, H. Ota, and R. M. Brown. 2014. Critically endangered island endemic or peripheral population of a widespread species? Conservation genetics of Kikuchi's gecko and the global challenge of protecting peripheral oceanic island endemic vertebrates. *Diversity and Distributions* 20: 756–772

©岩槻邦男・太田英利. 2014. 世界の絶滅危惧生物図鑑. 丸善出版, 東京, 印刷中. 原文: IUCN (Ed.), *Species on the Edge of Survival*. IUCN, Gland and HarperCollins, Glasgow. 400 pp.

4) その他著作

土屋誠・伊澤雅子・太田英利・佐々木健志・真田麻夕・伝田哲郎・宮城康一・横田昌嗣. 2013. 美ら島の生物100 ウォッチング. 東海大学出版会, 秦野, 252 pp.

©太田英利. 2013. アオダイショウ –農村の生活で人一番近いヘビは、森の豊かさの目安-. *Green Age* 2013(4): 30–31.

©太田英利. 2013. 地域の生きもの情報から見えてくる、地球規模の環境変動の本質と取り組みへの示唆. *シーダー* (8): 1.

©太田英利. 2013. モリアオガエル –温帯の森で営まれる“熱帯式?”の繁殖-. *Green Age* 2013(5): 32–33.

©半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐藤裕司・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・八尾滋樹・小林美樹・西岡敬三・古谷裕・高橋晃・太田英利・中瀬勲. 2014. ひょうご恐竜化石国際シンポジウム実施報告. *人と自然* 24: 51–62.

太田英利. 2014. リュウキュウヤマガメ –沖縄の森でひっそり暮らす小さなカメは、かつて広域で栄えた種族の生き残り-. *Green Age* 2014(1): 30–31.

6) 研究発表

©H. Ota. 2013. How can we publish our taxonomic and systematic works in high impact journals? – Proximal efforts and long-term strategies. An Invited Key-note Lecture at The 3rd Conference of Taxonomy and Systematic in Thailand (3rd TST). Chulalongkorn University, Bangkok.

©H. Ota. 2013. Natural history and conservation of the snakes of the Ryukyu Archipelago, Japan. The 6th Snake Ecology Group Meeting, International Snake Ecology Group. Kunigami Environmental Education Center. Kunigami-son, Okinawa.

©太田英利. 2013. 琉球の陸生脊椎動物相 ~ここ数万年の激変と今後~. 平成25年度自然史学会連合講演会「みる! きく! さわる! 博物館~五感で感じる生物多様性~」. 沖縄県立博物館・美術館, 那覇.

©太田英利・松原美波・河村功一. 2013. 日本国内における

スッポン個体群の遺伝的変異 日本爬虫両棲類学会
第52回大会. 東海大学札幌校舎, 札幌.

◎湯橋 翔・太田英利. 2013. 淡路島に生息する淡水生
カメ類 3種の食性. 日本爬虫両棲類学会第52回大
会. 東海大学札幌校舎, 札幌.

◎太田英利. 2014. 日本に見られるスッポン個体群の
起源について. 第1回淡水ガメ情報交換会. 神戸女
子大学, 神戸.

7) 学会役員など

日本爬虫両棲類学会, 英文誌編集委員, 評議員
沖縄生物学会, 学会誌編集委員

Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員

Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員

Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F.L.S.])

Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員

Animal Systematics, Evolution and Diversity, 学術雑誌編
集委員

投稿原稿の査読: Zootaxa, Current Herpetology, Evolution,
Asian Herpetological Research, Zoological Science, Zoo
Keys, Journal of Biogeography, Tropical Natural History,
人と自然, Acta Herpetologica, Zoological Studies, など
の投稿原稿について計33件

8) 助成を受けた研究

東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分
類学的研究 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究
代表者 (金額221万円/559万円).

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.5-10 スッポン. 兵庫県, 大阪府, 京都府, 愛知
県など.

2013.6-11 ヘビ類. 兵庫県, 岡山県など.

2009.6-9 カエル類. 三田市, 伊丹市, 豊岡町など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

太田英利, 2013.4.20, オープンセミナー「生き物たちの
四季-春」, 博物館. (10名)

太田英利, 2013.4.25, 特注セミナー 講義「研究と私③」,
博物館. (45名)

太田英利ほか3名, 2013.4.25, 特注セミナー「収蔵庫見
学①」, 博物館. (22名)

太田英利ほか3名, 2013.4.25, 特注セミナー「収蔵庫見
学②」, 博物館. (23名)

太田英利, 2013.6.29. 一般セミナー「カエルの食生活」,
博物館. (6名)

太田英利, 2013.8.19. 一般セミナー「生き物の分類: 種
とは何か、系統とは何か?」, 博物館. (26名)

太田英利, 2013.8.21, 一般セミナー「外来種の現状と対
策」, 博物館. (6名)

太田英利. 2013.9.21, オープンセミナー「生物多様性つ
て何だろう」, 博物館. (16名)

太田英利. 2013.10.8, 一般セミナー「動物の体のつくり
としくみ. 1. 両生類」, 博物館. (5名)

太田英利. 2013.12.14, 一般セミナー「動物の体のつくり
としくみ. 2. 爬虫類」, 博物館. (4名)

太田英利, 2014.2.22, オープンセミナー「生き物たちの
四季-冬」, 博物館. (16名)

館外講演

太田英利. 2013.5.20. 館外セミナー「外来生物はなぜ問
題なのか」, 伊丹市立池尻小学校 (104名)

太田英利. 2013.5.30. 館外セミナー「日本の生物相の成
り立ち、生物多様性の現状とその保全 - おもに琉球
の島々の陸生動物相と外来種の問題を例として-」.
兵庫県立長田高等学校 (45名)

兵庫県立大学・大学院教育

系統分類学特論 (主任)

非常勤講師

2013.12.16-19, 「生物地理学」・「生物地理学特論」. 東
北大学理学部・理学研究科.

ラジオ・テレビ等出演

2013.4.24. 「爆笑! 大日本あかん警察: 石垣島 (沖縄)
のイグアナ」 (フジテレビ)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.5.28-5.30, けやき台中学校ほか3名.

県庁インターンシップ

2013.8.27-8.29, 県立川西明峰高等学校ほか3名

7) フェスティバル等

2014.2.4 共生のひろば, 「展示補助」

8) 展示

2013.9.7-2013.11.5, 人博トピックス展「兵庫のへび」
(責任者).

2014.2.2, サイエンスフェア in 兵庫での人博ブース
展示「食文化と生物多様性: スッポンの場合」(責任
者)

2. シンクタンク事業

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 5回, のべ約20名.

4) 行政等支援

委員会等 (計15件)

1998.4- 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価
検討委員会 爬虫類・両生類分科会

2005.6- 環境省希少野生植物種保存推進員

2008.6- 世界自然保護基金日本委員会 (WWF ジャパ
ン) 運営委員会

2009.6- 総合地球環境研究所雑誌「SEEDer」編集委
員会

2007.4- 新石垣空港環境モニタリング委員会

2007.4- 西表島エコロード検討委員会

2006.1- オオヒキガエル防除事業対策会議委員

2009.10- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委員

2011.5- アベサンショウウオ保護増殖等検討会

2011.7- 「生物多様性いたみ」検討委員会

2012.5- 世界自然遺産指定に向けた琉球・奄美諸島

評価検討会

2012.5－ 琉球列島における要注目外来種選定委員会

2012.5－ 中央環境審議会外来生物対策検討委員会

2012.6－ 兵庫県環境審議会鳥獣部会

2013.6－ 奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会

相談・指導助言

来訪者 24 件, 87 名. 電話・FAX 相談 17 件, メール
相談 45 件.

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部
昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授。

昭和31年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士，日本昆虫学，熱帯生態学会，日本生態学会，国際社会性昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

生涯学習推進室 室長

3. 研究開発部門

系統分類研究部門 会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 膜翅目昆虫（アリ類等）の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生生物学

2) 共同研究

総合共同研究「山陰ジオパーク」，研究分担者。

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」，研究分担者。

3) 論文・著書

橋本佳明（2013）アリ擬態クモとアリ類の多様性はアソシエイトしているのか？ 昆虫と自然 Vol48:7-11

4) その他著作

橋本佳明他（2012）人博新聞1件

5) ブログへの情報提供

1件

6) 研究発表

Y. Hashimoto et.al (2013) Do biodiversity of ant-mimic spiders associate with ant biodiversity in tropical forests? 19th International Congress of Arachnology (ICA 2013) Taiwan

橋本佳明他(2013) アリ類—アリグモ類の多様性アソシエーション：擬態パターンの多様性と擬態モデル種の形態的・生態的特性との関係 日本昆虫学会第73回大会(北海道大学)

Y. Hashimoto et.al (2013) Detection of species-to-species association for ant-mimicking spiders and their ant models the 9th ANeT International Conference 2013 (UMS) Sabah

橋本佳明他(2014) 擬態現象を生物多様性創出・維持機構として解析する：ボルネオ熱帯雨林におけるアリ類垂直分布構造とアリグモ属のアソシエーション 第61回日本生態学会大会（広島国際会議場）

7) 学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員。

Asian myrmecology レフェリー

8) 助成を受けた研究

アリアリ擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明：多様性創出は生態系安定に寄与するか 文部科学省科学研究費 基盤C 研究代表者 (180万円/430万円)
東南アジアにおけるアリ擬態クモ類とアリ類の擬態関係の解明 住友財団 基礎科学研究助成 研究分担者 (40万円/130万円)

9) 海外調査

2013.9 タイ国 サケラート

2014.1 シンガポール国

2014.3 マレーシア・サラワク州

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

マレーシア・サラワク州，タイ国 サケラート等アリ類標本収集

2) 受贈担当資料

坂上ハナバチ類コレクション。

3) 整理同定担当資料

チョウ類コレクション(1000点)の標本画像登録

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

生物多様性を学ぶ（講義編）—多様性創出機構としての生物種間関係を研究する(10名)

◎アリを調べる—調査と観察の方法伝授(ひとはくセミナー)(10名)

昆虫と自然が大好きな子どもを育む—昆虫少年・少女の歩む道（指導者養成セミナー）（5名）

◎昆虫を大きくして見てみよう（オープンセミナー）（30名）

◎生物系収蔵庫ツアー，博物館オープン2回（オープンセミナー）（11月30名，3月30名）

有馬高校連携セミナー：生物多様性と地球環境問題（40名）

ジャングルスクール in 丹波（20名）

館外講演

「生物多様性を学ぶ」，兵庫県立福崎高校（40名）

” Do biodiversity of ant-mimic spiders associate with ant biodiversity in tropical forests?” シンガポール大学博物館（60名）

「アリ学入門」 伊丹市立西中学校（40名）

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学（分担 2回）

昆虫多様性生物学（大学院）

非常勤講師

兵庫県立福崎高校特別非常勤講師

ラジオ・テレビ等出演

ラジオ静岡「アリに化けるクモ」

西脇小学校特注セミナー神戸新聞取材

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

生涯学習推進室室長として、しぜんかわらばん、共生のひろば等の事業実施

4) 連携事業

バリフラワーショー「おもしろ昆虫・植物展」、兵庫
県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館、(展示制作)
ラン展、兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館

5) 学校教育支援

伊丹市教育委員会・人博博学連携事業(小学生自由研究発表会指導、「共生のひろば」伊丹市小学校自由研究優秀者発表指導)

学校団体対応

県立伊和高校、小野市立小学校他 学校団体対応特注
セミナー4回 (150名)

7) フェスティバル等

生涯学習推進室室長としてフェスティバル実行委員会委員等を担当

2. シンクタンク事業

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫公開4回(35名).

4) 行政等支援

相談・指導助言

阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンター視察
対応.

静岡県自然学習資料センター視察対応

マレーシア国環境省視察対応

ハバロスク交流団視察対応

電話・FAX 相談10件、メール相談8件対応

八木 剛 YAGI, Tsuyoshi

自然・環境評価研究部
昆虫共生系研究グループ
主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程修了、農学修士、日本昆虫学会、国際トンボ学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室
企画調整室 室長

<研究開発>

1. 調査研究
 - 1) 特別課題研究 (個人研究)
 1. 昆虫分布の解釈に関する研究
 2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究
 - 4) その他著作
神戸新聞 2013.7.8 被災地に新たな博物館像
- 6) 研究発表
Matsuda, A. Yagi, T. Shimizu, A. 2013. Kodomo Hikari Project – Museum Collaboration for Children in Tohoku Region. The 4th Asian Zoo Educators' Conference (AZEC) 2013, Fukuoka.
- 7) 学会役員など
日本昆虫学会 近畿支部幹事
- 8) 助成を受けた研究
被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築 文部科学省科学研究費 基盤C 研究代表者 (90万円/380万円)

2. 資料収集・整理

- 1) 資料収集
ホテル類標本収集
- 2) 受贈担当資料
世界のチョウ (川副昭人コレクション: 12,000点)
世界の昆虫 (春木實コレクション: 10,000点)
兵庫県産シリアゲムシ (杉本俊一郎コレクション: 66点).
- 3) 整理同定担当資料
昆虫 (双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類). キャラバン用昆虫標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業
 - 1) セミナー
館主催セミナー
八木 剛, 2013.4-2014.3. 「ユース昆虫研究室」. 兵庫県立六甲山自然保護センター・博物館. (全12回, 150名).
NPO 法人人と自然の会・八木 剛, 2013.5, 「入会セミナー」, 博物館 (5名).
猪名川流域ひめぼたるネットワーク, 2013.5. 「いなが

- わ・ひめぼたる・ういーく」, 猪名川河川敷, 伊丹市 (全4回, 300名).
ひとはく連携グループ run♪run♪ plaza、八木 剛, 2013.7-8, 「ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール」博物館・ハチ北高原. (全5回, 78名)
八木 剛・鈴木 武・布施静香, 2013.4-2014.3, 「ひとはく展示課むし係」, 博物館. (全10回, 40名)
八木 剛, 2013.6-9. 「鳴く虫キッズ大集合」, 博物館. (全3回, 15名)
国崎クリーンセンター環境楽習館ゆめぼたる・八木 剛・猪名川流域ヒメボタルネットワーク, 2013.4-6, 「ヒメボタルインストラクター養成講座」, 国崎クリーンセンター・猪名川河川敷, (全6回, 40名)
八木 剛, 2013.8, 「オープンセミナー: むしむしたいけん」博物館, (8日間, 1900名)

館外講演

- 2013.6 六甲山のキラキラした生きもの. 六甲山大学.
2013.7 ヒメボタルについて. 二戸市.
2013.12 三田のホテル, 三田市立中央公民館.
2) キャラバンおよび地域研究員養成事業
2013.6 仙台市農業園芸センター・福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館
2013.7 岩手県立博物館・梁川天神社
2013.10 飯舘村文化祭. 福島市

4) 連携事業

連携グループ等

- NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)
run♪run♪ plaza (アドバイザー: 主)
テネラル (アドバイザー: 主)
あかねちゃんクラブ (ミヤマアカネ生態研究会) (アドバイザー: 主)
鳴く虫研究会きんひばり (アドバイザー: 副)
猪名川流域ひめぼたるネットワーク (アドバイザー: 主)
さんぼクラブ (アドバイザー: 主)
こどもひかりプロジェクト (事務局)
地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)
佐用町昆虫館 (連携施設) (主担当)

成果発表

- 2014.2 共生の広場, 4人4色の昆虫標本“捕る、集める、作製する”, 足立千恵・小野田弘之・近藤フミ子・辰巳淳子 (セミナー受講生)
2014.2 共生の広場, 鳴く虫ワールド2013, 吉田滋弘ほか (鳴く虫研究会きんひばり)

共催事業

- 2013.5 講演会と昆虫たいけん ムシのお話 5つ星レストラン: 春の献立, NPO 法人こどもとむしの会・神戸大学農学部昆虫科学教室 (アドバイス)
2013.6-7 第8回姫ボタル祭り, 姫ボタル祭り実行委員会 (アドバイス)
2014.3- 六甲山自然保護センター周辺の昆虫展 (主担当), 兵庫県立六甲山自然保護センター
2013.7-9 第17回ミニ企画展 キラキラ輝く昆虫たち.

但馬国府・国分寺館，豊岡市.

静岡県、兵庫県建設業協会、太陽工業（株）、ホテルの里創造協会

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6 深田公園自然の流れの植生管理

学校団体対応

2013.5 宝塚市立西山小学校 4 年生

2013.9 三田市立狭間小学校 3 年生

2013.9 稲美町立天満小学校 3 年生

2013.9 芦屋市立宮川小学校 3 年生

2013.9 稲美町立天満東小学校 3 年生

2013.11 丹波市立久下小学校 3 年生

講師派遣

2013.5-2014.2. 「プロジェクト学習」講師，兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2013.9 大阪市立榎本小学校.

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8 琉球大学 1 名、京都造形芸術大学 1 名.

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル，「駐車場係」（分担者）

8) 展示

企画展

2013.7.20-9.1, 展示特別企画「昆虫少年のじゅうけんきゅう」（責任者）.

ミニ企画等

2013.12-2014.1, 干支展「午」（分担者）.

2. シンクタンク事業

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，5 回.

4) 行政等支援

委員会等 （計 1 件）

2013.1-. 加古川市環境審議会，委員.

相談・指導助言

来訪者 20 件，50 名. 電話・FAX 相談 20 件，メール相談 20 件程度.

2013.4-2014.3 チョウ類の保全について，西日本高速道路株式会社.

2012.10 猪名川河川敷のヒメボタルについて，国土交通省猪名川河川事務所.

5) 学会開催等支援

2014.3 こども☆ひかりプロジェクト研究会 2014 in SENDAI. こどもひかりプロジェクト，モンタナリゾート岩沼. 40 名

2014.3 超実践型公開研究会 被災地のその後とこども☆ひかりプロジェクト. こどもひかりプロジェクト，福岡アジア美術館. 40 名

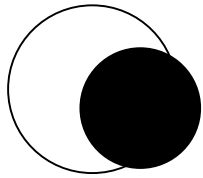
4) 行政等支援

相談・指導助言

NEXCO 西日本、猪名川上流広域ゴミ処理施設組合、国土交通省猪名川河川事務所

視察対応

全国市議会議長会、滋賀県立琵琶湖博物館、加西市、



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント研究部 流域生態研究グループ/
動物共生研究グループ

田中 哲夫 TANAKA, Tetsuo

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ/生涯学習推進室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授.

昭和23年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本生態学会,
日本魚類学会, 兵庫県県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫陸水生物研究会,
ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

2) 共同研究

部門研究「共生の現実と未来」分担者

3) 論文・著書

Katsutoshi Watanabe・Seiichi Mori・Tetsuo Tanaka・
Naoyuki Kanagawa・Takahiko Itai・Jyun-ichi Kitamura
・Noriyasu Suzuki・Koji Tominaga・Ryo Kakioka・
Ryoichi Tabata・Tsukasa Abe・Yushu Tashiro・
Yoshiki Hashimoto・Jun Nakajima・Norio Onikura
(2014) **Genetic population structure of
Hemigrammocypripis rاسبorella(Cyprinidae) inferred
from mtDNA sequences. Ichthyol.Res.(Published
online)**

4) その他著作

◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓
弥(2014)「キリンビール神戸工場レフュジアビオ
トープに関する研究 XIII」, レフュジアビオトープ
研究会.

5) ブログへの情報提供

1件

8) 助成を受けた研究

受講者と探るカワバタモロコの絶滅過程, 日本学術振
興会, 科学研究費補助金, 研究代表者(金額60万
円/150万円).

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2012.4-2013.3 兵庫県産水生生物.

3) 整理同定担当資料

淡水魚および水生生物全般昆虫.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

田中哲夫, 2013.4-5, 「ため池を探る」, 博物館・三田
市香下ため池群.(全4回,51名)

田中哲夫, 2013.8, 「キリンビール・ビオトープ池調査」,
夏季教職員セミナー, 博物館・キリンビール神戸工
場.(15名)

田中哲夫, 2013.7.27, 「キリンビオトープ池を調べる」,
祥雲館高校連携セミナー, 博物館・キリンビール神
戸工場.(25名)

オープンセミナー

◎田中哲夫, 2013.6.22 これぞ君もお魚博士, 博物
館・2階展示室(69名)

◎田中哲夫, 2013.8.17 これぞ君もお魚博士, 博物
館・2階展示室(57名)

◎田中哲夫, 2013.11.3 これぞ君もお魚博士, 博物
館・2階展示室(75名)

特注セミナー

田中哲夫, 2013.8.17, 「コウノトリを支える生き物」,
ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流事業,
博物館,18名)

田中哲夫, 2013.9.12, 「身近な水辺の生き物」, 尼崎市
立武庫小学校, 博物館, 72名。

田中哲夫, 2013.11.12, 「魚の住める環境」, 尼崎市立
名城小学校, 博物館, 102名。

館外講演

田中哲夫, 2013.5, 1 「若井川に住む生物の観察」西在
田小学校エコ遠足, 下若井町公会堂, 加西市(105名).

田中哲夫, 2013.6, 12 「水の汚れと水生生物」, むこっ
こロード, 武庫小学校, 尼崎市(70名).

田中哲夫, 2013.7, 27 「トンボの親子あわせ」, 加西市
キャラバン, 平池公民館, 加西市(40名).

田中哲夫, 2013.8, 7 「鴨川の生き物たち」, かとう自然
学校, 下鴨川公民館, 加東市(40名).

田中哲夫, 2013.8, 22 「水路の生き物」, むこっ子サマ
ースクール, 武庫小学校, 尼崎市(35名).

田中哲夫, 2013.9, 1 「森の学校復活大作戦」, 篠山市環
境セミナー, 丹南健康福祉センター, 篠山市(80名).

田中哲夫, 2013.9, 27 「武庫川上流の魚」, 篠山産業高
校, 篠山市(12名).

田中哲夫,2013.10, 27「住吉川の魚たち」、篠山市立味間小学校,篠山市(63名).

田中哲夫,2013.11, 16「淡水魚の多様性と武庫川」,武庫川の魅力発見～自然と環境そして人,2012年宝塚市民カレッジ、宝塚市立中央公民館,宝塚市(35名).

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学集中講義「共生生物学」(分担田中哲夫) 2013.9.13「キリンビオトープの環境への取り組み」、キリンビール神戸工場,神戸市(35名).

非常勤講師.

2013.10, 19「武庫川の淡水魚」,神戸大学「生物学野外実習」,篠山市(24名).

2013.11, 30「武庫川の水生动物」,神戸大学「生物学野外実習」,篠山市(24名).

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

「共生のひろば」企画・実施

展示作成

常設展示 但馬海岸 小改訂

4) 連携事業

連携グループ等

谷本卓弥(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

法西 浩(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

藤田茂宏(ひとはく地域研究員;主アドバイザー)

丹波のホトケドジョウを守る会(ひとはく連携活動グループ;主アドバイザー)

山東の自然に親しむ会(ひとはく連携活動グループ;副アドバイザー)

NPO 里山レンジャー(ひとはく連携活動グループ;副アドバイザー)

森本静子(ひとはく地域研究員;副アドバイザー)

成果発表

2014.2 共生の広場 「オオムラサキが舞う里山空間実現に向けて」,兵庫丹波オオムラサキの会(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「生物多様性の保全活動について～カワバタモロコの飼育・保護～」,㈱東芝セミコンダクター&ストレージ社 姫路半導体向上管理部環境保全課(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「クチキコオロギの越冬をみた」,法西 浩(ひとはく地域研究員)(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「マダニにかまれるとヤバイで」,法西 浩(ひとはく地域研究員)(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「“水馬の卵“みたことがありますか」,森本静(ひとはく地域研究員)(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「大好きなビオトープとカワバタモロコ」,尼崎市立逆瀬台小学校ビオトープ委員会(指導・協働)

2014.2 共生の広場 「ホトケドジョウ生息地・湧水湿地の再生」丹波地域のホトケドジョウを守る会(ひとはく連携活動グループ)((指導・協働)

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」. 代表者,キリンビール神戸工場.(45万円).

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内,3回,21名.

4) 行政等支援

委員会等 (計14件)

2013.4.-2014.3. 兵庫県環境影響評価審査会,委員,兵庫県環境影響評価室

2013.4.-2014.3. 兵庫県立宝塚西谷の森公園運営協議会,委員,宝塚市

2013.4.-2014.3. 加東市とひとはく協力協定連携推進会議,委員,加東市教育委員会.

2013.4.-2014.3. 篠山市森の学校復活大作戦実行委員会,委員長,篠山市教育委員会

2013.4.-2013.3. 「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」のためのワーキンググループ,委員,独立行政法人 国立科学博物館.

2013.4.-2014.3. 「兵庫の貴重な自然」改定方針検討委員会,委員,兵庫県環境課.

2013.4.-2014.3. 「兵庫の貴重な自然」生態系RDB検討委員会,委員,兵庫県環境課.

2013.4.-2014.3. 生物多様性兵庫戦略推進委員会,委員,兵庫県自然環境課.

2013.4.-2014.3. 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会,委員,兵庫県県土整備部土木局.

2013.4.-2014.3. 大滝ダム運用環境調査委員会,委員,国土交通省近畿地方整備局.

2013.4.-2014.3. 猪名川自然環境委員会,委員,国土交通省近畿地方整備局,猪名川河川事務所.

2013.4.-2014.3. 猪名川自然環境委員会・構造部会,委員,国土交通省近畿地方整備局,猪名川河川事務所.

相談・指導助言

来訪者20件,60名. 電話・FAX相談35件,メール相談5件

三橋 弘宗 MITSUHASHI, Hiromune

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ／生涯学習推進室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
講師。

昭和 45 年京都府生。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。理学修士。日本生態学会，日本陸水学会，応用生態工学会，アメリカベントス学会，兵庫陸水生物研究会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

副室長

2. タスクフォース 情報システム更新タスクフォース リーダー

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

2) 共同研究

総合共同研究「地域課題解決型の博物館実習プログラムの構築」代表
部門研究「共生の現実と未来」分担者

7) 学会役員など

日本生態学会近畿地区委員
日本生態学会保全生態学研究 編集幹事
関西淡水動物談話会 世話人
NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク 事務局

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 兵庫県産水生生物（底生動物（昆虫、貝、甲殻類）、魚類、両生類）

3) 整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗，2013.8，川の水生昆虫の観察会（矢田川中流編）（7名）

三橋弘宗，2013.9-11，「プラスティネーション標本づくり」（全3回）（20名）

兵庫県立大学・大学院教育

2013.8 兵庫県立大学総合教育科目「共生博物学」（70名）

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

森本静子（ひとはく地域研究員；主アドバイザー）
渡辺晶造（ひとはく地域研究員；主アドバイザー）

副担当

琢磨千恵子（ひとはく地域研究員；副アドバイザー）
東山真也（ひとはく地域研究員；副アドバイザー）

展示作成

4) 連携事業

連携グループ等

NPO 法人さんびいす（ひとはく連携活動グループ；主担当）

里山レンジャー（ひとはく連携活動グループ；主担当）
水辺のフィールドミュージアム（ひとはく連携活動グループ；主担当）

丹波のホトケドジョウを守る会（ひとはく連携活動グループ；副アドバイザー）

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8.16-8.17，岡山大学理学部学生2名，岡山理科大学理学部1名，京都造形芸術大学2名，高知大学理学部1名，神戸学院大学人文学部1名，神戸夙川学院大学観光文化学部1名，甲南女子大学文学部1名。

8) 展示

ミニ企画展

2013.2-2013.7. ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2013—野生のキノコの不思議な魅力」（主担当）。

2014.2-2014.6 ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2014—野生のキノコの不思議な魅力」（主担当）。

三谷 雅純 MITANI, Masazumi

自然・環境マネジメント研究室

動物共生研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門

准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士
後期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International
Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ
学会, 日本生態学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所
属.

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

3. 研究開発部門 研究推進室

研究紀要マネジメント・グループ 紀要『人と自然

Humans and Nature』編集委員長、資料審査会座長、
博物館哺乳類標本の管理担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

1. ヒトの遺伝的多様性および文化的多様性のあり方の研究
2. DAISY を応用した展示解説技術の研究
3. ユニバーサル・ミュージアムから見た生涯学習施設のあり方の研究

3) 論文・著書

三谷雅純 (2013) 生涯学習施設は言葉やコミュニケーションに障がいを持つ人とどう向き合うべきか: 総説. 人と自然 Humans and Nature 24: 33-44.

4) その他著作

- ◎三谷雅純 (2013) サラマンカ宣言があった! - 1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 21, ひととはくブログ (1月22日)
- ◎三谷雅純 (2013) サラマンカ宣言があった! - 2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 22, ひととはくブログ (1月29日)
- ◎三谷雅純 (2013) 「サラマンカ宣言があった!」へのご感想. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 23, ひととはくブログ (2月17日)
- ◎三谷雅純 (2013) 『障害児教育を考える』の書評. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 24, ひととはくブログ (2月26日)
- ◎三谷雅純 (2013) 川のほとりに人が住み始めたころ - 1. 武庫川レポート 68: 7-8.
- ◎三谷雅純 (2013) 川のほとりに人が住み始めたころ - 2. 武庫川レポート 69: 7-8.
- ◎三谷雅純 (2013) ユニバーサルなホームページを考える事. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 25, ひととはくブログ (3月12日)
- 三谷雅純 (2013) 地球通信 (14): 熱帯林には花が少ない. 会報「メリーポピンズ」3月15日号: 4-5.

- ◎三谷雅純 (2013) 漢字、絵文字、コミュニケーション支援絵記号 - 1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 26, ひととはくブログ (3月24日)
- ◎三谷雅純 (2013) 漢字、絵文字、コミュニケーション支援絵記号 - 2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 27, ひととはくブログ (4月9日)
- ◎三谷雅純 (2013) 博物館ファンは認知症にならない? - 1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 28, ひととはくブログ (4月23日)
- ◎三谷雅純 (2013) 博物館ファンは認知症にならない? - 2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 29, ひととはくブログ (5月6日)
- ◎三谷雅純 (2013) 「高齢な失語症者が楽しめる博物館の展示解説: ユニバーサルな観点から」. 大阪ガスグループ福祉財団調査・研究報告集 vol. 26, 2013: 141-146. (6月)
- ◎三谷雅純 (2013) ミュージアムという空間. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 30, ひととはくブログ (6月4日)
- ◎三谷雅純 (2013) ヒトは「思い込み」で理解する. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 31, ひととはくブログ (6月24日)
- ◎三谷雅純 (2013) 生き方を変える病(やまい) - 1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 32, ひととはくブログ (7月9日)
- 三谷雅純 (2013) 地球通信 (15): 熱帯林には花が少ない - 2. 会報「メリーポピンズ」7月15日号: 4-5.
- ◎三谷雅純 (2013) 生き方を変える病(やまい) - 2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 33, ひととはくブログ (7月30日)
- ◎三谷雅純 (2013) 「生き方を変える病(やまい)」へのご感想. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 34, ひととはくブログ (8月13日)
- ◎三谷雅純 (2013) 『ヒトは人のはじまり』のご紹介. 全国失語症友の会連合会ホームページ (8月20日)
- ◎三谷雅純 (2013) 脳の多様性? - 1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 35, ひととはくブログ (8月27日)
- ◎三谷雅純 (2013) 脳の多様性? - 2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 36, ひととはくブログ (9月10日)
- ◎三谷雅純 (2013) 脳の多様性? - 3. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 37, ひととはくブログ (9月23日)
- ◎三谷雅純 (2013) 視覚に頼らない世界をテレビはどこまで伝えられるのか. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 38, ひととはくブログ (10月8日)
- 三谷雅純 (2013) 地球通信 (16): 熱帯林には花が少ない - 3. 会報「メリーポピンズ」10月15日号: 4-6.
- ◎三谷雅純 (2013) “ロボット万能”の時代に人が行うサービス. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 39, ひととはくブログ (10月29日)

◎三谷雅純 (2013) 『動物を守りたい君へ』を読んだ感想。「自然日誌 たかつき」(麻布大学・野生動物学研究室 高槻成紀氏のホームページ (10月30日))

◎三谷雅純 (2013) 「正義の倫理」と「ケアの倫理」. ユニバーサル・ミュージアムをめざして40, ひととはくブログ (11月19日)

◎三谷雅純 (2013) 研究者が研究対象の当事者になるということ:『話せない』と言えるまで』書評. ユニバーサル・ミュージアムをめざして41, ひととはくブログ (12月7日)

◎三谷雅純 (2013) 気が付くと「ユニバーサル社会」が出現していた. ユニバーサル・ミュージアムをめざして42, ひととはくブログ (12月23日)

三谷雅純 (2014) お隣の山地民:『ゾミア——脱国家の世界史』書評-1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして43, ひととはくブログ (1月15日)

三谷雅純 (2014) お隣の山地民:『ゾミア——脱国家の世界史』書評-2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして44, ひととはくブログ (1月15日)

◎三谷雅純 (2014) 多文化であることの苦しみと寂しさ. ユニバーサル・ミュージアムをめざして45, ひととはくブログ (1月29日)

◎三谷雅純 (2014) 「気が付くと『ユニバーサル社会』が出現していた」のご感想など. ユニバーサル・ミュージアムをめざして46, ひととはくブログ (2月11日)

◎三谷雅純 (2014) 人びとを迎えるために-1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして47, ひととはくブログ (2月14日)

◎三谷雅純 (2014) 人びとを迎えるために-2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして48, ひととはくブログ (2月18日)

雑誌 DODO 編集部 (2014) 「あの人の旅が気になる」突撃取材:アフリカ最後の原生林「ンドキの森」の初踏 霊長類学者 三谷雅純さん. 道祖神 大阪事務所 (有富晃典), DODO 144号: 18.

◎三谷雅純 (2014) わたし達は、皆、当事者の一人ひとり. ユニバーサル・ミュージアムをめざして49, ひととはくブログ (3月12日)

5) ブログへの情報提供

31件

7) 学会役員など

日本霊長類学会, 優秀賞審査委員

人と自然 Humans and Nature, 編集委員長

8) 助成を受けた研究

DAISY を応用したコミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解説技術の開発. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究(C)), 日本学術振興会, 研究代表者 (110万円/250万円)

コミュニケーション障がい者にも理解しやすい展示解説技術の研修. 平成25年度全国科学系博物館活動等助成, 全国科学博物館振興財団, 代表者 (35万

円/35万円)

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2012.4-2013.3, ユニバーサル・ミュージアムに関する資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2013.4, オープンセミナー「絵をかき、字を読むチンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2013.4, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2013.5, 「霊長類学 頭の体操 2013年版」, 博物館. (3名)

三谷雅純, 2013.6, 「<くところ>とくことば>を科学する」, 博物館. (8名)

三谷雅純, 2013.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のある子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (10名)

三谷雅純, 2013.9, オープンセミナー「絵をかき、字を読むチンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2013.9, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (20名)

三谷雅純, 2013.12-2014.1, 「霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (全2回, 86名)

三谷雅純, 2013.12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと」, 博物館. (6名)

館外講演

三谷雅純, 2013.6, 「むつみ会でのお話:障がい者として社会に生きる事の意味」, 失語症友の会 むつみ会 (あかし男女共同参画センター:アスピア明石) (50名)

三谷雅純, 2013.8, 「わたしたちヒトとは何者なのか?」, シニア自然大学 自然と文化科 (大阪市, 福島市民センター) (60名)

兵庫県立大学・大学院教育

2013.5. 平成24年度西地区共通教育科目「人と自然の共生」(霊長類学 [人類学] の立場から), 姫路書写キャンパス, (全3回 x 290名)

非常勤講師

2013.4-2014.3. 「生物学」, 近大姫路大学 (看護学部・教育学部).

4) 地域研究員養成事業

連携グループ等

東中国クマ集会 (協働)

市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

5) 学校教育支援

学校団体対応等

2013.11, 兵庫県立有馬高等学校. (40名)

2013.1, 兵庫県立有馬高等学校. (40名)

7) フェスティバル等

2014.2, 共生のひろば 2013, 記録担当, 博物館研究紀
要「人と自然 Humans and Nature」配布.

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

委員会等 (計 3 件)

2013.4-2014.3, Primate Specialist Group, member, The
World Conservation Union (IUCN).

2013.4-2014.3, Species Survival Commission, member,
The World Conservation Union (IUCN).

2013.4-2014.3, 青少年育成事業団, 理事, (財) 関西テ
レビ青少年育成事業団.

2013.4-2014.3, 東中国クマ集会, 顧問.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. メール相談 200 件.

2013.4- 失語症者の発話機能回復のためのコンピュー
タ利用について.

2013.4- 障がい者の野外活動について.

2013.4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動につ
いて.

布野 隆之 FUMO, Takayuki

自然・環境マエンジメント研究部
流域生態研究グループ／企画調整室
研究員

昭和51年島根県生。新潟大学大学院自然科学研究博士
後期課程修了。農学博士。日本生態学会，日本鳥学会，
日本森林学会，農業農村工学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研究

■共同研究

1. 生物多様性に配慮した大型ダムの管理・運営に関する研究

■論文・著書

布野 隆之（2013）書評「Reintroduction Biology: Integrating Science and Management」. 日本鳥学会誌 62(2) : 204-205.

■その他著作

布野隆之（2013）兵庫県の鳥獣行政. 兵庫県新任職員研修論文.

説田健一（2013）兵庫県立人と自然の博物館が所蔵する折居彪二郎採集標本の概要（執筆協力）. 鳥獣採集家折居彪二郎 採集日誌 ～鳥学・哺乳類学を支えた男～，一耕社出版，北海道.

■研究発表

松隈詩織，布野隆之，大関幸織，望月翔太，石庭寛子，石間妙子，関島恒夫（2014）福島潟周辺水田におけるオオヒシクイの好適採餌環境選択. 第61回日本生態学会広島大会，広島国際会議場，広島市.

向井喜果，松隈詩織，布野隆之，大石麻美，石庭寛子，石間妙子，関島恒夫（2014）福島潟および周辺水田におけるオオヒシクイの食性. 第61回日本生態学会広島大会，広島国際会議場，広島市.

■学会役員など

Strix レフェリー

野生復帰 レフェリー

日本鳥学会近畿地区懇談会 事務局

■助成を受けた研究

希少種ニホンイヌワシの保全－餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築－. 文部科学省科学研究費助成事業 若手研究 (B)，研究代表者（金額 50万円／340万円）.

■賞罰

向井喜果，松隈詩織，布野隆之，大石麻美，石庭寛子，石間妙子，関島恒夫（2014）福島潟および周辺水田におけるオオヒシクイの食性. ポスター賞保全部門 優秀賞，第61回日本生態学会広島大会，広島国際会議場，広島市.

2.資料収集・整理

■資料収集

2013.3.18 ハシブトガラス. 200点，伊丹市.

2013.7.17 小型鳥類. 20点，三田市.

2013.4.1～3.31 小型鳥類. 30点，三田市.

■受贈担当資料

2013.7.17 鳥類本剥製他. 3点，尼崎市.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物（鳥類）.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布野隆之，2013.4.7 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」，博物館，95名.

布野隆之，2013.4.28 「オープンセミナー ふかたん初夏の鳥をさがそう」，博物館，20名.

布野隆之，2013.5.22 「カラスによるごみ被害を解決する」，博物館，11名.

布野隆之，2013.6.19 「希少猛禽類イヌワシを保全する」，博物館 13名.

布野隆之，2013.8.4 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」，博物館，60名.

布野隆之，2013.9.25 「タカの渡り観察会」，宝塚市，28名.

布野隆之，2013.12.1 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」，博物館，90名.

橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2014.3.8 「オープンセミナー 生物系収蔵庫ツアー」，博物館，40名.

館外講演など

布野隆之，2013.4.26 「博物館の標本資料について」，兵庫県立有馬高等学校連携セミナー，博物館，41名.

布野隆之，2013.4.18 「希少猛禽類ニホンイヌワシを保全する」，2013年春の公民館講座，芦屋市，30名.

布野隆之 2013.5.21 「博物館の標本～生物多様性フロアおよび生物系収蔵庫の見学～」，兵庫県高等学校教育研究会科学部会・生物部会，博物館，31名.

布野隆之，2013.6.15 「移動博物館車デモンストラクション～日本に暮らす鳥たちの不思議～」，講師，2013年第32回日本展示学会研究大会，博物館，200名.

布野隆之，2013.6.16 「移動博物館車デモンストラクション～「ゆめはく」で野鳥観察～」，講師，2013年第32回日本展示学会研究大会，兵庫県立有馬富士公園，150名.

布野隆之，2013.6.29 「生物系収蔵庫および魅せる収

蔵庫の見学」, 大阪府立大学生命環境科学部, 博物館, 19名.

布野隆之, 2013.7.26 「希少猛禽類ニホンイヌワシを保全する」, シニア自然大学はばたき, 博物館, 16名.

布野隆之, 2013.8.17 「兵庫の自然誌およびコウノトリに関する展示解説」, 平成 25 年度ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流事業, 博物館, 19名.

布野隆之, 2013.10.17 「カラスによるごみ被害を解決する」, 大阪シニア自然カレッジ, 博物館, 19名.

布野隆之, 2014.2.28 「カラスによるごみ荒らしを防ぐために」講演, 芦屋市民センター, 30名.

布野隆之, 2014.3.24 「人と自然の博物館の鳥類標本」講演, 第3回科学の甲子園全国大会, 博物館, 100名.

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.7.12-8.1 「ジオキャラバン in 竹野北前館」, 豊岡市.

副担当

2013.7.12-8.1 「ジオキャラバン in 竹野公民館」, 豊岡市.

成果発表

2013.7.12-8.1 「岩橋 徹バードカービング展」, 博物館, 30名.

■連携事業

連携グループ等

溝田浩美 (主担当)

脇坂英弥 (主担当)

楠瀬雄三 (主担当)

アピス同好会 (副担当)

協力事業

2014.2.16 ドリームスタジオ 冬鳥を観察しよう, 人と自然の会, 博物館, 展示制作.

■学校教育支援

学校団体対応

兵庫県立大学附属中学校, 6名.

兵庫県立有馬富士高等学校, 40名.

大阪府立大学生命環境科学部, 19名.

講師派遣

布野隆之, 2013.5.14 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2013.6.11 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2013.6.12 「鳥のはなし」, 講師, 明石市立明石小学校, 100名.

布野隆之, 2013.6.12 「生き物の繋がりを観察しよう」, 講師, 兵庫県立明石公園, 100名.

布野隆之, 2013.7.29 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 調査指導, 兵庫県立大学附属中学校, 10名.

布野隆之, 2013.7.30 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 調査指導, 兵庫県立大学附属中学校, 10名.

布野隆之, 2013.8.7 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 調査指導, 兵庫県立大学附属中学校, 5名.

布野隆之, 2013.8.8 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 調査指導, 兵庫県立大学附属中学校, 5名.

布野隆之, 2013.8.13 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 調査指導, 兵庫県立大学附属中学校, 5名.

布野隆之, 2013.9.17 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2013.10.15 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2013.11.26 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.1.21 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.2.4 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.2.20 「人と動物の共生を目指す! ~カラスのごみ被害を考える~」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

■研修生等の受入

博物館実習

2013.8.19-8.23 新潟大学農学部, 1名.

■フェスティバル等

2012.11 ひとくフェスティバル (備品管理担当).

2014.2.11 共生のひろば. (ポスター・作品展示、および交通誘導担当).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 10回, 50名.

■行政支援 (計3件)

2013.4 新名神高速道路 (近畿自動車道 名古屋神戸線) 兵庫県域自然環境保全検討会委員

2013.4 中国自動車道 姫路鳥取線 (播磨新宮~山崎) 兵庫県域自然環境保全検討会委員

2014.3 水源地生態研究会 周辺森林研究グループ 委員

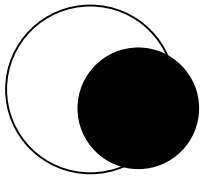
相談・指導助言

来訪者 5件, 20名. 電話・FAX相談 100件, メール相談 10件.

■学会開催等支援

2013.6.15-16 2013年第32回日本展示学会研究大会, 運営スタッフ.

2013.11.16-17 第107回日本鳥学会近畿地区懇談会大
阪大会, 運営スタッフ.



個人別成果報告に関する資料

No. 5

●自然・環境マネジメント研究部 コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

藤本 真里 FUJIMOTO, Mari

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ
研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門
講師。
昭和36年兵庫県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。日本造園学会、日本都市計画学会所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

事業推進部門
事業推進室副室長 地域展開担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究」、研究分担者。

3) 論文・著書

◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典(2014) 尼崎21世紀の森構想における官民協働による緑の創出, ランドスケープ研究, 77(5), 日本造園学会, 707-712.

◎藤本真里(2013) 都市公園における住民参画型運営に関する研究, ランドスケープ研究, 77(2), 日本造園学会, 143-146.

4) その他著作

藤本真里(2014)兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営, 新たな時代に応える公園緑地事例(一般社団法人 日本公園緑地協会ホームページ)

藤本真里(2012) ミツカンよかわビオトープ倶楽部の運営に関する研究その2. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書。

藤本真里(2012)パークマネジメントの人材養成に関する研究 その7. 兵庫県阪神北県民局受託研究報告書。

5) 研究発表

◎藤本真里(2013)兵庫県立有馬富士公園における住民参画型運営—みんなに愛される公園をめざして(ポスター)—, 第6回兵庫県立大学シンポジウム, 神戸市産業振興センター, 兵庫県。

◎藤本真里(2013)都市公園における住民参画型運営に関する研究, 日本造園学会全国大会(造園学会賞授賞式), 千葉大学, 千葉県。

◎田原直樹・赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘(2014) 多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会組織のあり方. 兵庫県立大学COC事業研究発表会, ラッセホール, 兵庫県。

6) 学会役員など

日本造園学会, 論文校閲委員。

7) 助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額10万円/200万円)

8) 賞罰

2013年度日本造園学会賞 受賞

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2012.10, 姫路城周辺および船場西のまちなみ等写真. 姫路市。

2013.4-2014.3 古写真の収集, 養父市・佐用町等。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

藤本真里, 2013.11, 「料理&うんちく DE 地域再発見「丹波黒大豆」, 博物館. (18名)

藤本真里, 2013.10, 「魅力再発見! ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力, 姫路市. (11名)

藤本真里, 2013.5, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (17名)

藤本真里, 2013.10-2014.3, 「ミニ写真展 市民の目から見た 姫路城 昭和の大改修」, 博物館. (全2回 60名)

藤本真里, 2013.5, 「ゆめはくカフェ」, 博物館. (34名)

藤本真里, 2013.8, 「有馬富士公園で学校連携 実践とこれから」, 博物館. (2名)

藤本真里, 2013.5, 「人と自然の会とひとく」, NPO 法人人と自然の会新人研修, 博物館. (4名)

館外講演

藤本真里, 2013.5, 「有馬富士公園のその後」, パネリスト, 日本造園学会全国大会研究フォーラム, 千葉大学 (50名)

藤本真里, 2013.4, 「まちづくりの初動期支援」, 講師, 宝塚ライオンズクラブ, 宝塚市. (30名)

藤本真里, 2013.10-12, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー' 12, 兵庫県阪神北県民局・関西学院大学と共催, 有馬富士公園, 三田市. (10名×5日)

藤本真里, 2013.4-2014.1, 講義・ワークショップ実施およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校人と自然科と共催, 有馬富士公園, 三田市. (16名×10日 160名)

藤本真里, 2013.4-2014.1, 講義・ワークショップ実施およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校総合学科と共催, 有馬富士公園, 三田市. (9名×5日)

藤本真里, 2013.12, 全体の企画・運営・進行, 有馬富士公園学生サミット, 兵庫県阪神北県民局と共催, 有馬富士公園, 三田市. (37名)

藤本真里, 2014.3, 全体の企画・運営・コーディネーター, ありまふじサミット, 兵庫県阪神北県民局と共催, 有馬富士公園, 三田市. (39名)

ありまふじサミット

藤本真里, 2013.5, 「都市公園における住民参画型運営に関する研究」, 日本造園学会学会賞授与式, 千葉大学 (100名)

藤本真里, 2013.6, 「みんなで育てる公共施設」, 講師, 関西大学, 吹田市. (9名)

藤本真里, 2013.9, 「しあわせな公園づくりと住民参画～有馬富士公園のパークマネジメント」, 講師, 都市環境デザイン会議関西ブロック (JUDI), 大阪市. (45名)

藤本真里, 2013.10, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」1年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (38名)

藤本真里, 2013.10, 「理想のまちづくりを考える」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」2年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (34名)

藤本真里, 2013.6, 「有馬富士公園における住民参画型公園運営」, 講師, 神戸市しあわせの森管理運営検討会, 神戸市. (19名)

藤本真里, 2013.11, 「市民参画型活動のマネジメントー兵庫県立有馬富士公園ー」, 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト, 吹田市. (15名)

藤本真里, 2013.12, 「みんなで何でもできる公園をつくろう in 有馬富士公園」, 平成25年度自然を守る研修会, 公益財団法人埼玉県生態系保護協会, 埼玉県. (70名)

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (分担)

非常勤講師

神戸学院大学人間環境実習Ⅱ2013.9-2012.1

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.8.2-9.3, ジオキャラバン in 久美浜, 稲葉本家, 京丹後市久美浜町

2013.4.29, ロハスミーツ明石, 明石公園, 明石市.

2013.6.2, 明舞団地ハピネスマーケット, 松が丘公園, 明石市.

2013.9.21, 中学校自由研究作品展, 伊丹総合教育センター, 伊丹市.

副担当

2013.9.14, NHK のど自慢会場, 丹波市立青垣住民センター, 丹波市.

2013.10.21, ひとくキャラバン 触って楽しもう, パールデイサービスセンター, 神戸市.

3) 連携事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会 (副担当)

協力事業

2013.5, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO法人 人と自然の会(セミナー実施)

4) フェスティバル

総括

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「ミツカンよかわビオトープの運営に関する研究 その2」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その7」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

2) 行政等支援

委員会等 (計 21 件)

2006.7ー 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2012.4ー 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市.

2005.9ー 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会.

2007.7ー 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2012.4ー 尼崎の森中央緑地 コーディネーター会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2013.6-2015.3 加東市協力協定連携推進会議, 委員, 加東市.

2013.6-2014.3 しあわせの森管理運営検討会, 委員, 神戸市.

2013.7-2013.9 芦屋市総合公園指定管理者選定委員会, 専門委員, 芦屋市

2013.7-2015 宝塚市再生可能エネルギー推進審議会, 委員, 宝塚市.

2013.9 尼崎21世紀の森づくり協議会運営支援業務に係る企画提案コンペ審査委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2013.11 姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話

- 会, 委員, 姫路市.
- 2013.11-2016.3 置塩城跡保存管理計画策定研究会, 委員, 姫路市教育委員会.
- 2014.1-2015.3 地域コミュニティ活性化アドバイザー, 姫路市.
- 2014.3-2015.3 猪名川町総合計画審議会, 委員, 猪名川町.
- 2014.2 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.
- 2012.5-2014.5 猪名川上流広域ごみ処理施設組合指定管理者評価協議会, 委員長, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
- 2013.5-2015.3 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県.
- 2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議, 委員長, 姫路市.
- 2012.8-2014.7 宝塚市行政評価委員会, 委員, 宝塚市.
- 2012.8- 姫路城内樹木パトロール, 委員, 姫路市.

相談・指導助言

来訪者 51 件, 102 名. 電話・FAX 相談 87 件, メール相談 230 件.

赤澤 宏樹 AKAZAWA, Hiroki

自然・環境マネジメント研究所
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/大
学連携タスクフォース

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門
准教授。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修
士課程修了。農学博士。日本造園学会, 日本都市計画学
会, 環境情報科学センター, International Federation of Parks
and Recreation Administration JAPAN 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース

大学連携タスクフォース リーダー
情報システム更新タスクフォース メンバー

2. 研究開発部門

研究担当, 紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する研
究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景観
の評価に関する研究」, 研究分担者。

3) 論文・著書

- ◎田中陽朗・山崎義人・赤澤宏樹・中瀬勲(2013)市
街地の住環境の向上に向けた農業用水路の活用
に関する研究～尼崎市の農業用水路の行政と住民団
体の利用・管理に着目して～, 都市計画論文集, 48
(2), 日本都市計画学会, 399-404.

- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典(2014)
尼崎21世紀の森構想における官民協働による緑の
創出, ランドスケープ研究, 77(5), 日本造園学
会, 707-712.

- ◎田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上甫木昭春(2014)
江戸期大阪臨海部新田開発地域における集落形成
について, ランドスケープ研究, 77(5), 日本造
園学会, 565-568.

4) その他著作

- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典(2013)尼
崎21世紀の森構想における官民協働による緑の創
出, 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表要
集, 23-24.

5) 研究発表

- ◎田中陽朗・山崎義人・赤澤宏樹・中瀬勲(2013)市
街地の住環境の向上に向けた農業用水路の活用
に関する研究～尼崎市の農業用水路の行政と住民団
体の利用・管理に着目して～, 日本都市計画学会学

術論文発表会, 法政大学, 東京都。

- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典(2013)尼
崎21世紀の森構想における官民協働による緑の創
出, 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表会,
大阪府立大学, 大阪府。

- ◎田原直樹・赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘
(2014)多自然居住地域の地域づくり主体としての
協議会組織のあり方, 兵庫県立大学COC事業研究
発表会, ラッセホール, 兵庫県。

6) 学会役員など

- 日本造園学会, 企画委員会, 委員。
- 日本造園学会, 論文集委員会, 委員。
- 日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委
員会 委員。
- 日本造園学会, 日本造園学会震災復興支援研究調査ワ
ーキンググループ, コミュニティ担当
- 日本造園学会関西支部, 支部運営委員。
- 日本造園学会関西支部, ランドスケープ遺産研究会,
世話人(兵庫県担当)。
- 日本造園学会関西支部, NYセントラルパークシンポ
ジウム実行委員会, 事務局長。
- 日本造園学会, 論文校閲委員。
- 日本都市計画学会, 校閲委員。
- 環境情報科学センター, 校閲委員。
- 韓国伝統造景学会, 校閲委員。

International Federation of Park and Recreation Association
Japan, 理事

7) 助成を受けた研究

- ◎ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す
学習プログラム構築と博物館の役割, 文部科学省科
学研究費基盤B, 研究分担者(金額20万円/200万
円)
- ◎被災した子ども達が大人になるまで—博物館こそ
ができる長期継続型支援システムの構築, 文部科学
省科学研究費基盤C, 研究分担者(金額10万円/
90万円)
- ◎尼崎21世紀の森構想における官民協働の展開, 兵
庫県立大学平成25年度地域志向教育研究等助成金,
研究代表者(金額50万円)
- ◎多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会
組織のあり方, 兵庫県立大学平成25年度地域志向
教育研究等助成金, 研究分担者(金額60万円)

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 古写真の収集, 養父市・佐用町等。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2013.4, 「ミニ逆さビデオカメラを作ろう」,
博物館(126名)。

赤澤宏樹, 2013.4, 「古写真で学ぶランドスケープとカ

メラづくり」, 博物館 (42名).

赤澤宏樹, 2013.5, 「ミニ逆さビデオカメラを作ろう」, 博物館 (43名).

赤澤宏樹, 2013.6, 「120年前の日本の風景をみよう」, 博物館 (26名).

赤澤宏樹, 2012.8, 「牛乳パックでカメラをつくって写真をとろう」(教職員セミナー), 博物館 (33名).

赤澤宏樹, 2012.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって写真をとろう」(教職員セミナー), 博物館 (20名).

赤澤宏樹, 2013.8, 「立版古をつくろう」, 博物館 (35名).

館外講演など

赤澤宏樹, 2013.5, 「生物多様性の価値から地域づくりへの展開～尼崎21世紀の森づくり～」, パネリスト, 日本造園学会全国大会研究フォーラム, 千葉大学 (50名)

赤澤宏樹, 2013.6, 「アメリカの公園とライフスタイル」, 講師, 阪神シニアカレッジ国際理解コース, 尼崎市中小企業センター (60名)

赤澤宏樹, 2013.6, 「グリーンカーテンで環境改善」, 講師, 伊丹市立西中学校科学部, 伊丹市立西中学校 (18名).

赤澤宏樹, 2013.7, 「公園から広がるライフスタイルと地域づくり」, 講師, 平成25年度兵庫県都市公園整備促進協議会勉強会, 芦屋市役所 (20名).

赤澤宏樹, 2013.7, 「万博公園アセットマネジメント利用者の意識調査(SD法)による『植栽の価値』」, 講師, 万博記念協会 (20名).

赤澤宏樹, 2013.9, 「セントラルパークに学ぶ日本の公園経営」, パネリスト, 「セントラルパーク奇跡の復興プロジェクトと公園経営」～バーロー女史NYセントラルパークを語る&シンポジウム～, 大阪歴史博物館 (300名).

赤澤宏樹, 2013.10, 「『尼崎21世紀の森』におけるマネジメント」, 講師, 有馬富士公開セミナー2013「公園運営」, 関西学院大学 (13名).

赤澤宏樹, 2013.10, 「都市におけるランドデザインとしてみどりの戦略を考える」, コメンテーター, 日本造園学会関西支部シンポジウム, 大阪府立大学 (80名).

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘, 2013.10, 「三田駅北の景観ルールづくり」, 講師, 三田駅北側周辺地区まちづくり協議会, 三輪会館 (25名).

赤澤宏樹, 2013.12, 「地域のコミュニティを育む緑」, 講師, 環境省Ecoカフェミーティング, 名古屋市環境局鳴海工場 (60名).

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘, 2014.1, 「三田地区の景観ルールづくり」, 講師, 三田地区景観まちづくりに向けた区長・自治会長説明会, 中央公民館 (28名).

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘, 2014.2, 「兵庫県立大学COC事業 <多自然地域再生系> と佐用町の皆

さんの連携」, 講師, 平成25年度地域づくり協議会センター長研修, かじかの郷 (20名).

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (分担)

共生博物学 (分担)

ランドスケープ計画特論

非常勤講師

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

ラジオ・テレビ等出演

放送大学「博物館教育論」(12) 第7回 資源の蓄積と公開

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.4 阪神北・南地域 「有馬富士公園フェスティバル」キャラバン

2013.7 但馬地域 「竹野の生き物と古写真展」山陰海岸ジオパーク支援キャラバン

2013.11 阪神北・南地域 「阪神南ふれあいの祭典」キャラバン

副担当

2013.6 神戸地域 「明舞団地ハピネスマーケット」キャラバン

4) 連携事業

協力事業

2014.3 明延まちづくり交流会～明延まるごと博物館の実現に向けて～, NPO 法人一円電車あけのべ.

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.5.28-31, 三田市立けやき台中学校2名, 三田市立藍中学校1名.

学校団体対応

2013.4 宝塚北高校, 40名.

6) 展示

2013.10, 佐用町三河地域古写真展, 佐用町三河地域づくり協議会.

2. シンクタンク事業

1) 行政等支援

委員会等 (計40件)

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神南県民局.

2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.

2009.9- 尼崎市総合計画審議会「あり方検討」専門部会, 委員, 尼崎市.

2009.10- 西宮市都市景観審議会, 委員, 西宮市.

- 2009.10- 西宮市都市景観審議会アドバイザー一部会, 委員, 西宮市.
- 2010.4- 大阪市立長居公園管理運営協議会, 座長, 大阪市.
- 2010.7- 三田市景観形成推進員, 三田市.
- 2010.9- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
- 2011.4- 尼崎 21 世紀の森中央緑地コーディネーター会議, 座長, 尼崎港管理事務所.
- 2011.2- 尼崎市きょう Do 推進検証会議, 副座長, 尼崎市.
- 2012.4- 西武庫公園検討会, コーディネーター, 尼崎市.
- 2012.4- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 尼崎市.
- 2012.4- 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市.
- 2012.4- 宝塚市景観審議会デザイン協議部会, 委員, 宝塚市.
- 2012.4- 阪神南地域ビジョン・シンボルプロジェクト会議, コーディネーター, 阪神南県民局.
- 2012.11- 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市.
- 2012.11- 尼崎市環境審議会・尼崎市環境基本計画改定ワーキンググループ, 委員, 尼崎市.
- 2012.8- 三田市行政改革推進会議, 委員, 三田市.
- 2013.7- 三田市まちづくり基本条例協働委員会, 副委員長, 三田市.
- 2013.7 東住吉区コミュニティ育成事業審査委員会, 委員, 大阪市.
- 2013.7 ふれあいの祭典 県民手づくり事業審査委員会, 委員, 兵庫県.
- 2013.5- 尼崎市公園緑地審議会, 副会長, 尼崎市.
- 2013.5- 尼崎市公園緑地審議会専門部会, 座長, 尼崎市.
- 2013.6- 尼崎の森中央緑地 野の花壇づくりワーキング, コーディネーター, 兵庫県.
- 2013.10- 三田駅北側周辺地区まちづくり推進連絡協議会, アドバイザー, 三田市.
- 2013.10- 兵庫県生物多様性アドバイザー, 兵庫県.
- 2013.11- Eco カフェミーティング検討委員会, 委員, 環境省.
- 2013.11- 体験の機会の場認定制度促進検討委員会, 委員, 環境省.
- 2013.11- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会検討会, 座長, 兵庫県.
- 2014.1-2014.3 第 7 期阪神南地域ビジョン委員審査会, 委員, 兵庫県.
- 2013.12-2014.3 阿倍野区コミュニティ育成事業選定委員会, 委員, 大阪市.
- 2014.1- 三田地区まちづくり推進連絡協議会, アドバイザー, 三田市.
- 2014.2-2014.3 平成 26 年度三田市まちづくり活動支援事業助成金審査会, 委員, 三田市.
- 2014.2- 西宮市都市景観・屋外広告物審議会, 委員, 西宮市.
- 2014.2- 西宮市都市景観・屋外広告物審議会都市景観部会, 委員, 西宮市.
- 2014.2- 西宮市都市景観・屋外広告物審議会景観アドバイザー一部会, 委員, 西宮市.

相談・指導助言

来訪者 30 件, 90 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 50 件.

2) 学会開催等支援

2013.9 造園学会関西支部「セントラルパーク奇跡の復興プロジェクトと公園経営」～バーロー女史 NY セントラルパークを語る&シンポジウム～開催, 300 名.

大平 和弘 OHIRA, Kazuhiro

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員。
昭和60年兵庫県生。大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了。博士（緑地環境科学）。日本
造園学会，環境情報科学センター，農村計画学会，日本
遺跡学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 研究開発部門

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 多自然居住地域におけるランドスケープ・マネジメントに関する研究
2. 文化的景観を支えるまちづくりのあり方に関する研究

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究」，研究分担者。

3) 論文・著書

◎大平和弘・中堀卓・浦出俊和・上甫木昭春（2014）市街化に伴う自治会分割地域における居住者の祭りへの関わり方とコミュニティ意識，ランドスケープ研究,Vol.77(5), 701-706.

4) その他著作

大平和弘（2013）荒磯模した庭園、荒野のような人工磯 ～石材をめぐるこぼれ話～，日本遺跡学会，Vol.10,66.

5) 研究発表

◎大平和弘・浦出俊和・上甫木昭春（2013）南大阪の砂浜における底生生物の群集構造から捉えたウミホタルの指標種としての有用性 日本造園学会全国大会，千葉大学，千葉県。

◎田原直樹・赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘（2014）多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会組織のあり方。兵庫県立大学COC事業研究発表会，ラッセホール，兵庫県。

6) 学会役員など

日本造園学会，論文校閲委員。
日本造園学会，平成25・26年度造園技術報告集委員会，委員。
日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産研究会，世話人（兵庫県担当）

7) 助成を受けた研究

多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会組織のあり方，兵庫県立大学平成25年度地域志向教

育研究等助成金，研究分担者（金額60万円）
尼崎21世紀の森構想における官民協働の展開，兵庫県立大学平成25年度地域志向教育研究等助成金，研究代表者（金額50万円）

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

- 2013.10-2014.3 古写真の収集，養父市等。
- 2013.10-2014.3 習俗および祭りの映像記録収集，兵庫県下。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- 大平和弘，2013.10，「ひとはくと環境」，博物館。（52名）
- 大平和弘，2013.11，「ゴミの力，自然の力」，博物館。（15名）

館外講演

- 赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘，2013.10，「三田駅北の景観ルールづくり」，講師，三田駅北側周辺地区まちづくり協議会，三輪会館（25名）。
- 赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘，2014.1，「三田地区の景観ルールづくり」，講師，三田地区景観まちづくりに向けた区長・自治会長説明会，中央公民館（28名）。
- 赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘，2014.2，「兵庫県立大学COC事業 <多自然地域再生系> と佐用町の皆さんの連携」，講師，平成25年度地域づくり協議会センター長研修，かじかの郷（20名）。
- 大平和弘，2014.3，「大阪湾見守りネットの役割と今後の展望」，大阪市立自然史博物館（250名）。
- 大平和弘，2014.3，「文化的景観からのまちづくり」，あけのべ自然学校（55名）

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習（分担）

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

2013.11 阪神北・南地域 「阪神南ふれあいの祭典」キャラバン（分担）

3) 連携事業

協力事業

2014.3 明延まちづくり交流会～明延まるごと博物館の実現に向けて～，NPO 法人一円電車あけのべ。

4) 展示

2013.10，佐用町三河地域古写真展，佐用町三河地域づくり協議会。

2. シンクタンク事業

1) 行政等支援

委員会等（計2件）

- 2013.10- 三田市景観形成推進員，三田市。
- 2013.10- 三田駅北側周辺地区まちづくり推進連絡協議会，アドバイザー，三田市。

田原 直樹 TAHARA, Naoki

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究
部門 教授。
昭和28年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科博士
課程修了。工学博士（大阪大学）。日本造園学会，日本
都市計画学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>
次長（研究系）、部長代理

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化に関する考察

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景
観の評価に関する研究」，研究分担者。

3) 論文・著書

田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上甫木昭春（2014）
江戸期大阪臨海部新田開発地域における集落形成につ
いて，ランドスケープ研究，77（5），日本造園学会，
565-568.

4) 研究発表

田原直樹・赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘
（2014）多自然居住地域の地域づくり主体として
の協議会組織のあり方。兵庫県立大学COO事業
研究発表会，ラッセホール，兵庫県。

5) 学会役員など

日本造園学会，校閲委員。
日本都市計画学会，校閲委員。
環境情報科学センター，校閲委員。

6) 助成を受けた研究

◎多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会
組織のあり方，兵庫県立大学平成25年度地域志向
教育研究等助成金，研究代表者（金額60万円）

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 古写真の収集，養父市・佐用町等。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

田原直樹，2013.4，「都市の歩き方・名所編 難波か
ら四天王寺へ」，大阪市（17名）
田原直樹，2013.4，「都市の歩き方・名所編 梅田か
ら天満橋へ」，大阪市（16名）
田原直樹，2013.6，「都市の歩き方・名所編 天満橋

から中之島へ」，大阪市（16名）

田原直樹，2013.8，「地域や学校で取り組む環境保全
と学習」，博物館（19名）

田原直樹，2013.8，「都市の歴史から考える人と自然」，
博物館（12名）

田原直樹，2013.10，「都市の歩き方・街道編 熊野
街道を住吉大社から堺東へ」，大阪市・堺市（15
名）

田原直樹，2013.11，「都市の歩き方・古地図編 大
阪市大正区界隈を歩く」，大阪市（17名）

館外講演

田原直樹，2013.4，「景観まちづくりのための屋外広
告物のあり方-創造農村を目指して-」，篠山市景観
フォーラム，コーディネータ，篠山市市公民館（30
名）。

田原直樹，2014.1，「名所図会にみる江戸期から現在
までの植生の変化」，講師，姫路市立生涯学習大学
校（50名）。

田原直樹，2014.2，「都市の緑と人とのかかわり」，講
師，姫路市立生涯学習大学校（50名）。

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習

2) 連携事業

協力事業

2014.3 明延まちづくり交流会～明延まるごと博物
館の実現に向けて～，NPO法人一円電車あけのべ。

2. シンクタンク事業

1) 行政等支援

委員会等（計17件）

2013.4-9. 揖保川流域委員会，委員，国土交通省近
畿地方整備局。

2013.4-。兵庫県国土利用計画審議会，委員，兵庫
県。

2013.4-。中播磨地域ビジョン委員会，専門委員，
兵庫県中播磨県民局。

2013.11-。兵庫県高大連携等連絡協議会，会長，兵
庫県教育委員会。

2013.4-。加古川東高校SSH運営指導委員会，委員，
兵庫県教育委員会。

2013.4-。姫路市都市計画審議会，会長代理，姫路
市。

2013.4-。姫路市景観・広告物審議会，会長代理，
姫路市。

2013.4-。イベントゾーン基本計画検討懇話会，副
委員長，姫路市。

2013.4-。コアゾーン等開発提案競技審査委員会，
副委員長，姫路市。

2013.4-。姫路駅前放置自転車対策協議会，会長，
姫路市。

2013.12-。地域審議会公募委員選考会議，審査委員，
姫路市。

2013.4-2014.3. 姫路港網干西地区（木材港）利用計
画検討協議会，会長，姫路市。

- 2013.4ー. 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.
2013.4ー. 加西市土地利用調整委員会, 会長, 加西市.
2013.12ー. 篠山市都市計画審議会, 委員, 篠山市.
2013.4ー. 丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森協会.
2013.4ー. 丹波 OB 大学運営委員会, 委員, (財) 丹波の森協会.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 30 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5 件.

山崎 義人 YAMAZAKI, Yoshito

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/地域
展開推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究
部門 講師.

昭和47年神奈川県生. 早稲田大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本
都市計画学会、農村計画学会、日本生活学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

地域展開推進室 地域展開マネージャー・担当 地
域担当(丹波地域担当)

2. 研究開発部門

生涯学習推進室、ジオパーク推進 M 担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 集落持続に向けた民俗慣行にみる居住継承システ
ムの解明
2. 市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究
3. スマトラ島西部地震からの集落再建プロセスの空
間論的比較分析
4. アーバン・レジリエンスの研究

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景
観の評価に関する研究」, 研究分担者.

3) 論文・著書

- ◎山崎義人、市古太郎、長谷川庄司、中林一樹(2013)
空間的な利用状況から見るコアハウスの有用性
-2009年スマトラ島西部地震被災地である
Pariaman 県 Lima Koto Timur 郡 Talam 集落を事例
として-, 日本建築学会技術報告集第43号,
1231-1234
- ◎内平隆之、山崎義人、三笠友洋、田中貴宏、重村
力(2013) 小字区域に着目した谷戸の基礎的単位
の抽出とその特徴 -横浜市戸塚区旧川上村を事
例に-, 日本建築学会計画系論文集, 2507-2512
- ◎佐久間康富、山崎義人、水野優子、柴田祐、栗山
尚子、嘉名光市(2013) 「「アーバン・デザイン甲
子園」の取り組みと評価の特徴」, 日本建築学会技
術報告集
- ◎山崎義人(2013) 国府集落における隠居慣行の変
容と居住継承との関係, 日本建築学会第8回住宅
系研究報告会論文集, 95-102

4) その他著作

- 山崎義人(2013) 地域を継承させる住まい方 坊勢
島の住み替えから, 住宅会議, 88号, 43-47
- 山崎義人(2013) 地域継承論ノート, 早稲田まちづ

くりシンポジウム2013資料, 47-49

5) 研究発表

田中陽朗・山崎義人・赤澤宏樹・中瀬勲(2013) 市
街地の住環境の向上に向けた農業用水路の活用
に関する研究~尼崎市の農業用水路の行政と住民団
体の利用・管理に着目して~. 日本都市計画学会
学術論文発表会, 法政大学, 東京都.

6) 学会役員など

- 日本建築学会, 農村計画委員会, 委員.
- 日本建築学会, 農村計画委員会, ルーラルネット WG,
幹事
- 日本建築学会, 農村計画委員会, 集落居住小委員会, 主
査
- 日本建築学会, 農村計画委員会, 中山間地域組織小委
員会, 委員
- 日本建築学会, 近畿支部, 農村計画部会, 委員
- 日本建築学会, 近畿支部, 都市計画部会, 委員
- 日本建築学会, 東日本復興支援本部・復旧復興支援部
会・委員
- 日本建築学会, 奨励賞選考委員会・委員
- 日本都市計画学会, 学術委員会・委員
- 日本都市計画学会, 関西支部, 幹事
- 日本都市計画学会, 関西支部, 国際交流委員会, 副委員
長
- 日本都市計画学会, 関西支部, 東日本震災復興都市づ
くり特別委員会・委員
- 農村計画学会, 査読委員会, 委員
- 日本建築学会卒業論文等顕彰事業委員会・委員

7) 助成を受けた研究

スマトラ島西部地震からの現地斬進型と集落移転型
集落再建プロセスの空間論的比較分析文部科学省
科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額70万
円/400万円).

8) 海外調査

2013.9 インドネシア

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- 山崎義人, 2013.4 「体感、三角の力。多面体おもちゃ
をつくります-テンセグリティ編-」, 演示 B, 博物館
(約23名)
- 山崎義人, 2013.4 「体感、三角の力。割り箸を組んで、
乗ってみます-トラス編-」, 演示 B, 博物館 (約35
名)
- 山崎義人, 2013.4 「体感、三角の力。小さな家つく
ります-ドーム編-」, 演示 B, 博物館 (約26名)
- 山崎義人, 2013.6 「むらやまち」, 博物館, 県立有馬高
等学校連携 (40名)
- 山崎義人, 2013.7 「ペーパークラフト「アジアの家」
モンゴルの家」, 演示 B, 博物館 (約5名)
- 山崎義人, 2013.7 「ペーパークラフト「アジアの家」

インドネシアの家」, 演示 B, 博物館 (約 3 名)
山崎義人, 2013.7 「ペーパークラフト「アジアの家」
タイの家」, 演示 B, 博物館 (約 1 名)
山崎義人, 2013.8 「体感、三角の力。小さなお家つ
ります-ドーム編-」, 演示 B, 博物館 (約 9 名)
山崎義人, 2013.8 「体感、三角の力。割り箸を組んで、
乗ってみます-トラス編-」, 演示 B, 博物館 (約 15
名)
山崎義人, 2013.8 「体感、三角の力。」, 演示 B, 博物館
(約 44 名)
山崎義人, 2013.11 「風と集落」, 博物館, 県立有馬高
等学校連携 (47 名)

2) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.5.28-31, 三田市立けやき台中学校 2 名, 三田市
立藍中学校 1 名

2. シンクタンク事業

1) 行政支援

委員会等 (計 5 件)

2012.4-。森の学校復活大作戦実行委員会, 委員, 篠山
市環境課.

2012.5-。山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村
会議」アドバイザー, 山陰海岸時オーパーク推進
協議会

2012.6-。山陰海岸ジオパーク学術部会・委員, 山
陰海岸時オーパーク推進協議会

2012.7-。ほどらいのあさご暮らし推進協議会, 構成
員, 朝来市.

2012.7-。竹田たけづかい協議会, 構成員, 朝来市.

上田 萌子 UEDA, Moeko

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ
研究員

昭和 57 年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了. 博士（緑地環境科学）. 日本
造園学会, 環境情報科学センター所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

ゆめはくマネージャー（阪神・丹波地域調整担当,
ゆめはくパンフレット製作・HP 整備担当）, アウ
トリーチ淡路地域担当

2. 研究開発部門

会計担当, 部門研究調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究（個人研究）

1. 塩沼海岸の景観変遷と住民の管理活動に関する
研究
2. 近世の絵図を用いた環境文化の把握

2) 共同研究

部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景
観の評価に関する研究」, 研究分担者.

3) 論文・著書

- ◎上田萌子・上甫木昭春（2013）暖温帯における塩
生植物群落の分布特性に関する研究. 環境情報科
学学術研究論文集, 27, 11-16.
- ◎上田萌子・服部保・上甫木昭春（2014）成ヶ島に
おける塩生植物群落の種組成と地形条件および保
全活動との関係. ランドスケープ研究（オンライ
ン論文集）, 7, 20-27.
- 上田萌子・服部保・澤田佳宏・上甫木昭春（2014）
暖温帯における塩沼地低木林とその後背地の自然
林に関する研究. ランドスケープ研究, 77(5),
587-592.

- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2014）
尼崎 21 世紀の森構想における官民協働による緑
の創出, ランドスケープ研究, 77(5), 707-712.
- ◎田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上甫木昭春（2014）
江戸期大阪臨海部新田開発地域における集落形成
について, ランドスケープ研究, 77(5), 565-568.

4) その他著作

- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2013）尼
崎 21 世紀の森構想における官民協働による緑の
創出. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表
要旨集, 23-24.
- ◎半田久美子・三枝春生・池田忠広・小林文夫・佐
藤裕司・武田重昭・上田萌子・阪上勝彦・八尾滋
樹・小林美樹・西岡敬三・古谷裕・高橋晃・太田
英利・中瀬勲（2013）ひょうご恐竜化石国際シン

ポジウム実施報告. 人と自然, 24, 51-62

- ◎上田萌子（2014）専門委員メッセージ. 夢じゃー
なる（阪神北地域ビジョン委員会だより）, Vol.27,
3

5) 研究発表

- ◎上田萌子・田原直樹・上甫木昭春（2013）近世前
期の絵図とボーリングデータから捉えた大阪湾の
干拓地域における浅海域の変遷. 日本造園学会全
国大会, 千葉大学, 千葉県.
- ◎上田萌子・上甫木昭春（2013）暖温帯における塩
生植物群落の分布特性に関する研究. 環境情報科
学学術研究論文発表会, 日本大学会館, 東京都.
- ◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2013）尼
崎 21 世紀の森構想における官民協働による緑の
創出. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表
会, 大阪府立大学, 大阪府.
- ◎田原直樹・赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平
和弘（2014）多自然居住地域の地域づくり主体と
しての協議会組織のあり方. 兵庫県立大学 C O C
事業研究発表会, ラッセホール, 兵庫県.

6) 学会役員など

平成 25 年度日本造園学会関西支部大会実行委員会,
実行委員.

7) 助成を受けた研究

- 伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラ
の継承システムに関する研究. 文部科学省科学研
究費基盤研究(C), 研究分担者（金額 25 万円/208
万円）
- 都市近接の沿岸域における塩性湿地のマネジメント
手法の検討. 公益財団法人クリタ水・環境科学振
興財団平成 25 年度国内研究助成, 研究代表者（金
額 49 万円）
- 多自然居住地域の地域づくり主体としての協議会組
織のあり方, 兵庫県立大学平成 25 年度地域志向教
育研究等助成金, 研究分担者（金額 60 万円）
- 尼崎 21 世紀の森構想における官民協働の展開, 兵庫
県立大学平成 25 年度地域志向教育研究等助成金,
研究分担者（金額 50 万円）

8) 賞罰

日本造園学会全国大会 ベストペーパー賞

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 地形図の収集（近畿地方など）.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- 上田萌子, 2013.5, 「オープンセミナー 浮世絵を使
って立体カードをつくらう」, 博物館. (43 名)
- 上田萌子, 2013.6, 「成ヶ島散策ツアー初夏編」, 洲
本市. (20 名)
- 上田萌子, 2013.6, 「特注セミナー 博物館の資料と

情報処理システムの概要」,大阪府立大学生命環境科学部,博物館。(19名)

鈴木武・上田萌子・布野隆之・阪上勝彦,2013.6,「特注セミナー 生物系収蔵庫や魅せる収蔵庫の見学」,大阪府立大学生命環境科学部,博物館。(19名)

上田萌子,2013.7,「特注セミナー 深田公園について」,三田市立弥生小学校,博物館。(38名)

上田萌子,2013.8,「教職員セミナー 成ヶ島の環境保全活動を学ぶ」,洲本市。(9名)

田原直樹・上田萌子,2013.8,「教職員セミナー 地域や学校で取り組む環境保全と学習」,博物館。(19名)

高野温子・上田萌子,2013.9,「特注セミナー 展示解説」,兵庫県立大学外国人留学生研修旅行,博物館。(36名)

上田萌子,2013.10,「オープンセミナー 浮世絵を使って立体カードをつくろう」,博物館。(32名)

上田萌子,2013.11,「成ヶ島散策ツアー秋編」,洲本市。(7名)

上田萌子,2013.11,「特注セミナー 深田公園について」,三田市立弥生小学校,博物館。(23名)

上田萌子,2013.12,「オープンセミナー 浮世絵を使って立体カードをつくろう」,博物館。(22名)

上田萌子,2013.12,「ペーパークラフトで学ぶ広重の風景版画の世界 正月編」,博物館。(2名)

上田萌子,2014.3,「オープンセミナー アニメーションをつくろう」,博物館。(60名)

館外講演

上田萌子,2013.10,「淡路のマングローブ・ハマボウ大群落」,講師,ひょうご講座2013,兵庫県民会館(30名)

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘,2013.10,「三田駅北の景観ルールづくり」,講師,三田駅北側周辺地区まちづくり協議会,三輪会館(25名).

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘,2014.1,「三田地区の景観ルールづくり」,講師,三田地区景観まちづくりに向けた区長・自治会長説明会,中央公民館(28名).

上田萌子,2014.3,「第4回全体会」,コメンテーター,阪神北地域ビジョン委員会,ふらざこむ1(35名).

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習(分担1回)

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.7-9 淡路地域 ひとつはくキャラバン in 淡路
ハイウェイオアシス

副担当

2013.9 阪神北・南地域 ひとつはくキャラバン in
伊丹市立天王寺川中学校

2013.11 阪神北・南地域 阪神南ふれあいの祭典

3) ミニキャラバン事業

2013.4, 移動博物館「ゆめはく」がやってきた!(分担者), JAF 兵庫支部尼崎事務所, 尼崎市

2013.10, 秋の恵み展 特別イベント(主担当), 青垣いきものふれあいの里, 丹波市.

2013.11, 淡路うずしおフェスティバル2013(主担当), 国立淡路青少年交流の家, 南あわじ市

4) 連携事業

協力事業

2014.3 明延まちづくり交流会~明延まるごと博物館の実現に向けて~, NPO 法人一円電車あけのべ.

その他

2013.8, 三田ホテル主催イベントの企画協力および調整

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.5.28-31, 三田市立けやき台中学校2名, 三田市立藍中学校1名.

遠隔授業

2013.5-2014.2, 「上郡発見伝 ~残そう地域の遺産~」, 兵庫県立大学附属中学校3年生.(5名)

6) 研修生等の受入

県庁インターンシップ

2013.8.27-8.28, 県立川西明峰高等学校2名.

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル「まんぷくストーリー」(責任者).

8) 展示

ミニ企画等

2013.11.9-2014.1.5, トピックス展「古絵図とボーリングデータから探る大阪湾」(責任者)

2. シンクタンク事業

1) 収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫の案内, 5回, 22名.

2) 行政等支援

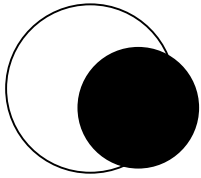
委員会等 (計2件)

2010.8-, 三田市景観形成推進員, 三田市

2013.4-, 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県阪神北県民局.

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談15件, メール相談10件.



個人別成果報告に関する資料

No. 6

●自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

生物多様性保全研究グループ

石田 弘明 ISHIDA, Hiroaki

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 准教授.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 博士(農学). 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会, 森林立地学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

シンクタンク推進室長および播磨地域担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

森林群落, 特に照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性とその保全・復元・再生に関する研究
絶滅危惧植物の保全に関する研究

2) 共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

3) 論文・著書

◎石田弘明・黒田有寿茂・栃本大介・江間 薫 (2013) 兵庫県北部の棚田, 放棄棚田, 圃場整備水田における畦畔法面草原の生態的特性の比較. 植生学会誌, 30:51-69.

Kuroda, A., Ishida, H., Hashimoto, Y., Takeda, Y., Tamura, K., Iwakiri, K., Wu, S., Iwatsuki, K. & Hattori, T. (2013) Impacts of human activities on species diversity, species composition, and cover of pteridophytes: A comparison of natural evergreen broad-leaved forests and secondary deciduous broad-leaved forests in south Yunnan, China. *Vegetation Science*, 30:71-82.

4) その他著作

◎石田弘明・矢倉資喜・塩谷智也 (2013) 鹿児島県栗野岳における希少樹種エドヒガンの生育立地と個体群構造. 人と自然, 24:45-49.

◎石田弘明 (2013) エドヒガンと水明台の森によせて. 溪の四季に咲く花, 64. 溪のサクラを守る会.

◎藤原千鶴・田村和也・辻 秀之・石田弘明・南山典子・塚原 淳・守 宏美・服部 保 (2013) 尼崎の森中央緑地における地域性苗による森づくりの現状. 人と自然, 24:123-134.

5) 研究発表

◎石田弘明 (2013) 兵庫県北部の森林伐採跡地に分布する外来木本ニワウルシ群落の構造と種組成. 植生学会第18回大会, 仙台市戦災復興記念館, 仙台.

◎半田久美子・加藤茂弘・石田弘明 (2013) 宝塚市丸山湿原の花粉化石群と微粒炭. 日本植生史学会第28回大会, 高知大学, 高知.

6) 学会役員など

植生学会, 会計幹事.

植生学会, 企画委員

植生学会, 将来計画委員

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

土木学会論文集G(環境) 環境システム研究論文集, 論文査読 (2013年4月)

Ecological Research, 論文査読 (2013年6月)

植生学会第18回大会口頭発表およびポスター発表審査 (2013年10月)

7) 助成を受けた研究

照葉樹林の自然性および種多様性の復元に関する基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C, 研究代表者(金額130万円).

8) 賞罰

2013年度植生学会論文賞

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 三田市, 川西市, 香美町, 南あわじ市, 東京都.

2) 整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2013.4, 「キャラバンセミナー エドヒガンの追跡調査」, 菊炭友の会, 川西市. (12名)

石田弘明, 2013.5, 「春の里山で植物を観察しよう」, 兵庫県立兎和野高原野外教育センター, 香美町. (23名)

石田弘明, 2013.5, 「特注セミナー 里山林のはなし」, 武庫川女子大学附属中学校, 川西市. (65名)

石田弘明, 2013.6, 「オープンセミナー いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (30名)

石田弘明, 2013.6, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 西宮市立東山台小学校, 博物館. (109名)

石田弘明, 2013.6, 「日本の自然林」, 博物館. (18名)

石田弘明, 2013.7, 「キャラバンセミナー ひとつはキャラバン in 加西の展示解説①」, 加西市. (18名)

石田弘明, 2013.7, 「キャラバンセミナー ひとつはくキャラバン in 加西の展示解説②」, 加西市. (16名)
石田弘明, 2013.8, 「オープンセミナー いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (45名)
石田弘明, 2013.9, 「里山林とはなにか」, 博物館. (47名)
石田弘明 (分担), 2013.9, 「特注セミナー 南公園里山講座(第2回)」, 三田市公園みどり課, 三田市. (33名)
石田弘明, 2013.9, 「特注セミナー エドヒガンのはなし」, 川西市立陽明小学校, 博物館. (53名)
石田弘明, 2013.10, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 猪名川町立白金小学校, 博物館. (125名)
石田弘明, 2013.10, 「キャラバンセミナー エドヒガンの追跡調査」, 菊炭友の会, 川西市. (6名)
石田弘明, 2013.10, 「特注セミナー 南公園植物観察会」, NPO 法人人と自然の会, 三田市. (7名)
石田弘明 (分担), 2013.11, 「特注セミナー 南公園里山講座(第3回)」, 三田市公園みどり課, 三田市. (30名)
石田弘明, 2013.11, 「特注セミナー 博物館と研究」, 兵庫県立八鹿高等学校, 博物館. (42名)
石田弘明, 2013.12, 「特注セミナー 山東町の自然について」, 山東公民館ふるさと探険隊, 博物館. (20名)
石田弘明, 2013.12, 「特注セミナー 収蔵庫見学ツアー」, 山東公民館ふるさと探険隊, 博物館. (20名)
石田弘明, 2013.12, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 川西市立明峰小学校, 博物館. (203名)
石田弘明, 2013.12, 「オープンセミナー いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (19名)

館外講演

石田弘明, 2014.4, 「エドヒガン花見ツアー」, 講師, 国崎クリーンセンター普及啓発施設ゆめほたる, 川西市 (38名).
石田弘明, 2013.4, 「エドヒガンの保全と里山管理」, 講師, 溪のサクラを守る会, 川西市 (50名).
石田弘明, 2013.5, 「河川敷の野草観察会 in 猪名川」, 講師, 伊丹市, (15名).
石田弘明, 2013.7, 「シカの増加による森林の被害」, 講師, 加西市教育委員会, 加西市 (54名).
石田弘明, 2013.7, 「世界の植生①熱帯雨林の自然」, 講師, 姫路生涯学習大学校, 姫路市 (70名).
石田弘明, 2013.8, 「生物多様性を学ぶ-生物との共生を目指して-」, 講師, 宝塚市環境政策課, 宝塚市 (12名).
石田弘明, 2013.9, 「宝塚の自然の特徴と課題」, 講師, 宝塚市教育委員会, 宝塚市 (120名).
石田弘明, 2013.9, 「第4回 北摂里山大学」, 講師, 阪神北県民局, 川西市, (30名).
石田弘明, 2013.9, 「瀬川平・兎野ネイチャーウォッチング」, 講師, 兵庫県立兎野高原野外教育センター, 香美町 (50名).
石田弘明, 2013.9, 「秋の里山観察会 in 国崎クリーンセ

ンター-里山の植物と里山文化」, 講師, 国崎クリーンセンター普及啓発施設ゆめほたる, 川西市 (20名).
石田弘明, 2013.10, 「武田尾溪谷の植物」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市 (15名).
石田弘明, 2013.10, 「武庫川の植物」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市 (31名).
石田弘明, 2013.10, 「河川敷の野草観察会 in 猪名川」, 講師, 伊丹市, (6名).
石田弘明, 2013.11, 「北摂里山サポーターズクラブ 北摂里山見学ハイキング」, 講師, 阪神北県民局, 川西市, (26名).
石田弘明, 2013.11, 「川西市「日本一の里山を生かしたまちづくり視察」ツアー」, 講師, 兵庫県シンクタンク等協議会, 川西市, (12名).
石田弘明, 2014.2, 「川西市の自然の特徴と課題」, 講師, 溪のサクラを守る会, 川西市, (35名).
石田弘明, 2014.3, 「兵庫県川西市での里山整備の事例」, 講師, 東京海上日動リスクコンサルティング (株), 岡山市, (40名).

兵庫県立大学・大学院教育

2013.9 兵庫県立大学 講義「共生生物学」(分担)
2013.12 (計4日) 大学院環境人間学研究科 講義「植生学特別演習」
2013.12 大学院環境人間学研究科 博士前期課程・修士論文審査 (副査1名)
2013.5-8 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士前期課程 (A日程) 専門科目 (専門II) の出題委員および採点委員
2014.2 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士前期課程 (B日程) 専門科目 (専門I) の出題委員および採点委員
2014.2 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士前期課程 (B日程) 一般選抜および特別選抜 (社会人) の口述試験面接委員

非常勤講師

なし
ラジオ・テレビ等出演
なし

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013.7-8 ひとつはくキャラバン in 道の駅みき

副担当

2013.7 ひとつはくキャラバン in 加西市

セミナー担当

2013.4, 「エドヒガンの追跡調査」, 川西市. 責任者 (12名).
2013.7, 「ひとつはくキャラバン in 加西の展示解説①」, 加西市. 責任者 (18名).
2013.7, 「ひとつはくキャラバン in 加西の展示解説②」, 加西市. 責任者 (16名).
2013.10, 「エドヒガンの追跡調査」, 川西市. 責任者 (6名).

3) ミニキャラバン事業

2013.4, ミニキャラバン in JAF 尼崎事務所 (分担者),
JAF 尼崎事務所, 尼崎市.
2013.4, ミニキャラバン in ありまふじフェスティバル
(責任者), 兵庫県立有馬富士公園, 三田市.
2013.4, ミニキャラバン in 三田ホテル (責任者), 三田
ホテル, 三田市.
2013.8 ひとつはくキャラバン in 姫路市立南大津公民館

4) 連携事業

連携グループ等

山東の自然に親しむ会 (アドバイザー: 主)
菊炭友の会 (アドバイザー: 主)
櫻守の会 (アドバイザー: 主)

共催事業

2013.12 第7回生物多様性協働フォーラム, 京都府・
京都市 (分担者)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6 丹波市立山南中学校 (2名), 篠山市立篠山中
学校 (1名), 篠山市立丹南中学校 (2名)

学校団体対応

2013.5 武庫川女子大学附属中学校 (65名)
2013.6 西宮市立東山台小学校 (109名)
2013.6 西宮市立東山台小学校 (109名)
2013.9 兵庫県立有馬高等学校 (47名)
2013.9 川西市立陽明小学校 (53名)
2013.10 猪名川町立白金小学校 (125名)
2013.11 兵庫県立八鹿高等学校 (42名)
2013.12 川西市立明峰小学校 (203名)

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8, 神戸芸術工科大学先端芸術学部学生1名、近
畿大学農学部学生1名.

7) フェスティバル等

2013.11, ひとつはくフェスティバル「ミュージアムコン
サート」(分担者).

8) 展示

ミニ企画等

2013.6.8-6.30, ミニ企画展「写真展 北摂里山を彩る
花々ー里山桜と山野草たちー」(責任者).

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センタ
ー. 研究代表者 (25万円)
「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成
業務」. 三田市. 研究分担者 (40万円)
「平成25年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における
生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス株式会社. 研究
部分担者 (130万円).
「加西市における「ひとつはくキャラバン」の実施とそ
の評価業務」. 加西市. 研究分担者 (23万円)

2) 行政等支援

委員会等 (計3件)

2013.4-2014.3. 野生動物育成林整備事業アドバイザー,

兵庫県豊かな森づくり課.

2013.7-2014.3. 兵庫県シンクタンク等協議会幹事, 兵
庫県シンクタンク等協議会.

2013.9-2014.3. 津名東太陽光発電事業アドバイザー,
株式会社ユーラスエナジー淡路.

相談・指導助言

来訪者10件, 25名. 電話・FAX相談10件, メール相
談20件.

3) 学会開催等支援

2013.6 日本展示学会第32回大会 (分担者)

小館 誓治 KODATE, Seiji

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室 副室長

キッズひとはく推進室タスクフォース リーダー
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
助教。

昭和37年福岡県生。神戸大学大学院自然科学研究科博士
課程修了。学術博士。森林立地学会、植生学会、日本ペ
ドロロジー学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 室長

2.タスクフォース

キッズひとはく推進プロジェクト

プロジェクトリーダー、JST「ネットワーク形成先
進的科学館連携型」事業の事務局担当・実施担当・
科学コミュニケーター

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎小館誓治(2013), 尾根型斜面地におけるマツ枯れ被
害度と土壌環境との関係。人と自然, 24:1-7.

■その他著作

小館誓治・高瀬優子・古谷裕・布施静香(2013), ひと
はく Kids キャラバンのめざすもの～博物館と幼稚園、
児童館、高齢者大学等をつなぐ。全科協NEWS,
vol.43・No.5:4.

■ブログへの情報提供

3件

■研究発表

Seiji KODATE, Yuko TAKASE, Hiroshi FURUTANI,
Shizuka FUSE(2013) Outreach Education of the Museum
of Nature and Human Activities, Hyogo -Partnership
with the Museum and the Senior College-, AZEC 2013
(第4回アジア動物園教育担当者会議、第54回日本
動物園水族館教育研究会)(ポスター発表), マリン
ワールド海の中道, 福岡.

2.資料収集・整理

■資料収集

2013.4-2014.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料
収集。神戸市、芦屋市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治, 2013.4, 「ちょっと観察!この植物(春の
植物)」, 博物館・深田公園(7名).

◎小館誓治, 2013.5, 「六甲山「森の植物」観察会(春)」,
六甲山(11名).

◎小館誓治, 2013.5, 「わくわくネイチャー・テクノロ
ジー 自然ってすごい!~水をはじくもの」, 博物館
(23名).

◎小館誓治, 2013.6, 「太山寺周辺の樹林で多様性を
知る」, 神戸市・太山寺(16名).

◎小館誓治, 2013.7, 「森と土の観察会(再度山編)」,
神戸市・再度山(7名).

◎小館誓治, 2013.8, 夏季教職員セミナー「小さな子
どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方」, 博
物館・深田公園(29名).

◎小館誓治, 2013.9, 「わくわくネイチャー・テクノロ
ジー 自然ってすごい!~木や草のふしぎ~植物ス
トロー」, 博物館(25名).

◎小館誓治, 2013.10, 「わくわくネイチャー・テクノロ
ジー 自然ってすごい!~木や草のふしぎ~マツの
葉っぱとクリのイガ」, 博物館(21名).

◎小館誓治, 2013.10, 「ちょっと観察!この植物(秋
の植物)」, 博物館(13名).

◎小館誓治, 2013.11, 「六甲山「森の植物」観察会(秋)」,
六甲山(13名).

◎小館誓治, 2013.11, 「芦屋市奥山地域の樹林で多
様性を知る」, 芦屋市(25名).

◎小館誓治, 2014.1, 「わくわくネイチャー・テクノロ
ジー 自然ってすごい!~松のすごい~(1)」, 博物館
(13名).

◎小館誓治, 2014.1, 「わくわくネイチャー・テクノロ
ジー 自然ってすごい!~松のすごい~(2)」, 博物館
(29名).

◎小館誓治, 2014.2, 「ちょっと観察!この植物(冬
の植物)」, 博物館(16名).

館外講演

小館誓治,2013.7,「植物の観察の仕方」, ミツカン吉川ビ
オトープボランティア, 講師, 三木市(15名).

小館誓治, 2013.8, 「身近な「葉っぱ」を観察しよう!」,
三田市委員会 三田サイエンスフェスティバル実行
委員会, 講師, 三田市(40名)

小館誓治, 2013.9, 「六甲山の植物観察とその手法を学
ぶ」, 平成25年度六甲山自然案内人養成研修プロ
グラム入門コース, 講師, 六甲山(50名).

小館誓治, 2013.10, 「ビオトープの植物観察」, こうべ
環境未来館講座, 講師, 神戸市.(15名).

小館誓治, 2013.10, 現地調査Ⅱ『地域の自然を知る』「
里山林の自然観察」, 阪神ひと・まち創造講座2年生,
講師, 三田市.(30名).

小館誓治, 2013.11, 「植物の観察方法(役に立つ植物と

怖い植物)」、いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース、講師、宝塚市。(25名)。

小館誓治, 2013.11, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」、いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース、講師、宝塚市。(28名)。

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2013. 5 特別展「わくわくネイチャー・テクノロジー 生きものってすごい!」、赤穂市立海洋科学館、赤穂市(4921名)

2013. 7 ひとつはく Kids キャラバン in 三田(キッズポート保育園), 三田市(98名)

2013. 8 ひとつはく Kids キャラバン in 神戸(有野児童館), 神戸市立有野児童館, 神戸市(17名)

2013. 12 ひとつはく Kids キャラバン in 宝塚(御殿山児童館), 宝塚市立御殿山児童館, 宝塚市(26名)

2014. 1 ひとつはく Kids キャラバン in 伊丹(ささはら幼稚園), 伊丹市立ささはら幼稚園, 伊丹市(80名)

分担者

2013. 6 ひとつはく復興支援プロジェクト「タネで遊ぼう」、仙台市農業園芸センター, 仙台市(306名)

2013. 6 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 福島」、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館, 福島市(243名)

2013. 6 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 岩手」(2日間), 岩手県立博物館, 盛岡市(519名)

2013. 7 ひとつはく復興支援プロジェクト「ひとつはく Kids キャラバン in 伊達」、梁川天神社, 伊達市(50名)

展示制作

2013. 5 ネイチャー・テクノロジー関連展示

セミナー担当

2013. 7 大きくしてみてみよう(植物の観察) 『しぜんとあそぼう』ムシと葉っぱのワクワク大発見!! (2日間)(フレミラ宝塚), 宝塚市

2013. 11 いろいろなタネ 「フレミラ秋まつり」(フレミラ宝塚), 宝塚市

2014. 3 野草の観察「山野草を観察して、ヨモギだんごをつくろう!」(フレミラ宝塚), 宝塚市

■地域研究員養成事業

セミナー

2013. 5-2014. 3 阪神北地域(宝塚市), しぜんクラブ定例「小さな子どもの指導者向け講座」(全16回)(フレミラ宝塚, 講師)

2013. 7 阪神北地域(三田市), ダンゴムシについて(キッズポート保育園, 講師)

2013. 8 神戸地域(神戸市), セミについて(神戸市立有野児童館, 講師)

2013. 11 阪神北地域(宝塚市), 児童館の周りの植物について(宝塚市立御殿山児童館, 講師)

2013. 12 阪神北地域(宝塚市), タネについて(宝塚

市立御殿山児童館, 講師) 2013. 7

2014. 2 阪神北地域(三田市), ダンゴムシについて(北摂第一幼稚園, 講師)

■連携事業

連携グループ等

北播磨自然観察サポーターチーム「おおぼこの会」(アドバイザー)

増井啓治(地域研究員アドバイザー副担当)

共催事業

2013.5-2014.3「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他(全3回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6 丹波市立山南中学校2名・篠山市立篠山中学校1名・篠山市立丹南中学校2名。

学校団体対応

2013.5 神戸朝鮮初中級学校1年生(23名)。

2013.5 北摂第一幼稚園年長組(92名)。

2013.5 小野市立小野東小学校3年生(127名)。

2013.7 三田市弥生小学校4年生(34名)。

2013.10 小野市立市場小学校3年生(72名)。

2014.3 三田市弥生小学校4年生(34名)。

講師派遣

2013.5 第1回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名)。

2013.6, 「どんぐりのなる木を調べよう(木の幹)」, 小野市立市場小学校3年生, 講師, 小野市。(73名)。

2013.6, 「植物の観察のしかた(葉っぱでビンゴ)」, 小野市立小野東小学校3年生, 講師, 小野市。(137名)。

2013.6 第2回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名)。

2013.7 第3回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名)。

2013.7, 「理科実験・観察講座(第1回)『身近な植物の観察の仕方(夏)』」, 打文シリーズ講座(幼稚園・小学校教諭対象), 講師, 芦屋市。(22名)。

2013.9 第4回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名)。

2013.10, 「理科実験・観察講座(第2回)『身近な植物の観察の仕方(秋)』」, 打文シリーズ講座(幼稚園・小学校教諭対象), 講師, 芦屋市。(13名)。

2013.10 第5回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(5名)。

2013.11 「葉っぱを知ろう! 葉っぱでアート(秋の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生, 小野市(137名)。

2013.11 第6回プロジェクト学習「植物の生育やその

立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名).

2013.12 「開魂園の森について」, 講師, 加東市立東条西小学校3年生, 加東市(16名).

2014.1 第7回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(6名).

2014.1 「植物の冬ごしといろいろなタネ」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生, 小野市(128名).

2013.2 「開魂園の森をしらべよう」, 講師, 加東市立東条西小学校3年生, 加東市(16名).

2014.2 第8回プロジェクト学習「植物の生育やその立地環境」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(5名).

2013.2 「山田川周辺の環境を知ろう」, 講師, 小野市立市場小学校3年生, 小野市(73名).

2014.2 プロジェクト学習発表会, 講師・アドバイザー, 兵庫県立大学附属中学校3年生, 赤穂郡上郡町(5名).

■フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」(責任者).

■展示

ミニ企画展

2013.4-2014.3 深田公園植物情報(責任者)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等(計1件)

2013.4-2014.3 岡山理科大附属高等学校平成25年度スーパーサイエンスハイスクール外部評価委員会, 委員, 岡山理科大学附属高等学校.

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談12件.

橋本 佳延 HASHIMOTO, Yoshinobu

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和51年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門 シンクタンク推進室 ジーンファーム活用担当

ジーンファームの運営・活用、生物多様性地域戦略策定の支援、企業の生物多様性への取組の支援、生物多様性協働フォーラムの運営・実施

3.研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1.調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

- 1.半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
- 2.タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
- 3.里山の生物多様性保全に関する研究
- 4.外来植物の侵入・定着に関する研究

2) 共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

3) 論文・著書

◎橋本 佳延, 栃本大介, 黒田 有寿茂, 田村和也, 福井聡 (2014) ニホンジカ高密度生息域のススキ草原における草原生植物種多様性の低下. 日本緑化工学会誌 39, 395-399

Kuroda, A., Ishida, H., Hashimoto, Y., Takeda, Y., Tamura, K., Iwakiri, K., Wu, S., Iwatsuki, K. & Hattori, T. (2013) Impacts of human activities on species diversity, species composition and cover of pteridophytes: A comparison of natural evergreen broad-leaved forests and secondary deciduous broad-leaved forests in south Yunnan, China. *Vegetation Science*, 30, 71-82.

4) その他著作

◎橋本佳延(2013)生物多様性を意識した里山管理のすすめ. こうべ森の学校だより No.52 10周年記念特集号3, 1

◎橋本佳延(2014)地域戦略策定と推進を後押しするために必要なこと. ココからはじめる生物多様性地域戦略 地方自治体・実践事例集(公益財団法人 日本自然保護協会 編. 33p), 4-5

6) 研究発表

◎橋本佳延・上田萌子・三橋弘宗・西田貴明(2014)生物多様性地域戦略策定促進のために求められる行政担当者支援のあり方とは?, 日本生態学会第61回全国大会, 広島国際会議場, 広島

7) 学会役員など

2011.04-2014.03 植生学会 編集委員

2013.5 日本緑化工学会 査読1件

2013.5 土木学会 査読1件

8) 助成を受けた研究

橋本佳延.2011.4-2014.3 「都市域における自然系エコミュージアム形成・持続的運営のための手法の開発」科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B) (90万円/290万円)

2.資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集(川西市, 三田市, 姫路市, 神戸市)

3) 整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1.生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2013.4「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川(15名)

橋本佳延. 2013.4「館外特注セミナー 市民による里山保全」神戸市再度公園(こうべ森の学校, 40名)

橋本佳延. 2013.5「春の六甲山ハイキング」六甲山(15名)

橋本佳延. 2013.5「館外特注セミナー 生物多様性保全をめざした里山管理」神戸市再度公園(こうべ森の学校, 50名)

橋本佳延. 2013.5「特注セミナー 里山の植物観察へ”ひとはくの森”見学”人と自然の博物館(兵庫県高等学校教育研究会科学部会・生物部会 27名)

◎橋本佳延. 2013.6.「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(18名)

橋本佳延, 黒田有寿茂. 2013.7「南公園里山講座(第1回)」大セミナー室(50名)

橋本佳延. 2013.7「高校連携セミナー 草木染めで学ぶ里山の植物の多様性」(19名)

橋本佳延. 2013.8「教職員セミナー 児童・生徒とできる里山の調べ方」(23名)

橋本佳延. 2013.8「館外特注セミナー 里山保全活動指導」神戸市再度公園(こうべ森の学校, 15名)

橋本佳延, 黒田有寿茂, 石田弘明. 2013.9「南公園里山講座(第2回)」三田市南公園(33名)

◎橋本佳延. 2013.9「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(35名)

橋本佳延. 2013.10「特注セミナー 日本山岳会第17回 森の勉強会」大セミナー室(日本山岳会13名)

橋本佳延. 2013.10「館外特注セミナー 日本山岳会第17回 森の勉強会 野外観察会」六甲山(日本山岳会15名)

橋本佳延, 石田弘明. 2013.11「南公園里山講座(第3

回) 三田市南公園 (30名)

橋本佳延. 2013.11 「特注セミナー 生物多様性と里山管理」(フレミラ宝塚 20名)

橋本佳延. 2013.11 「特注セミナー 外国からやってきた植物」(フレミラ宝塚 23名)

◎橋本佳延. 2013.12.15 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(19名)

橋本佳延. 2013.12.15 「南公園里山講座(第4回)」人と自然の博物館 中セミナー室 (23名)

橋本佳延、三橋弘宗、太田英利、石田弘明. 2013.12 「生物多様性協働フォーラム 第6回」京都劇場 (501名)

橋本佳延. 2014.3 「館外特注セミナー 里山管理計画策定ワークショップ」再度公園(こうべ森の学校 30名)

館外講演

橋本佳延. 2013.6 「東お多福山草原の魅力 ~過去・現在・未来~」兵庫県民会館 (59名)

橋本佳延・黒田有寿茂. 2013.7 「平成25年度 中央・永田・須磨地区研究会 実技研修会『園庭のたからもの み~つけた』~幼児の自然体験学習~」神戸市立神戸幼稚園(神戸市立幼稚園教育研究会 50名)

橋本佳延. 2013.9 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第2回」東お多福山(17名)

橋本佳延. 2013.10 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第3回」東お多福山(18名)

橋本佳延. 2013.10 「北摂里山大学」有馬富士公園(北摂里山大学 40名)

橋本佳延. 2013.2 「生物多様性の恵みを市民に伝えるための市町の役割について(二市二町議会環境保全協議会研修会)」加古川市議会議場棟協議会室(25名)

橋本佳延. 2013.2 「企業用地における生物多様性の保全現地解説(北摂里山サポーターズクラブ姫路研修)」大阪ガス(株)姫路製造所および姫路城 (41名)

橋本佳延. 2013.2 「生物多様性を育む草原の再生をめざして~六甲山地東お多福山草原での取り組み事例」大阪府立総合生涯学習センター (112名)

橋本佳延. 2013.3 「地域戦略策定・推進を後押しするために必要なこと ~担当者の直面する課題から考える~」(「自治体担当者対象セミナー 生物多様性地域戦略の活かし方~地域の発展をめざした事例から学ぶ~」フォーラムエイト7階(公益財団法人 日本自然保護協会)) (36名)

3) ミニキャラバン事業

2013.4, ミニキャラバン in ありまふじフェスティバル(分担者), 兵庫県立有馬富士公園, 三田市.

4) 連携事業

共催事業

2013.6-11 東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座. 兵庫県神戸県民局(六甲山地東お多福山ほか)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6, 丹波市立山南中学校2名、篠山市立篠山中学

校1名、篠山市立丹南中学校2名

学校団体対応

2013.7.2 明石市立鳥羽小学校 88名

2013.9.13 三田市弥生小学校 37名

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8 神戸芸術工科大学学部3年生 1名、近畿大学学部3年生 1名

7) フェスティバル等

2013.11 ひとつはくフェスティバル(当日スタッフ)

2.シンクタンク事業

1) 受託研究

「平成25年度兵庫県新名神高速道路における貴重種の保全業務(その1)」. 西日本高速道路(株). 7.72万円(責任者)

「平成25年度大阪ガス(株)姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス(株). 130.515万円(責任者)

「25年度シダ類等の栽培業務」. 公益財団法人ひょうご環境創造協会. 55万円(責任者)

「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手育成業務」. 三田市. 40万円(責任者)

「平成25年度兵庫県新名神高速道路における貴重種の保全業務(その2)」. 西日本高速道路(株). 62.8万円(責任者)

「平成25年度尼崎の森中央緑地 地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 110.04万円(責任者)

「平成25年度尼崎の森中央緑地新名神高速道路予定地における地域性植物の移植・育苗業務」. 兵庫県阪神南県民局. 171.255万円(責任者)

「KOBELCOの森」植生モニタリング調査養成業務」. (株)神戸製鋼所. 5万円(責任者)

4) 行政等支援

委員会等 (計6件)

2013.1-2013.12 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市
2013.8-2015.8 神戸市生物多様性神戸プラン2020推進
会, 委員, 神戸市

2013.8-2014.3 生物多様性の道プロジェクト2013 ア
ドバイザリー会議, 委員, 公益財団法人 日本自然
保護協会

2013.8 生物多様性保全活動モデル事業審査会. 審査員,
兵庫県但馬県民局

2012.7-2015.6 希少野生動植物保存推進委員, 委員, 環
境省

2014.2-2015.3 (仮称)滋賀県生物多様性地域戦略策定
にかかると懇話会, 委員, 滋賀県

2014.1-2014.3 自然環境課所管緊急雇用事業企画提案
コンペ審査委員会, 委員, 兵庫県農政環境局自然環
境課

相談・指導助言

電話・FAX 相談5件.

メール 2件.

藤井 俊夫 FUJII, Toshio

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和39年香川県生。大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了。理学修士。日本生態学会、日本植物分類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

事業推進部門

3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 野生植物の個体群生態学的研究
2. 貴重種の保全生態学的研究

2) 共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

4) その他著作

藤井俊夫(2014)大阪府にハイノキは産しない。近畿植物同好会々誌。37:30-33.

6) 研究発表

藤井俊夫・長谷川匡弘(2013)平成25年度生態学会近畿地区会第一回例会。都市にハマツメクサが侵入?—アンケート調査依頼—。口頭発表。大阪府立大。

藤井俊夫・長谷川匡弘(2013)平成25年度生態学会近畿地区会第二回例会。都市にハマツメクサが侵入?—調査結果報告—。口頭発表。生態研センター。滋賀県。

藤井俊夫・長谷川匡弘(2014)近畿地方における在来ツメクサ類の分布。日本植物分類学会第13回大会。ポスター発表。熊本大学。

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-03 兵庫県内の維管束植物標本および写真の収集。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2013.4, 植物観察会(春の甲山)。15人

藤井俊夫, 2013.5, 春日山原始林観察会。14人

藤井俊夫, 2013.6, トキソウ観察会。28人

藤井俊夫, 2013.7, オグラコウホネ観察会。14人

藤井俊夫, 2013.8, サギソウ観察会。4人

藤井俊夫, 2013.9, 植物観察会(鴨池)。15人

藤井俊夫, 2013.10, マツバラ観察会。7人

藤井俊夫, 2013.10, 植物観察会(溪谷の植物)。8人

藤井俊夫, 2013.11, ドングリの観察。オープンセミナー。13人

藤井俊夫, 2013.12, 風で飛ぶタネ。オープンセミナー。6人

藤井俊夫, 2014.3, 冬芽の観察。オープンセミナー。7人

館外講演

藤井俊夫, 2013.5.青垣町森地区。セツブンソウについて40人

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6, 丹波市立山南中学校2名、篠山市立篠山中学校1名、篠山市立丹南中学校2名

学校団体対応

藤井俊夫, 2013.5.神戸市立花山小学校。植物観察入門90人

藤井俊夫, 2013.8.奈良県立青翔高校。春日山の植物とシカ。30人

藤井俊夫, 2013.12.川西市立多田小学校。タネの世界。102人。

藤井俊夫, 2014.2.三田市高齢者大学大学院自然環境コース。雑草の特性。51人。

藤井俊夫, 2014.プロジェクト学習, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年5人。

講師派遣

藤井俊夫, 2013.11.伊丹市科学教育センター。植物のデザイン—植物の形態から学ぶ—。平成25年度「エジソンくらぶ」くるくる回って落ちる種。48人

藤井俊夫, 2013.6.大阪みどりのトラスト協会。三草山の観察会40人

藤井俊夫, 2013.7.青垣町江古花園。第9回森の楽校。40人

藤井俊夫, 2013.10.青垣町江古花園。第10回森の楽校。35人

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8, 神戸芸術工科大学先端芸術学部学生1名、近畿大学農学部学生1名。

7) フェスティバル等

2013.11 ひとはくフェスティバル, 実行委員。

4) 行政等支援

委員会等

2012.12—。大阪府レッドリスト(植物)改訂委員会, 委員, 大阪生物多様性保全ネットワーク。

相談・指導助言

来訪者21件, 25名。電話・FAX相談52件, メール相談79件。

鈴木 武 SUZUKI, Takeshi

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 副室長

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

1. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究
2. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

2) 共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

5) ブログへの情報提供

6件

6) 研究発表

鈴木武, 高橋祐衣 2013 神戸市周辺でのハナダカダンゴムシの分布. 日本土壤動物学会第36回大会, 福岡教育大学.

船引健太, 船木拓也, 鈴木 武, 森田竜義, 西野貴子. 2014 西日本における黄花型倍数体タンポポの形態比較と遺伝的解析. 日本植物分類学会第13回大会, 熊本大学.

7) 学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.
兵庫県生物学会, 事務局.
兵庫植物誌研究会, 理事.

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 兵庫県内のシダ植物の収集. 豊岡市, 三木市など.

3) 整理同定担当資料

シダ植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2013.4, 「ダンゴムシの仲間の観察」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2013.4, 「神戸のまちなかのシダを見る」, 新神戸駅周辺. (全1回, 22名)

鈴木武, 2013.6, 「芦屋のシダを見る」, 芦屋市高座滝周

辺. (全1回, 23名)

鈴木武, 2013.6, 「芦屋のシダを見る追加版」, 芦屋市高座滝周辺. (全1回, 18名)

鈴木武, 2013.8, 「六甲山のネズミ」, 博物館. (4名)

鈴木武, 2013.9, 「養父市天滝のシダを見る」, 養父市大屋町 (17名)

鈴木武, 2013.10, 「姫路市八徳山のシダを見る」, 姫路市香寺町 (19名)

◎鈴木武, 2013.4, 「ダンゴムシの仲間の観察」, 博物館. (40名)

特注セミナー

鈴木武, 2013.6, 博物館見学, 大阪府立大学. (15名)

鈴木武, 2013.7, 博物館について, 大阪青山歴史文学博物館. (5名)

鈴木武, 2013.8, 博物館と資料, 県立篠山東雲高等学校自然科学部. (10名)

鈴木武, 2013.8, 博物館と展示, ハバロフスク少年団. (20名)

館外講演

鈴木武, 2013.4 綾部市のタンポポ観察会, 綾部市立天文館講座, 講師, 綾部市立天文館 (15名)

鈴木武, 2013.5 春のいきもの観察会, 神戸市田園スポーツ公園, 講師, 神戸市田園スポーツ公園 (12名)

鈴木武, 2013.6 美術館で植物散歩, 兵庫県立美術館, 講師, 兵庫県立美術館 (12名)

鈴木武, 2013.6 神戸のハナダカダンゴムシ, 灘浜サイエンススクエア, 講師, 灘浜サイエンススクエア (105名)

鈴木武, 2013.6 六甲山の生き物, 六甲山自然案内人の会講座, 講師, 六甲山自然保護センター (40名)

鈴木武, 2013.6, 神戸のまちなかのシダを見る, 大阪シニア自然大学講座, 講師, 新神戸駅周辺 (30名)

鈴木武, 2013.7 箕面のシダ植物観察会, 大阪シニア自然大学講座, 講師, 箕面市箕面滝周辺 (30名)

鈴木武, 2013.7, 宝塚とシダ植物, フレミラ自然講座, 講師, 宝塚市フレミラ (35名)

鈴木武, 2013.7, 最明寺の滝のシダ植物, フレミラ自然講座, 講師, 宝塚市平井 (35名)

鈴木武, 2013.8, スミスネズミを探そう, 森林植物園講座, 講師, 神戸市立森林植物園 (10名)

鈴木武, 2013.8, スーパーヘルンさん講座, 出雲かんべの里, 講師, 松江子ども塾 (8名)

鈴木武, 2013.9 日ヶ奥溪谷のシダ植物観察会, 丹波市日ヶ奥溪谷, 青垣いきものふれあいの里 (14名)

鈴木武, 2013.9 川西市笹部谷のシダ植物観察会, 川西市笹部駅周辺, 川西自然教室 (25名)

鈴木武, 2013.9 明石公園の植物観察, 明石公園, 明石市立文化博物館 (12名)

鈴木武, 2013.9 丹波の絶滅危惧生物, 丹波の森公苑, 丹波県民局 (105名)

鈴木武, 2013.11 生物多様性親子講座, ささやまな家 (篠山市), フェリシモしあわせの学校 (6名)

鈴木武, 2014.2, 六甲山の冬の植物, 六甲山を活用する

談5件.

会, 講師, 六甲山小学校 (15名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

3) ミニキャラバン事業

2013.7 こども地球学校, フェリシモ本社, 主担当

2013.8 さんふらわあクルージング, さんふらわあ, 主担当

2013.11 生物多様性親子講座, 大阪科学技術館, 主担当

4) 連携事業

連携グループ等

希少植物研究会 (主担当)

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

2013.6, 丹波市立山南中学校2名, 篠山市立篠山中学校1名, 篠山市立丹南中学校2名

学校団体対応

2012.10, 伊丹市立摂陽小学校3年生. (74名)

2013.2, 猪名川町立楊津小学校 (80名)

講師派遣

2013.4 ロクアイタンポポに関する勉強会、講師, 神戸市立六甲アイランド高校 (4名)

2013.4 身近な生き物の研究～タンポポとカタツムリ～, 神戸学講座、講師, 神戸市立六甲アイランド高校 (54名)

2013.7 ダンゴムシの観察、講師, 明石市立鳥羽小学校 (15名)

2013.7 ダンゴムシの観察、講師, 滝川第二高等学校 (120名)

2013.8 兵庫県のカタツムリ、講師, 県立神戸高等学校 SSH 咲いてく講座 (20名)

2013.11 兵庫県のカタツムリ、講師, なぎさ小学校 (155名)

2014.1、身近な生き物、加東市立三草小学校3年生, 講師, 加東市立三草小学校 (20名)

2014.2、身近な生き物、西宮市立深津中学校3年生, 講師, 西宮市立深津中学校 (85名)

6) 研修生等の受入

博物館実習

2013.8, 神戸芸術工科大学先端芸術学部学生1名、近畿大学農学部学生1名

8) 展示

ミニ企画等

2011.12.3-2012.1., ミニ企画展示「午(うま)さんようこそ!」(主担当).

2. シンクタンク事業

4) 行政等支援

委員会等 (計3件)

2011.7- 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパーサイエンススクール検討委員会、委員.

2011.10- 神戸市生き物調査検討委員会、委員.

2012.4- ささやまの森公園運営協議会、委員.

相談・指導助言

来訪者10件, 15名. 電話・FAX相談20件, メール相

黒田 有寿茂 KURODA, Asumo

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和53年愛知県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。植生学会, 日本生態学会, 日本造園学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門

企画調整室, 経営戦略会議事務局, 事業推進会議運営

2. 事業推進部門

生涯学習推進室, 地域担当(北・東播磨)

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生における組成・構造の多様性とその成因に関する研究
2. 生物多様性に配慮した植生復元に関する研究
3. シダ植物の生態に関する研究
4. 希少植物の生態に関する研究

2) 共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

3) 論文・著書

Kuroda, A., Ishida, H., Hashimoto, Y., Takeda, Y., Tamura, K., Iwakiri, K., Wu, S., Iwatsuki, K. & Hattori, T. (2013) Impacts of human activities on species diversity, species composition and cover of pteridophytes: A comparison of natural evergreen broad-leaved forests and secondary deciduous broad-leaved forests in south Yunnan, China. *Vegetation Science*, 30, 71-82.

◎石田弘明・黒田有寿茂・栃本大介・江間 薫 (2013) 兵庫県北部の棚田, 放棄棚田, 圃場整備水田における畦畔法面草原の生態的特性の比較. *植生学会誌*, 30, 51-69.

◎橋本佳延・栃本大介・黒田有寿茂・田村和也・福井聡 (2013) ニホンジカ高密度生息域のススキ草原における草原生植物種多様性の低下. *日本緑化工学会誌*, 39, 395-399.

6) 研究発表

- 黒田有寿茂・小館誓治 (2014) 兵庫県南東部の六甲山地における希少植物カキノハグサの生育環境特性. 日本生態学会第61回大会, 広島国際会議場, 広島市。
- 藤原道郎・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2014) 地域住民により管理がなされている海岸林の林床植生. 日本生態学会第61回大会, 広島国際会議場, 広島市。
- 藤原道郎・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2013) 海岸林の林床における海岸生植物の分布. 平成25年度日本海岸

林学会研究発表会, 岩手大学, 盛岡市。

8) 助成を受けた研究

海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築—山陰海岸国立公園を事例に。科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者 (金額104万円/286万円)。

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2013.4-2014.3 植物および植生の映像資料収集. 三田市, 姫路市, 南あわじ市, 川西市, 西宮市, 赤穂市, 洲本市, たつの市, 小野市, 神戸市, 明石市, 三重県, 鹿児島県, 福岡県, 京都府, 鳥取県, 和歌山県。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

- 黒田有寿茂, 2013.4, 「特注セミナー 身近な草・木・森の観察」, 博物館. (70名)
- 黒田有寿茂, 2013.5, 「一般セミナー 植物ウォッチング1〜道場町・百丈岩〜」, 神戸市北区. (21名)
- ◎黒田有寿茂, 2013.5, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (15名)
- 黒田有寿茂, 2013.7, 「特注セミナー ひとつはくの森見学」, 博物館. (90名)
- 黒田有寿茂, 2013.7, 「一般セミナー(館主催事業) まちなか里山セミナー(分担者)」, 博物館. (50名)
- 黒田有寿茂, 2013.8, 「一般セミナー 海岸の植物・植生と環境」, 博物館. (18名)
- 黒田有寿茂, 2013.8, 「教職員・指導者セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館. (36名)
- 黒田有寿茂, 2013.8, 「特注セミナー ひとつはくの森見学」, 博物館. (21名)
- 黒田有寿茂, 2013.9, 「特注セミナー 里山の自然について」, 博物館. (39名)
- ◎黒田有寿茂, 2013.9, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (38名)
- 黒田有寿茂, 2013.10, 「一般セミナー 植物ウォッチング②〜有野町〜」, 神戸市北区. (26名)
- ◎黒田有寿茂, 2013.12, 「オープンセミナー ならそう草笛」, 博物館. (11名)

館外講演

- 黒田有寿茂, 2013.7, 「植生調査と定点観測地点の変遷分析」, 明石市環境部環境総務課, 金ヶ崎公園 (10名)
- 黒田有寿茂, 2013.10, 「第5回 北摂里山大学(分担者)」, 阪神北県民局, 有馬富士公園 (24名)
- 黒田有寿茂, 2013.11, 「平成25年度兵庫県立大学生生涯学習公開講座 アカデミック・ツーリズム・プログラム 淡路のみどりとまちを満喫〜成ヶ島・由良・福良を巡る旅〜」, 兵庫県立大学, 成ヶ島・由良・福良 (30名)
- 黒田有寿茂, 2014.2, 「海岸の植物」, 宝塚市立老人福祉

センター, フレミラ宝塚 (34名)
 黒田有寿茂, 2014.2, 「ため池と水田の植物」, 宝塚市立
 老人福祉センター, フレミラ宝塚 (38名)
兵庫県立大学・大学院教育
 2013.6.8,9,15,16 植物生態学特論 (大学院)
 2013.9.12 共生博物学 (分担講義)

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業
成果発表
 2014.2, 共生のひろば「この木なんの木?ぼくたちの
 木! ~身近な自然に親しむ環境体験学習の取り組み
 ~」, 明石市立魚住小学校 (協働)

3) ミニキャラバン事業
 2013.4, ひとつはくミニキャラバン・ひとつはく移動博物館
 車「ゆめはく」出動! (分担者), ありまふじフェス
 ティバル実行委員会, 有馬富士公園.
 2013.4, ロハス・ミーツ明石への出展 (分担者), ロハ
 ス・ミーツ実行委員会, 明石公園.
 2013.10, 第12回はたらくくるま大集合!への出展 (分
 担者), 子どもの夢よ!天まで届け!実行委員会, 東
 条湖おもちゃ王国.

4) 連携事業
連携グループ等
 菊炭友の会 (アドバイザー: 副)
 櫻守の会 (アドバイザー: 副)

5) 学校教育支援
トライやるウィーク
 2013.6, 丹波市立山南中学校2名、篠山市立篠山中学
 校1名、篠山市立丹南中学校2名
学校団体対応
 2013.4, 兵庫県立大学附属中学校 (プロジェクト学習)
 40名
講師派遣
 2013.6 「里山実習」, 講師, 武庫川女子大学附属高等
 学校1年生 (38名).
 2013.6 「学校の周りの自然・草花を使った遊び」, 講
 師, 小野市立大部小学校3年生 (60名).
 2013.7 「神戸市立幼稚園ブロック研修会 園庭の自然

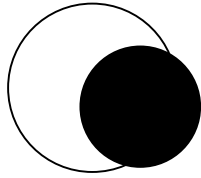
解説とたからものみつけ 自然解説」, 講師, 市立幼
 稚園教諭 (50名).
 2013.10 「学校の周りの自然・草花を使った遊び」, 講
 師, 小野市立大部小学校3年生 (60名).

6) 研修生等の受入
博物館実習
 2013.8, 神戸芸術工科大学先端芸術学部学生1名、近畿
 大学農学部学生1名.

7) フェスティバル等
 2013.11 ひとつはくフェスティバル, 「ミュージアム・コ
 ンサート」 (責任者).

2. シンクタンク事業
1) 受託研究
 「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウン
 ラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸
 学校. 研究代表者 (35万円)
 「平成25年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における
 生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 研究
 分担者 (130万円)
 「加西市における「ひとつはくキャラバン」の実施とそ
 の評価業務」, 加西市教育委員会. 研究分担者 (23
 万円)
 「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成
 業務」, 三田市. 研究分担者 (40万円)
 「「KOBELCOの森」植生モニタリング調査 養成業
 務」, (株)神戸製鋼所. 研究分担者 (5万円)

4) 行政等支援
委員会等 (計2件)
 2012.3-2014.2. 明石市環境審議会, 委員, 明石市.
 2013.6-2014.3. 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議,
 委員, 加東市.
相談・指導助言
 来訪者3件, 6名. 電話・FAX相談5件.



博物館事業に関連する資料

開催したセミナーの一覧

平成 25 年度は下記のとおりセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
25.4.5	タネから育てる希少山野草	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	13
25.4.6	山陰海岸ジオパーク・大地の魅力を探ろう	先山 徹	30	15
25.4.6	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本 佳延	25	15
25.4.13 ~4.20	空中花粉を調べよう(全2回)	半田 久美子	10	5
25.4.17	じっくり花を解剖 --1人1台の顕微鏡で!--	山本 伸子	20	10
25.4.20 ~5.12	ため池を探る(全4回)	田中 哲夫・佐藤 裕司	20	44
25.4.20	都市の歩き方・名所編 難波から四天王寺へ	田原 直樹	10	17
25.4.21	植物観察会(春の甲山)	藤井 俊夫	20	15
25.4.21 ~12.8	植物多様性講座-樹木の見分け方を学ぶ 初級編-	高橋 晃	15	273
25.4.27	芦屋市奥山地域で春の植物観察	小館 誓治	20	17
25.4.27	都市の歩き方・名所編 梅田から天満橋へ	田原 直樹	10	16
25.4.27 ~7.13	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	大谷 剛・アビス同好会	20	48
25.4.28	あまるベジオガイド あまるべ〜たかのすの森の大地観察会	先山 徹	30	20
25.4.28	日本の恐竜化石含有層	小林 文夫	30	9
25.4.28 ~26.3.23	ひとはく展示課むし係(全10回)	八木 剛	10	36
25.4.29 ~26.3.21	ユース昆虫研究室(全12回)	八木 剛	15	101
25.5.4	春の六甲山ハイキング	橋本 佳延	25	15
25.5.6	豊岡市内、地形観察トレッキング	先山 徹	30	24
25.5.6	植物ウォッチング①~道場町・百丈岩~	黒田 有寿茂	20	21
25.5.10	生物多様性と地球環境問題	橋本 佳明	10	42
25.5.11	コケ植物をみてみよう	秋山 弘之	12	16
25.5.11 ~7.23	ヒメボタルインストラクター養成コース(全6回)	ひとはく連携グループ 猪名川流域ひめぼたるネットワーク	15	33
25.5.12 ~26.2.9	石ころクラブ(全8回)	先山 徹・加藤 茂弘	20	124
25.5.12	植物観察会(春の春日山)	藤井 俊夫	20	14
25.5.12	霊長類学 頭の体操(2013年版)	三谷 雅純	30	3
25.5.15	神戸のまちなかのシダを見る	鈴木 武	20	22
25.5.15	春の里山で植物を観察しよう	石田 弘明	20	23
25.5.18	篠山層群恐竜化石含有層調査結果報告会	三枝 春生	30	11
25.5.18	六甲山「森の植物」観察会(春)	小館 誓治	20	11
25.5.18	小代の植物観察会	高野 温子・高橋 晃	20	20
25.5.18	生物多様性を学ぶ(講義編)	橋本 佳明	10	7
25.5.18	多様性創出機構としての生物種間関係を研究する	橋本 佳明	10	7
25.5.19	あまるベジオガイド あまるべ〜たかのすの森の植物観察会	高野 温子・高橋 晃	20	21
25.5.19	人と自然の共生と人口問題	小林 文夫	30	4
25.5.22	カラスによるゴミ被害を解決しよう!	布野 隆之	30	11
25.5.25	家族で蜂蜜しぼり5月	大谷 剛・アビス同好会	30	14

25.5.26	石巡りバスツアー・丹後半島の鳴き砂と地層	先山 徹	40	37
25.6.1	へビの世界	池田 忠広	30	6
25.6.2	香住で足跡化石やカエル島を見よう	先山 徹	30	5
25.6.7	むらやまち	山崎 義人	10	40
25.6.8	都市の歩き方・名所編 天満橋から中之島へ	田原 直樹	10	16
25.6.9	トキソウ観察会	藤井 俊夫	20	28
25.6.9	コケ玉づくり	ひとはく連携グループ NPO 法人 人と自然の会	30	20
25.6.12	芦屋のシダを見る	鈴木 武	20	20
25.6.15	化石のクリーニングとは？	池田 忠広	30	0
25.6.15	試してみよう、地震の被害や建物のゆれ方	先山 徹	30	12
25.6.15	太山寺周辺の樹林で多様性を知る	小舘 誓治	20	16
25.6.15	鳴く虫キッズ大集合！	八木 剛	10	11
25.6.16	試してみよう、地震の被害や建物のゆれ方	先山 徹	30	5
25.6.16	<こころ>と<ことば>を科学する	三谷 雅純	30	8
25.6.18	挿し木で増やす希少植物	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	33
25.6.19	芦屋のシダを見る 追加版	鈴木 武	20	11
25.6.19	希少猛禽類イヌワシを保全しよう！	布野 隆之	30	13
25.6.22	アリを調べる一調査と観察の方法伝授	橋本 佳明	10	17
25.6.22	家族で蜂蜜しぼり6月	大谷 剛・アビス同好会	30	13
25.6.23	日本の自然林	石田 弘明	30	18
25.6.23	成ヶ島散策ツアー 初夏編	上田 萌子	15	20
25.6.29	山陰海岸ジオパーク 香美町・山のジオパーク ～ハチ北・蘇武岳の大地と花をめぐる～	高橋 晃・先山 徹・ハチ北自然案内人	30	23
25.6.29	カエルの食生活	太田 英利	30	6
25.6.30	山陰海岸ジオパーク 香美町・山のジオパーク ～ハチ北・蘇武岳の大地と花をめぐる～	高橋 晃・先山 徹・ハチ北自然案内人	30	19
25.7.6	夏のキノコかんさつ ～一庫公園～	秋山 弘之	15	17
25.7.13 ～7.14	火山灰を調べる：上級編(全2回)	加藤 茂弘	5	10
25.7.15	川の水生昆虫の観察会(加古川上流編)	三橋 弘宗	50	中止
25.7.20	ピカリア化石のレプリカをつくろう！	松原 尚志	15	9
25.7.20	森と土の観察会(再度山編)	小舘 誓治	15	7
25.7.20	日本古来の藍の生葉染め	ひとはく連携グループ NPO 法人 人と自然の会	20	10
25.7.21	竹野海岸の石を見て大地の成り立ちを知ろう	先山 徹	30	15
25.7.21	オグラコウホネ観察会	藤井 俊夫	20	14
25.7.21 ～8.25	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グループ run♪ plaza 八木 剛 ほか	20	105
25.7.25	キリンビール・ビオトープ池調査	田中 哲夫・佐藤 裕司	5	16
25.7.26	草木染めで学ぶ里山の植物の多様性	橋本 佳延	5	19
25.7.27	南あわじで地層を見る	古谷 裕	20	12
25.7.27	植物観察会(溪谷の植物)	藤井 俊夫	20	8
25.7.28	ペーパークラフト「アジアの家」 モンゴルの家	山崎 義人	10	5
25.7.29	ペーパークラフト「アジアの家」 インドネシアの家	山崎 義人	10	3
25.7.30	ペーパークラフト「アジアの家」 タイの家	山崎 義人	10	1
25.7.31	自然学への誘い	秋山 弘之	5	20
25.8.3	海岸の植物・植生と環境	黒田 有寿茂	50	18
25.8.3	川の水生昆虫の観察会(矢田川中流編)	三橋 弘宗	100	7
25.8.4	成ヶ島の環境保全活動を学ぶ	上田 萌子	15	9

25.8.7	小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方	小館 誓治	20	22
25.8.7	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	30	10
25.8.7	空中花粉の調べ方	半田 久美子	15	14
25.8.8	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田 有寿茂	20	36
25.8.8	丹波の恐竜化石と小動物化石	池田 忠広	40	17
25.8.8	地域や学校で取り組む環境保全と学習	田原 直樹・上田 萌子	40	19
25.8.9	都市の歴史から考える人と自然	田原 直樹	40	12
25.8.9	身近な生き物観察	佐藤 裕司	10	17
25.8.9	化石を使ったキッズプログラム	古谷 裕	20	4
25.8.12	高等学校における博物館等を活用した学習の展開～ ”博学連携”の事例とプログラム体験	西岡 敬三	15	15
25.8.12	博物館展示・標本・リファレンスを活用した 学習の企画と実践(高等学校編)	西岡 敬三	15	15
25.8.18	ジオパーク博士と行く京丹後バスツアー	先山 徹	40	3
25.8.19	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	40	23
25.8.19	身近な石ころを調べる	古谷 裕	20	27
25.8.19	生き物の分類: 種とは何か、系統とは何か?	太田 英利	40	26
25.8.19	身近な石ころの中の化石	古谷 裕	20	9
25.8.19	小さな子どもの指導者向け 手で見る しぜん・生きもの	高瀬 優子・八木 剛	20	13
25.8.20	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	50	33
25.8.20	カタツムリとダンゴムシ	鈴木 武	20	18
25.8.20	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	20	7
25.8.20	楽しいスライドショーを作ろう	阪上 勝彦	20	20
25.8.21	外来種の現状と対策	太田 英利	40	6
25.8.21	キリンビール・ピオトープ池調査	田中 哲夫・佐藤 裕司	15	15
25.8.21	伊丹の石をしらべる	古谷 裕	20	8
25.8.21	有馬富士公園で学校連携 実践とこれから	藤本 真里	30	2
25.8.21	学校でできる! やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	20	22
25.8.24	恐竜化石展示解説と石割化石調査会	池田 忠広	40	23
25.8.24	アンモナイト化石をクリーニングしてみよう!	松原 尚志	15 組	28
25.8.25	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	15	13
25.9.1	サギソウ観察会	藤井 俊夫	20	4
25.9.1	リトルサイエンティストのための run ♪run ♪sunday★ おやこ☆ラボ ～シルクのひみつ～	ひとはく連携グループ run ♪ run ♪plaza 高瀬 優子	20 組	9
25.9.6	里山林とはなにか	石田 弘明	10	47
25.9.7 ~11.30	プラスチックネーション標本づくり(全3回)	三橋 弘宗	10	20
25.9.8	植物観察会(湿地の植物)	藤井 俊夫	20	15
25.9.10	秋の伊吹山高山植物観察会	ひとはく連携グループ 希少植 物研究会	20	24
25.9.14	身近な植物の見分け方・覚え方	高野 温子	20	13
25.9.21 ~11.21	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	大谷 剛・アビス同好会	20	55
25.9.22	ジオパーク博士と行く鳥取バスツアー	先山 徹	40	中止
25.9.25	「タカの渡り」観察会	布野 隆之	30	28
25.9.28	養父市天滝のシダを見る	鈴木 武	20	12
25.9.29	秋の石めぐりハイキング～仁川・甲山周辺の地層と岩石～	加藤 茂弘	30	25
25.10.2~3	ハチ北高原秋の自然観察ツアー	秋山 弘之・ハチ北自然案内人	20	10
25.10.4	風と集落・建築	山崎 義人	10	47
25.10.5 ~10.6	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃・長谷川 太一	10	16
25.10.5 ~10.6	カワバタモロコの数調べ(キリンピオトープ)(全2回)	田中 哲夫・佐藤 裕司	10	7

25.10.5	動物の体のつくりとしくみ. 1. 両生類	太田 英利	25	5
25.10.5	親と子の鳴く虫のタベ	ひとはく連携グループ 鳴く虫 研究会さんひばり	30	16
25.10.6	リトルサイエンティストのための run♪run♪sunday※ おやこ☆ラボ ～タネのひみつ	ひとはく連携グループ run♪ run♪plaza 高瀬 優子	20組	5
25.10.12	都市の歩き方・名所編 新神戸から三宮へ	田原 直樹	10	中止
25.10.13	大量絶滅事件の背景	小林 文夫	30	19
25.10.14	植物ウォッチング②～有野町～	黒田 有寿茂	20	26
25.10.17	秋のキノコかんさつ1 ～神戸～	秋山 弘之	15	14
25.10.19	魅力再発見！ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力	藤本 真里	15	11
25.10.19	プラスチック封入標本をつくろう	三橋 弘宗	20	20
25.10.20	新・エチオピアの大地に人類進化の謎を探る	加藤 茂弘	30	14
25.10.20	香寺町八徳山のシダを見る	鈴木 武	20	14
25.10.23	秋の里山で植物を観察しよう	石田 弘明	20	中止
25.10.25	兵庫の恐竜	三枝 春生	10	41
25.10.26	秋のキノコかんさつ2 ～有馬富士～	秋山 弘之	20	25
25.10.26	都市の歩き方・街道編 熊野街道を住吉大社から堺東へ	田原 直樹	10	15
25.10.27	丹波で地層を見る	古谷 裕	20	15
25.10.27	地上最強？の生物、クマムシを探そう	佐藤 裕司	20	4
25.10.27	マツバラン観察会	藤井 俊夫	20	7
25.11.9	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小舘 誓治	20	13
25.11.9	昆虫と自然が大好きな子どもを育む ー昆虫少年・少女の歩む道	橋本 佳明・長島聖大(伊丹市 昆虫館学芸員)	25	3
25.11.17	成ヶ島散策ツアー 秋編	上田 萌子	15	7
25.11.16	料理&うんちく DE 地域再発見「丹波黒大豆」	藤本 真里	20	13
25.11.16	都市の歩き方・古地図編 大阪市大正区界隈を歩く	田原 直樹	10	17
25.11.16	小さな化石の抽出と観察～淡路島の古第三紀の化石～	松原 尚志	5	中止
25.11.29～26.1.17	霊長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か？	三谷 雅純	10	86
25.11.30	日本海の成り立ちとジオパーク	先山 徹	30	11
25.11.30	芦屋市奥山地域で多様性を知る	小舘 誓治	20	25
25.12.1	日本海の成り立ちとジオパーク	先山 徹	30	9
25.12.1	リトルサイエンティストのための run♪run♪sunday※ おやこ☆ラボ ～ひょうごのどうぶつパンダナ～	ひとはく連携グループ run♪ run♪plaza 高瀬 優子	20組	13
25.12.1	三田哺乳類化石産地見学会	三枝 春生	15	4
25.12.8	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと	三谷 雅純	20	6
25.12.14	動物の体のつくりとしくみ. 2. 爬虫類	太田 英利	25	4
25.12.21	ペーパークラフトで学ぶ広重の風景版画の世界 正月編	上田 萌子	10	2
26.3.8	「湧き水」を訪ねる パート2	佐藤 裕司	10	8
26.3.9	丸山湿原に残された森の歴史	半田 久美子	30	9
26.3.16	再考恐竜人間	三枝 春生	30	15
26.3.23	豊岡の石と化石	古谷 裕	20	13

※複数回実施講座は、受講者数合計を記す。

企画展等一覧（平成25年度）

下記の特別企画、ミニ企画展、資料・トピックス展示を2階ひみつの収蔵庫・3階オープンギャラリー・4階ひとはくサロンなどで開催した。

【特別企画】

* 主担当者

期間	タイトル	担当者
2013.2.11～4.6	第8回共生のひろば展	* 鈴木武
2013.4.1～ 2014.3.31	丹波の恐竜発掘～6年間の軌跡	* 三枝春生・松原尚志・古谷裕・池田忠広・半田久美子・佐藤裕司
2013.7.20～.9.1	昆虫kidsのじゆうけんきゅう	* 八木剛
2013.10.5～ 2014.1.5	ひとはくかわらばん2013作品展	* 門川朋樹
2014.2.11～4.6	第9回共生のひろば展	* 田中哲夫

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2013.3.9～4.21	東北しぜんかわらばん展	4階ひとはくサロン	* 古谷裕・山本伸子
2013.2.16～4.7	ひとはく20周年記念 栗林慧写真展<アリの目の日々>	3階オープンギャラリー	大谷剛
2013.2.11～7.28	六甲山のキノコ展2013 ～野生のキノコの不思議な魅力	2階ひみつの収蔵庫	兵庫県立御影高等学校・兵庫きのこ研究会・* 三橋弘宗
2013.3.30～6.30	日本最古の真獣類化石 ササヤマミロス・カワイイ展	3階丹波の恐竜コーナー	* 三枝春生・池田忠広
2013.6.8～6.30	写真展 北摂里山を彩る花々ー里山桜と山野草たちー	3階オープンギャラリー	* 石田弘明
2013.7.6～8.4	第4回 惑星地球フォトコンテスト入選作品展	3階オープンギャラリー	松原尚志
2013.8.10～9.1	さんだネイチャークラブ写真展「三田市と兵庫県の自然」	3階オープンギャラリー	* 鈴木武
2013.12.14～ 2014.1.5	千支(えと)展「午(うま)さんようこそ！」	4階ひとはくサロン	* 鈴木武
2014.2.11～4.6	洲本市産恐竜化石の臨時展示	3階丹波の恐竜コーナー	岸本眞五(ひとはく地域研究員)・* 古谷裕
2014.2.11～6.1	六甲山のキノコ展2014 ～野生のキノコの不思議な魅力	2階ひみつの収蔵庫	兵庫県立御影高等学校・* 三橋弘宗
2014.3.8～4.20	東北しぜんかわらばん展	4階ひとはくサロン	* 古谷裕・山本伸子

【資料・トピックス展示】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2013.4.13～6.2	神戸・阪神のモエジマシダ	3階トピックスコーナー	鈴木武
2013.5.3～6.2	神戸のハナダカダンゴムシ	4階ひとはくサロン	鈴木武
2013.6.9～ 9.1	武庫川上流の魚たち	3階トピックスコーナー	田中哲夫
2013.9.7～11.4	兵庫のへび	3階トピックスコーナー	太田英利
2013.11.9～ 2014.1.5	古絵図とボーリングデータから探る大阪湾	3階トピックスコーナー	上田萌子
2014.2.9～4.6	ウミガメ類の化石発見	3階トピックスコーナー	池田忠広

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人 数	担当研究部課室
5月21日～5月24日(春前期)	伊丹市立東中学校	1	生涯学習課・情報管理課
5月28日～5月31日(春中期)	三田市立上野台中学校	2	系統分類
	三田市立狭間中学校	2	環境計画
	三田市立けやき台中学校	2	生態研究
	三田市立藍中学校	2	
	宝塚市立西谷中学校	2	
6月4日～6月7日(春後期)	丹波市立山南中学校	2	地球科学
	篠山市立篠山中学校	1	生物資源
	篠山市立丹南中学校	2	総務課
	三田市立立八景中学校	2	生涯学習課
	三田市立富士中学校	2	
	三田市立長坂中学校	1	
	三田市立ゆりのき台中学校	2	
	神戸市立有馬中学校	2	
10月29日～11月1日(秋期)	神戸市立駒ヶ林中学校	2	生涯学習課・情報管理課
	神戸市立有野北中学校	3	
	神戸市立神戸北中学校	2	

【県庁インターンシップ】

期 間	学 校 名	人 数	担当研究部課室
8月26日～8月30日	県立農業高等学校	1	地球科学
	県立川西明峰高等学校	2	生態研究
	県立伊丹北高等学校	1	環境計画 生物資源 生涯学習課 情報管理課

【博物館実習】

8月5日～24日までの10日間10大学		担当研究部	
岡山大学	2名	自然・環境評価研究部	5名
神戸芸術工科大学	1名	自然・環境マネジメント研究部	6名
神戸夙川学院大学	1名	自然・環境再生研究部	2名
甲南女子大学	1名		
神戸学院大学	1名		
近畿大学	1名		
琉球大学	1名		
京都造形芸術大学	3名		
岡山理科大学	1名		
高知大学	1名		

学校教育支援プログラム

【教職員・指導者セミナー】

全30講座を実施し、422名が参加した。

実習日	セミナー名	講師	受講数
【8月4日】	成ヶ島の環境保全活動を学ぶ	上田 萌子	9
【8月7日】	小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方	小舘 誓治	22
	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	10
	空中花粉の調べ方	半田久美子	14
【8月8日】	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田有寿茂	36
	丹波の恐竜化石と小動物化石	池田 忠広 L a b o r e s	17
	地域や学校で取り組む環境保全と学習	田原 直樹 上田 萌子	19
【8月9日】	都市の歴史から考える人と自然	田原 直樹	12
	身近な生き物観察	佐藤 裕司	17
	化石を使ったキッズプログラム	古谷 裕	4
	高等学校における博物館等を活用した学習の展開～” 博学連携” の事例とプログラム体験	西岡 敬三	15
	博物館展示・標本・リファレンスを活用した学習の企画と実践(高 等学校編)	西岡 敬三	15
【8月19日】	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	23
	身近な石ころを調べる	古谷 裕	27
	生き物の分類：種とは何か、系統とは何か？	太田 英利	26
	身近な石ころの中の化石	古谷 裕	9
	小さな子どもの指導者向け 手で見るとしぜん・生きもの	高瀬 優子	13
【8月20日】	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	33
	カタツムリとダンゴムシ	鈴木 武	18
	針穴(ピンホール)カメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	7
	楽しいスライドショーを作ろう	阪上 勝彦	20
【8月21日】	外来種の現状と対策	太田 英利	6
	学校でできる！やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	22
	キリンビール・ビオトープ池調査	田中 哲夫	15
	伊丹の石をしらべる	古谷 裕	8
	有馬富士公園で学校連携 実践とこれから	藤本 真里	2
【11月9日】	昆虫と自然が大好きな子どもを育む 昆虫少年・少女の歩む道	橋本 佳明	3

来館一般団体一覧

一般団体利用 延べ300団体

◆県内

団体名	所在市町		
		ハートケア神戸 白水	神戸市
		神戸市灘区篠原本町1・2丁目自治会	神戸市
		高津橋ふれあいのまちづくり協議会	神戸市
		鉱物クラブ	神戸市
		成徳少年野球部	神戸市
		神戸市中央区子ども会連合会	神戸市
		たまごの会	神戸市
		ユープこうべ生活文化センター	神戸市
		神戸市立神出児童館	神戸市
		神戸市中央区子ども会連合会	神戸市
		スタジオオン神戸	神戸市
		神戸視力障害センター	神戸市
		NPOあいきゅーびつく	神戸市
		神戸市立なぎさ児童館	神戸市
		花山手子ども会	神戸市
		ポートビレッジウォーキングクラブ	神戸市
		ホープアウトドアクラブ	神戸市
		社会福祉法人 にこにこハウス	神戸市
		泉会	神戸市
		西須磨東部自治会	神戸市
		福住県住自治会	神戸市
		三ツ星ベルト(株)徳星塾	神戸市
		兵庫県芸術文化協会	神戸市
		神戸市シルバーカレッジ	神戸市
		フレール長田大道自治会	神戸市
		八多の里	神戸市
		神戸市立おもいけ園	神戸市
		NPOはなそう神戸の会	神戸市
		長田区主任児童委員連絡会	神戸市
		ベル青谷	神戸市
		松が丘自治会	神戸市
		神戸市手をつなぐ育成会 長田支部	神戸市
		ろっこう医療生活協同組合 東灘支部	神戸市
		須磨区心身障害者福祉団体協議会	神戸市
		高倉台ふれあいのまちづくり協議会	神戸市
けやき台幼稚園うさぎ組PTA	三田市		
全国市議会 議長会	三田市		
小規模多機能三田	三田市		
デイサービスゆりのき	三田市		
矢野グループ	三田市		
三田ホテルツアー	三田市		
武庫第2児童クラブ	三田市		
すずかけ台児童クラブ	三田市		
松が丘児童クラブ	三田市		
狭間児童クラブ	三田市		
武庫第3児童クラブ	三田市		
弥生児童クラブ	三田市		
学園・あかしあ台・あかしあ台第2児童クラブ	三田市		
さんだ子ども科学教室	三田市		
電友会兵庫支部FL兵庫北阪神部会	三田市		
はっぴーさぶり	三田市		
しぐなる俳句会	三田市		
びびよキッズ	三田市		
親子リズムトロ	三田市		
三田児童クラブ	三田市		
デイサービス笑和	三田市		
三田市高齢者大学大学院自然環境コース	三田市		
三田わくわく村	三田市		
すずかけ台児童クラブ・第2児童クラブ	三田市		
けやき台児童クラブ・けやき台第2児童クラブ	三田市		
和貴以クラブ	神戸市		
フィットネスコミュニティーリックル	神戸市		
兵庫県高等学校教育研究会科学部会・生物部会	神戸市		
NPO 法人さんぼクラブ	神戸市		
六甲成田塾	神戸市		
老人クラブ丸山寿会	神戸市		
西大窪自治会	神戸市		
グループホームこころ	神戸市		

神戸市立 長田公民館	神戸市	西宮市立上ヶ原育成センター	西宮市
平野・押部酪農部会	神戸市	北夙川連合子ども会	西宮市
平成25年度市町職場研修生研修	神戸市	NPO法人子ども環境支援協会	西宮市
清栄会	神戸市	山旅人	西宮市
重池ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	西宮市立高須西育成センター	西宮市
神戸市E・Fブロック理科実験講習会	神戸市	西宮市立高須第2育成センター	西宮市
全国美術館会議教育普及研究部会	神戸市	西宮市立瓦林育成センター	西宮市
MPS 元気会	神戸市	奥池町自治会	芦屋市
日本ボーイスカウト神戸地区神戸53団	神戸市北区	ローズパーク北摂	伊丹市
日本ボーイスカウト神戸地区神戸53団	神戸市北区	伊丹市昆陽里小学校地区会	伊丹市
TKY 野球部	神戸市北区	伊丹市教育委員会総合教育センター	伊丹市
兵庫県立光風病院デイケア	神戸市北区	西野自治会	伊丹市
ひまわりデイサービス	神戸市北区	阪神ソアカレッジ阪神ひと・まち・創造講座2年生	伊丹市
特別養護老人ホーム八多の里	神戸市北区	社福いたみ杉の子シーズゆう	伊丹市
ルネ神戸北町2自治会	神戸市北区	伊丹市中学校教育研究会理科部会	伊丹市
コープカルチャー塚口	尼崎市	北摂里山大学	宝塚市
連合尼崎地協	尼崎市	宝塚市フレミア環境自然コース1年	宝塚市
ディ21 元気会	尼崎市	宝塚市フレミア環境自然コース2年	宝塚市
尼崎市園田東地区母親くらぶ	尼崎市	丸橋小クラブ	宝塚市
七松幼稚園 親子学級	尼崎市	宝塚コムコアテネ	宝塚市
尼崎市健康福祉局「親と子の健康回復事業」	尼崎市	デイサービス笑楽宝塚	宝塚市
尼崎市立小学校 理科教育研究会	尼崎市	東部子ども会	宝塚市
水堂三丁目社会福祉協会	尼崎市	きしゃぼっぽ宝塚	宝塚市
北城内福祉協会	尼崎市	宝塚市立西山小学校育成会	宝塚市
旭高長寿会	尼崎市	宝塚市立長尾小学校育成会	宝塚市
七松南立花福祉協会	尼崎市	宝塚保養キャンプ実行委員会	宝塚市
尼崎市立青少年いこいの家	尼崎市	BL キッズ	宝塚市
塚口西住宅町会 婦人部	尼崎市	児童デイサービスぴのつきお	川西市
開明町会	尼崎市	北摂自治会 平成会	川西市
JAF恐竜化石発掘体験	尼崎市	川西子ども家庭センター応援団	川西市
時友東老人クラブ	尼崎市	川西デイサービス ぴのきお	川西市
尼崎市老人クラブ連合会女性部	尼崎市	はなに会	川西市
西宮すなご医療福祉センター	西宮市	NPO 法人 美園ホーム	川西市
武庫川団地自治会	西宮市	鶯台子ども会	川西市
苦楽園子ども会	西宮市	川西絵手紙教室の会	川西市
ボーイスカウト西宮第21団	西宮市	東久代長寿会	川西市
デイサービス笑楽	西宮市	川西YMCA	川西市
児童デイサービス つばさ	西宮市	川西生涯学習短期大学	川西市
段上西地区青少年愛護協議会	西宮市	東谷地区老人クラブ連合会	川西市
コープ神戸 西宮東コープ委員会	西宮市	北摂YMCA	川辺郡猪名川町

青少年いこいの家	川辺郡猪名川町	多可町立キッズランドかみ「ひまわり会」	多可郡多可町
長池子ども会	明石市	沙弥部	多可郡多可町
明石南高校 同窓会	明石市	多可町加美区区長協議会	多可郡多可町
八幡自治会	明石市	西夢前台5丁目子ども会	姫路市
厄神老人クラブ	加古川市	姫路市立生涯学習大学校	姫路市
若松塾 加古川校	加古川市	那波中学校 PTA	姫路市
陵北シルバークラブ	加古川市	谷内子ども会	姫路市
志友会	加古川市	青山北2丁目子ども会	姫路市
いなみ野学園 園芸学科3年の会	加古川市	勝山町子ども会	姫路市
旭団地少年団	加古川市	下住なかよし会	姫路市
大崎少年団	加古川市	京口町自治会	姫路市
尾上グリーンハイツ少年団	加古川市	姫路スイミングスクール	姫路市
加古川西公民館 家庭教育学級 土の子	加古川市	障害者支援施設 三愛園	姫路市
睦会	加古川市	青空子ども会	姫路市
加古川市立山手中学校PTA	加古川市	蒲田自治会役員会	姫路市
兵庫県トラック協会 東播支部	加古川市	慈眼寺一心会	姫路市
加古川市手をつなぐ育成会	加古川市	別所西子ども会	姫路市
旭少年団	加古川市	カタダ事務所会	姫路市
兵庫県いなみ野学園	加古川市	清住園	姫路市
島子ども会	高砂市	市川台2丁目自治会	神崎郡市川町
稲美町じんけんわくわくスクール	加古郡稲美町	瀬加青少年育成会	神崎郡市川町
播磨町本荘北サロン	加古郡播磨町	甘地子ども会	神崎郡福崎町
西脇市芳田ふれあい会議	西脇市	旭連合自治会	相生市
野村町5区子ども会	西脇市	相生市手をつなぐ育成会	相生市
西脇多可交通安全協会	西脇市	本郷町自治会	相生市
ふれあいサロン水尾	西脇市	栄町1区自治会	相生市
広野地区子ども会	三木市	栄町2区自治会	相生市
増田子ども会	三木市	相生コープ委員会	相生市
さくら草の会	三木市	たつの市広山子ども会	たつの市
三木市吉川町公民館Kidsゆめひろば	三木市吉川町	神戸北山子ども会	たつの市
中谷町老人クラブ	小野市	土師子ども会	たつの市
ぬく森こもれびデイサービス	小野市	たつのごどもエコクラブ	たつの市
小野市檜山町老人クラブ常磐会	小野市	小宅婦人会	たつの市
檜山町子ども会	小野市	福寿会	たつの市
中西北町老人クラブ	加西市	ゆうゆう学園37	たつの市
下里地区はつらつ委員会	加西市	たつの市老人クラブ連合会龍野支部	たつの市
田原西老人会	加西市	千種川カレッジ塩屋校	赤穂市
加西市立善防公民館 若竹俳句教室	加西市	塩屋五月会	赤穂市
加西市環境課	加西市	新潮会	宍粟市
加茂病院	加東市	河原田子ども会	宍粟市

宍粟すぎの木家族会	宍粟市
シャルレてづち	揖保郡太子町
金剛寺子ども会	豊岡市
国府テラス育成会	豊岡市
上箇子ども会	養父市
川原町子ども会	朝来市
弥生が丘二区子ども会	朝来市
山東公民館ふるさと探検隊	朝来市
こぶし園家族会	美方郡香美町

香美町教育委員会	美方郡香美町
多利子ども会	丹波市
ふれあいクラブ	丹波市
丹波市氷上町石生新町自治会トクチャンクラブ	丹波市
丹波の森 OB大学1年	丹波市
鹿場子ども会	丹波市
猟友会 洲本支部	洲本市
老人大学ちどり学園	南あわじ市

◆ 県外

団体名	所在地
和光純薬労働組合	大阪府大阪市
どきどき斎塾	大阪府大阪市
特別養護老人ホーム井高野園	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校「花組」	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校「星組」	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校「緑組」	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校「風組」	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校「空組」	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校研究科(野鳥科)	大阪府大阪市
NPO 法人シニア自然大学校はばたき	大阪府大阪市
都ホテル労働組合	大阪府大阪市
ヒルトン大阪	大阪府大阪市
古市連合町会	大阪府大阪市
風の子そだち園	大阪府大阪市
社会福祉法人 宝島福祉会	大阪府豊能郡
森の勉強会	大阪府茨木市
鉱物クラブ(大阪府三島郡)	大阪府三島郡
島本町教育委員会	大阪府三島郡
吹南地区福祉委員会	大阪府吹田市
北山田地区青少年対策委員会	大阪府吹田市
日本展示学会	大阪府吹田市
人権啓発推進協議会千一地区委員会	大阪府吹田市
ボーイスカウト吹田21団	大阪府吹田市
片山南少年野球部	大阪府吹田市
吹田市理科部	大阪府吹田市
吹田市人権協豊一地区委員会	大阪府吹田市
吹田市人権啓発推進協議会 江坂大池地区	大阪府吹田市
吹田市人権啓発推進協議会 南山田地区委員会	大阪府吹田市

摂津市ハイキング同好会	大阪府摂津市
池楽会	大阪府枚方市
寝屋川市社会を明るくする運動 八中地区推進会	大阪府寝屋川市
寝屋川市社会を明るくする運動 友中地区推進委員会	大阪府寝屋川市
旭町子ども会(東大阪)	大阪府東大阪市
大阪府立枚岡樟風高等学校PTA	大阪府東大阪市
ファミリーハイツ八尾	大阪府八尾市
大阪シニア自然カレッジ	大阪府和泉市
放送大学学習センター 旅クラブ	大阪府大阪狭山市
渋川第2子ども会	大阪府
メリーマート	大阪府
京都市立高校 理化・生物研究会	京都府京都市
年金者組合 亀岡支部	京都府亀岡市
亀岡市 保津児童館	京都府亀岡市
久御山町ふれあい交流館ゆうホール	京都府久世郡
舞鶴市肢体障害者協会	京都府舞鶴市
今熊野天寿会	京都府
長山町・中坂町子ども会	京都府
すがもと町町内会	京都府
橿原市昆虫館友の会	奈良県橿原市
松阪市民生児童主任委員協議会	三重県松阪市
JICA 研修	東京都
美濃市連合自治会	岐阜県美濃市
岡山県浅口市環境衛生協議会金光支部	岡山県浅口市
スーパーサイエンスミュージアム	広島県広島市
名西郡小学校教育研究会理科部会	徳島県名西郡
横浜ラグビースクール	不明

来館学校団体一覧

学校団体利用 延べ274団体

◆県内

<保育園・幼稚園>		<小学校>	
キッズポート保育園	三田市	三田市立けやき台小学校	三田市
よこやま保育園	三田市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
光の子保育園	三田市	三田市立ゆりのき台小学校	三田市
三田市立三田保育所	三田市	三田市立学園小学校	三田市
若草保育園	三田市	三田市立狭間小学校	三田市
花の森保育園	神戸市	三田市立広野小学校	三田市
ポッポ保育園	尼崎市	三田市立弥生小学校	三田市
新甲東保育園	西宮市	三田市立藍小学校・つつじが丘小学校	三田市
西宮市立大社保育所	西宮市	合同特別支援学級	
三木市立志染保育所	三木市	わくわくアクト(道場・鹿の子台・長尾 特支合同)	神戸市
三木市立別所保育所	三木市	神戸市立井吹東小学校	神戸市
社会福祉法人 えびす保育園	三木市	神戸市立花山小学校	神戸市
神和保育園	三木市	神戸市立駒ヶ林小学校	神戸市
北辰保育園	小野市	神戸市立荒田小学校	神戸市
粟生保育所	小野市	神戸市立高津橋小学校	神戸市
みどり保育所	多可郡多可町	神戸市立桜が丘小学校	神戸市
丹波市立柏原保育所	丹波市	神戸市立桜の宮小学校	神戸市
北摂第一幼稚園	三田市	神戸市立小東山小学校	神戸市
ふじ幼稚園	三田市	神戸市立西山小学校	神戸市
三田けやき台幼稚園 おひさま保育園	三田市	神戸市立多聞台小学校	神戸市
三田つつじが丘幼稚園	三田市	神戸市立大池小学校	神戸市
やよい幼稚園	三田市	神戸市立淡河小学校	神戸市
ピーターパンインターナショナルプレスクール	神戸市	神戸市立長尾小学校	神戸市
神戸ドイツ学院	神戸市	神戸市立唐櫃小学校	神戸市
神戸市立からと幼稚園	神戸市	神戸市立藤原台小学校	神戸市
西舞子幼稚園	神戸市	神戸市立八多小学校	神戸市
くるみ幼稚園	西宮市	神戸市立福住小学校	神戸市
幸幼稚園	西宮市	神戸市立有野小学校	神戸市
神戸海星女子学院 マリア幼稚園	西宮市	神戸市立有野台小学校	神戸市
伊丹市立伊丹幼稚園	伊丹市	神戸大学附属住吉小学校	神戸市
宝塚市立安倉幼稚園	宝塚市	神戸中華同文学校	神戸市
宝塚自然幼稚園	宝塚市	尼崎市立成徳小学校	尼崎市
新清和台幼稚園	川西市	尼崎市立潮小学校	尼崎市
YMCA松尾台幼稚園	川辺郡猪名川町	尼崎市立長洲小学校	尼崎市
篠山市立古市幼稚園	篠山市	尼崎市立尼崎北小学校	尼崎市

尼崎市立梅香小学校	尼崎市	川西市立明峰小学校	川西市
尼崎市立浜田小学校	尼崎市	川西市立陽明小学校	川西市
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市	猪名川町立つつじが丘小学校	川辺郡猪名川町
尼崎市立武庫小学校	尼崎市	猪名川町立白金小学校	川辺郡猪名川町
尼崎市立明城小学校	尼崎市	明石市立江井島小学校	明石市
尼崎朝鮮初中級学校	尼崎市	明石市立高丘西小学校	明石市
西宮市立東山台小学校	西宮市	明石市立人丸小学校	明石市
西宮市立名塩小学校	西宮市	明石市立大久保南小学校	明石市
芦屋市立宮川小学校	芦屋市	明石市立朝霧小学校	明石市
芦屋市立山手小学校	芦屋市	明石市立鳥羽小学校	明石市
芦屋市立精道小学校	芦屋市	加古川市立神野小学校	加古川市
芦屋市立打出浜小学校	芦屋市	加古川市立川西小学校	加古川市
芦屋市立潮見小学校	芦屋市	加古川市立東神吉南小学校	加古川市
伊丹市立伊丹小学校	伊丹市	加古川市立尾上小学校	加古川市
伊丹市立荻野小学校	伊丹市	加古川市立浜の宮小学校	加古川市
伊丹市立花里小学校	伊丹市	加古川市立別府西小学校	加古川市
伊丹市立鴻池小学校	伊丹市	高砂市立伊保小学校	高砂市
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	高砂市立荒井小学校	高砂市
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	高砂市立曾根小学校	高砂市
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	高砂市立米田小学校	高砂市
伊丹市立神津小学校	伊丹市	稲美町立天満小学校	加古郡稲美町
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町
伊丹市立摂陽小学校	伊丹市	播磨町立播磨西小学校	加古郡播磨町
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	播磨町立播磨南小学校	加古郡播磨町
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	西脇市立桜丘小学校	西脇市
伊丹市立緑丘小学校	伊丹市	西脇市立比延小学校	西脇市
伊丹市立鈴原小学校	伊丹市	西脇市立芳田小学校	西脇市
宝塚市立安倉北小学校	宝塚市	三木市立三樹小学校	三木市
宝塚市立長尾南小学校	宝塚市	三木市立緑が丘東小学校	三木市
宝塚市立西山小学校	宝塚市	小野市立河合小学校	小野市
宝塚市立中山桜台小学校	宝塚市	小野市立市場小学校	小野市
川西市立加茂小学校	川西市	小野市立小野東小学校	小野市
川西市立久代小学校	川西市	小野市立大部小学校	小野市
川西市立川西北小学校	川西市	加西市立賀茂小学校	加西市
川西市立多田小学校	川西市	加東市立滝野東小学校	加東市
川西市立多田東小学校	川西市	加東市立滝野南小学校	加東市
川西市立けやき坂小学校	川西市	兵庫教育大学附属小学校	加東市

姫路市立荒川小学校	姫路市	多可町立八千代中学校	多可郡多可町
姫路市立香呂小学校	姫路市	たつの市立龍野東中学校	たつの市
姫路市立手柄小学校	姫路市	赤穂市立坂越中学校	赤穂市
朝来市立山口小学校	朝来市	赤穂市立赤穂中学校	赤穂市
朝来市立梁瀬小学校	朝来市	上郡町立上郡中学校	赤穂郡上郡町
篠山市立今田小学校	篠山市	兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習	赤穂郡上郡町
丹波市立久下小学校	丹波市	豊岡市立城崎中学校	豊岡市
丹波市立三輪小学校	丹波市	豊岡市立日高東中学校	豊岡市
南あわじ市立沼島小学校・灘小学校	南あわじ市	豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市

< 中学校 >

三田市立富士中学校	三田市
三田市特別支援教育研究協議会中学部会	三田市
神戸市立高倉中学校	神戸市
神戸市立神陵台中学校	神戸市
神戸市立垂水東中学校	神戸市
神戸市立星和台中学校	神戸市
神戸市立長坂中学校	神戸市
神戸市立唐櫃中学校	神戸市
神戸市立桃山台中学校	神戸市
神戸市立友が丘中学校	神戸市
神戸朝鮮初中級学校	神戸市
愛徳学園中学校	神戸市
神戸市立飛松中学校	神戸市
神戸市立有野北中学校	神戸市
尼崎市立中央中学校	尼崎市
尼崎市立塚口中学校	尼崎市
百合学院中学校	尼崎市
武庫川女子大学附属中学校	西宮市
伊丹市立西中学校科学部	伊丹市
宝塚市立長尾中学校	宝塚市
明石市立衣川中学校	明石市
明石市立魚住中学校	明石市
明石市立望海中学校	明石市
加古川市立加古川中学校	加古川市
三木市立星陽中学校	三木市
小野市立小野南中学校	小野市
兵庫教育大学附属中学校	加東市

朝来市立朝来中学校	朝来市
朝来市立梁瀬中学校	朝来市

香美町立香住第一中学校	美方郡香美町
香美町立小代中学校	美方郡香美町
丹波市立市島中学校	丹波市
柳学園中学校	洲本市

< 高等学校 >

兵庫県立御影高等学校 環境科学部	神戸市
兵庫県立長田高等学校	神戸市
兵庫県立舞子高等学校	神戸市
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市
兵庫県立有馬高等学校	三田市
兵庫県立加古川東高等学校	加古川市
兵庫県立姫路飾西高等学校 SSC	姫路市
兵庫県立相生高等学校	相生市
兵庫県立龍野高等学校	たつの市
兵庫県立伊和高等学校	宍粟市
兵庫県立山の学校	宍粟市
兵庫県立八鹿高等学校	養父市
兵庫県立篠山東雲高等学校	篠山市
神戸市立六甲アイランド高等学校 自然科学部	神戸市
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市

< 大学 >

関西学院大学総合政策学部 吉野ゼミ	三田市
神戸大学発達科学部人間環境学科	神戸市
兵庫県立大学外国人留学生研修旅行	神戸市
大阪青山短期大学	川西市

兵庫教育大学 加東市
 兵庫県立淡路景観園芸学校 淡路市

兵庫県立のじぎく特別支援学校 中学部 神戸市
 兵庫県立神戸特別支援学校 中学部 神戸市
 兵庫県立氷上特別支援学校 中学部 丹波市
 兵庫県立上野ヶ原特別支援学校 三田市
 神戸大学附属特別支援学校 高等部 明石市

<特別支援学校など>

神戸市立青陽西養護学校 小学部 神戸市
 兵庫県立視覚特別支援学校 神戸市

◆ 県外

<保育所・幼稚園>

おおわだ保育園 大阪府門真市

<小学校>

追手門学院小学校 大阪府大阪市
 城星学園小学校 大阪府大阪市
 池田市立呉服小学校 大阪府池田市
 池田市立石橋小学校 大阪府池田市
 大阪教育大学附属池田小学校 大阪府池田市
 吹田市立岸部第二小学校 大阪府吹田市
 吹田市立山田第一小学校 大阪府吹田市
 高槻市立阿武野小学校 大阪府高槻市
 高槻市立清水小学校 大阪府高槻市
 高槻市立南大冠小学校 大阪府高槻市
 高槻市立北清水小学校 大阪府高槻市
 高槻市立南平台小学校 大阪府高槻市
 茨木市立春日小学校 大阪府茨木市
 茨木市立安威小学校 大阪府茨木市
 茨木市立玉櫛小学校 大阪府茨木市
 茨木市立彩都西小学校 大阪府茨木市
 箕面市立萱野小学校 大阪府箕面市
 箕面市立萱野東小学校 大阪府箕面市
 摂津市立鳥飼北小学校 大阪府摂津市
 豊能町立東ときわ台小学校 大阪府豊能郡
 豊能町立田尻小学校 大阪府豊能郡
 能勢町立岐尼小学校 大阪府豊能郡

<中学校>

開明中学校 大阪府大阪市
 同志社香里中学校 大阪府寝屋川市
 門真市立門真はすはな中学校 大阪府門真市
 清風南海中学校 大阪府高石市

<高等学校>

大阪府立泉北高等学校 大阪府
 奈良県立青翔高等学校 奈良県
 和歌山県立海南高等学校 和歌山県
 岡山理科大学附属高等学校 岡山県
 金光学園中学・高等学校 岡山県
 香川県立観音寺第一高等学校 香川県
 香川県立三本松高等学校 香川県
 岡山理科大学附属高等学校 Aコース 岡山県

<大学>

大阪府立大学生命環境科学部 大阪府
 大阪大学理学部生物科学科 大阪府
 関西大学環境都市工学部 大阪府
 白鳳女子短期大学 奈良県
 岡山理科大学博物館学芸員課程 岡山県

連携事業等

1. 山陰海岸ジオパーク支援キャラバン

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	「ジオ・キャラバン」が鳥取砂丘にやってくる!	鳥取砂丘ジオパークセンター	鳥取市	2013. 4. 1-14	4, 272
2	ジオキャラバン in 竹野	竹野北前館、御用地館	豊岡市	2013. 7. 13-31	6, 499
3	ジオキャラバン in 久美浜	稲葉本家	京丹後市	2013. 8. 2-9. 3	2, 858
4	ジオキャラバン in 湖山池	湖山池情報プラザ、全国都市緑化とっとりフェア	鳥取市	2013. 9. 25-10. 22	390
5	ジオパークフェスティバル	但馬ドーム	豊岡市	2013. 11. 9-10	6, 000

2. 主催アウトリーチ事業

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	ひとはくキャラバンin西紀SA	西紀サービスエリア	篠山市	2013. 4. 1-21	66, 500
2	移動博物館「ゆめはく」がやってきました!	JAF兵庫支部尼崎事務所	尼崎市	2013. 4. 13	121
3	展示会「丹波竜の仲間達」	コモレ丹波の森	丹波市	2013. 4. 26-5. 6	2, 062
4	ありまふじフェスティバル (春)	県立有馬富士公園	三田市	2013. 4. 27	5, 170
5	企画展「歴民に化石がやってくる」	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	福崎町	2013. 4. 27-5. 12	547
6	三田ホテル2周年イベント	三田ホテル	三田市	2013. 4. 28	60
7	ロハスミーツ明石 (春)	明石公園	明石市	2013. 4. 29	6, 000
8	明舞団地ハピネスマーケット	明石市松が丘公園	明石市	2013. 6. 2	250
9	こども☆ひかりフェスティバル in せんだい	仙台市農業園芸センター	仙台市	2013. 6. 8	1, 946
10	こども☆ひかりフェスティバル in ふくしま	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ	福島市	2013. 6. 9	1, 157
11	こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル	岩手県立博物館	岩手県盛岡市	2013. 6. 29	1, 140
12	こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル	岩手県立博物館	岩手県盛岡市	2013. 6. 30	1, 299
13	ひとはくキャラバン in 梁川天神社	梁川天神社 (福島県伊達市)	福島県伊達市	2013. 7. 1	350
14	ひとはくキャラバン in 道の駅みき	道の駅みき	三木市	2013. 7. 20-8. 31	57, 235
15	夏休み特別企画	瑞宝園	神戸市	2013. 7. 20-8. 31	1, 918
16	ひとはくキャラバン in 加西市	加西市立善防公民館	加西市	2013. 7. 23-28	1, 260
17	ひとはくキャラバン in 淡路ハイウェイオアシス	淡路ハイウェイオアシス	淡路市	2013. 7. 24-9. 2	89, 840
18	ひとはくキャラバンin大屋アート村BIG LABO 「大屋の石と大地のひみつを知ろう」	おおやアート村BIG LABO	養父市	2013. 7. 26-10. 8	867
19	ひとはくキャラバン in 加西市	加西市皿池公園	加西市	2013. 7. 27	40
20	三木木工ものづくり体験教室	かじやの里メッセみき	三木市	2013. 7. 28	100
21	ワークショップ移動博物館「ゆめはく」発進!!	三原ショッピングプラザパルティ	南あわじ市	2013. 8. 3	70
22	ひとはくキャラバン in 姫路市立南大津公民館	姫路市立南大津公民館	姫路市	2013. 8. 11	21
23	さんふらわあ夏祭りファミリークルーズ	フェリーさんふらわあ (フェリー内)	神戸市	2013. 8. 25	300

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
24	NHKのど自慢会場	丹波市立青垣住民センター	丹波市	2013. 9. 14	160
25	中学校自由研究作品展	伊丹総合教育センター	伊丹市	2013. 9. 21	300
26	おもちゃ王国「はたらくくるま 大集合！」	東条湖おもちゃ王国	加東市	2013. 10. 20	4,270
27	秋の恵み展 特別イベント	青垣いきものふれあいの里	丹波市	2013. 10. 19	48
28	ひとはくキャラバン 触って楽しもう	パールデイサービセンター	神戸市	2013. 10. 21	20
29		大阪科学技術センター	大阪市	2013. 11. 24	500
30	丹波なみきまつり	県立丹波並木道中央公園	丹波市	2013. 10. 27	5,800
31	ふれあいの祭典	尼崎の森中央緑地	尼崎市	2013. 11. 2	800
32	淡路うずしおフェスティバル2013	国立淡路青少年交流の家	南あわじ市	2013. 11. 10	357
33	丹波竜フェスタ	ちーたんの館	丹波市	2013. 12. 7	1,000
34	あわジオフェスティバル2013	国営明石海峡公園	淡路市	2013. 12. 21- 2014. 1. 14	5,127

3. キッズキャラバン

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	ネイチャーテクノロジー展「生きものってすごい！～色あせないキレイな色の生きもの～」	赤穂市立海洋科学館	赤穂市	2013. 4. 27-6. 2	4,921
2	わくわくネイチャー・テクノロジーワークショップ「貝がらでかわいい飾りをつくろう」	赤穂市立海洋科学館	赤穂市	2013. 5. 12	29
3	ひとはくKidsキャラバン in 三田	キッズポート保育園	三田市	2013. 7. 17	49
4	ひとはくKidsキャラバン in 宝塚	フレミラ宝塚	宝塚市	2013. 7. 30-31	410
5	ひとはくKidsキャラバン in 神戸	神戸市立有野児童館	神戸市	2013. 8. . 22	74
6	いろいろなムシ（昆虫標本展示）	キッズポート保育園	三田市	2013. 11. 1-25	2700
7	ひとはくKidsキャラバン in 宝塚	フレミラ宝塚	宝塚市	2013. 11. 2	44
8	ひとはくKidsキャラバン in 西宮	西宮ニコニコ桜保育園	西宮市	2013. 12. 7	90
9	ひとはくKidsキャラバン in 宝塚	宝塚市立中筋児童館	宝塚市	2013. 12. 14	15
10	ひとはくKidsキャラバン in 宝塚	宝塚市立御殿山児童館	宝塚市	2013. 12. 26	26
11	ひとはくKidsキャラバン in 宝塚	宝塚市立安倉児童館	宝塚市	2014. 1. 18	22
12	ひとはくKidsキャラバン in 伊丹	伊丹市立ささはら幼稚園	西宮市	2014. 1. 21	80

4. 学校キャラバン

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	学校キャラバン西在田小学校	加西市立西在田小学校	加西市	2013. 5. 1	108
2	天王寺川中学校	天王寺川中学校	伊丹市	2013. 9. 12-13	290
3	3小合同交流会	宍粟市立波賀小学校	宍粟市	2013. 10. 23	386

5. その他

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	ゆめはくカフェ	ひとはく	三田市	2013. 5. 11	34
2	ひとはくフェスティバル	ひとはく	三田市	2013. 11. 3	23,823

【共催・協力・後援事業等】

	実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
1	NPO法人 人と自然の会	ドリームスタジオ	身近な自然をテーマに、見たり聞いたり触ったりと五感をフルに活用して体感できるプログラムの実施	ひとはく	4/21, 5/19, 6/16, 7/21, 8/18, 9/15, 10/20, 11/17, 12/15, 2/16, 3/16	574	共催
2	NPO法人 人と自然の会	花工房	押し花を使ったしおりづくり体験	ひとはく	4/21, 5/19, 6/16, 7/21, 8/18, 9/22, 10/20, 11/17, 12/15, 2/16, 3/16	488	共催
3	Labones ラボーンズ	丹波の恐竜化石発掘セミナー	恐竜化石の発掘体験	ひとはく	4/28, 5/5, 6/16, 7/28, 8/11, 8/14, 8/15, 9/15, 10/20, 3/30	500	共催
4	希少植物研究会	タネから育てる希少山野草	希少な山野草を種から栽培する	ひとはく	4/5	20	共催
5	アピス同好会	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	ミツバチに関する学習と体験	ひとはく	4/27, 5/25, 6/22, 7/13	100	共催
6	アピス同好会	家族で蜂蜜しぼり	家族でミツバチを理解する	ひとはく	5/25	25	共催
7	NPO法人 人と自然の会	四季の星空案内	プラネタリウムを使った星空の解説	ひとはく	5/14, 7/7, 10/13, 12/1	100	共催
8	NPO法人 人と自然の会	人と自然の会入会セミナー	人と自然の会の入会案内	ひとはく	5/19	10	共催
9	run ♪run ♪plaza	リトルサイエンティストのためのrun ♪run ♪Sunday	公園で自然の不思議を体験	ひとはく	5/5, 6/2, 7/2, 9/1, 10/6, 12/1	100	共催
10	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	いながわ・ひめぼたる・ういーく	姫ボタルの観察	ひとはく	5/23, 5/24, 5/25, 5/26	100	共催
11	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	ヒメボタルインストラクター養成コース(全6回)	ヒメボタル観察の指導者養成	ひとはく	5/11, 5/25, 6/22, 6/29, 7/23	100	共催
12	希少植物研究会	挿し木で増やす希少山野草	希少な山野草を挿し木で増やす	ひとはく	6/18	20	共催
13	NPO法人 人と自然の会	コケ玉づくり	コケで盆栽づくり	ひとはく	6/9	20	共催
14	アピス同好会	家族で蜂蜜しぼり	家族でミツバチを理解する	ひとはく	6/22	20	共催
15	ハチ北高原自然協会	ハチ北・蘇武岳の大地と花をめぐる～香美町・山のジオパークツアー	鉢北の自然観察会	香美町 ハチ北高原	6/29-30	15	共催
16	run ♪run ♪plaza	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール	鉢北で昆虫採集と勉強会	香美町 ハチ北高原	7/21, 7/26-28, 8/3, 8/17, 8/25	50	共催
17	NPO法人 人と自然の会	日本古来の藍の生葉染め	藍の染色を通じて昔の知恵を学ぶ	ひとはく	7/20	20	共催

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
18 アピス同好会	愛蜂家基礎講座・初級	ミツバチに関する学習と体験	ひとはく	9/21, 10/26, 11/23, 12/21	70	共催
19 希少植物研究会	秋の伊吹山高山植物観察会	伊吹山の植物観察会	伊吹山	9/10	15	共催
20 高瀬優子	ちいさな子どもの指導者向け手で見る自然・生きもの	指導者向け研修会	ひとはく	9/1, 10/6, 12/1	60	共催
21 ハチ北高原自然協会	ハチ北高原 秋の自然観察ツアー	鉢北の秋の植物観察会	香美町 ハチ北高原	10/2-3	15	共催
22 鳴く虫研究会「きんひばり」	親子の鳴く虫のタベリ	鳴く虫の観察会	道場町有野川	10/5	20	共催
23 NPO法人 人と自然の会	ひとはくのお正月～日本の昔遊び～	お正月の行事の体験	ひとはく	1/3	50	共催
24 フレミラ宝塚	「しぜんクラブ」の活動への支援事業	指導者研修	宝塚	不定期	100	共催
25 宝塚自然保護協会	SATOYAMA講演会	里山講演会	宝塚市	5/18	101	共催
26 NPO法人 北播磨市民活動支援センター 自然観察サポーターチーム	「NPO法人 北播磨市民活動支援センター 自然観察サポーターチーム活動への支援事業」	指導者育成	小野市	不定期	100	共催
27 福崎町教育委員会	～民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあい事業～「歴史に化石がやってくる！」～第6幕 進化する放散虫～	化石の展示	福崎町	4/27-5/12	547	共催
28 姫ボタル祭り実行委員会	姫ボタルまつり	ヒメボタル観察会	山南町	6/15, 6/22, 6/29, 7/6	2,250	共催
29 GREEN GRASS	「植物画で語るキヨスミウツボの生活」展	キヨスミウツボの展示	六甲高山植物園	6/13-7/10	10,067	共催
30 神戸県民局	東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座	指導者創生	県民会館、東お多福山	6/29, 8/24, 10/14, 10/19, 11/27	59	共催
31 日本地質学会	第4回惑星地球フォトコンテスト入選作品展	写真展	ひとはく	7/6-8/4	13,000	共催
32 折爪岳振興協議会	地域の宝ヒメボタルフェスティバルin折爪岳2013	ヒメボタルに関する展示・観察会	岩手県二戸市	7/14, 15	200	共催
33 神戸市教育委員会	夏季企画展「発掘された骨たち ー人と動物ー」	化石の展示	神戸市西区	7/20-9/01	4,749	共催
34 兵庫県立図書館	巡回展示文庫「図書館を活用した防災学習」	防災関連の展示	明石市	7/19-9/18	56,576	共催
35 奇跡の星の植物館	トロピカルガーデンショー ネイチャーデザイン展	自然のデザインの展示	淡路夢舞台温室	7/13-9/29	28,623	共催
36 豊岡市	但馬国府・国分寺館 第17回ミニ企画展「キラキラ輝く昆虫たち」	昆虫の展示	但馬国府・国分寺館	7/20-9/1	1,848	共催
37 さんだサイエンスフェスティバル実行委員会	第3回さんだサイエンスフェスティバル	科学関連のセミナー	ひとはく	8/3	500	共催
38 兵庫県立図書館・徳島県立図書館	兵庫県立図書館×徳島県立図書館 興隆企画展 兵庫県発！！震災防災・減災～阪神・淡路大震災の教訓から～	防災関連の展示	徳島県立図書館	8/20-10/6	82,550	共催
39 南淡路市	ゆめはくがやってくる	移動博物館車による展示	南淡路市	8/3	167	共催

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
40 丹波市	丹波竜化石工房 化石クリーニング&発掘体験セミナー	化石発掘体験	丹波市	9/23	30	共催
41 こどもひかりプロジェクト	仙台しぜんかわらばん2013	しぜんかわら版の展示	スリーエム仙台科学館	10/12-10/20	3,000	共催
42 有馬富士自然学習センター	たびするタネ展	タネの展示	有馬富士自然学習センター	10/12-1/19	27,554	共催
43 丹波市	丹波竜フェスタ2013	恐竜の展示	丹波市	11/23	1,000	共催
44 兵庫県立御影高等学校	六甲山のキノコ展2014	きのこの展示	御影クラッセ	1/11-13	3,000	共催
45 淡路市教育委員会	国指定天然記念物 野島断層普及講演会	野島断層に関する展示	北淡震災記念公園セミナーハウス	1/13	160	共催
46 NP法人松江ツーリズム研究会	小泉八雲記念館企画展「ヘルンさんとタヨウ星人」	生物多様性大作戦のときに作成したタヨウ星人原画の展示	島根県松江市小泉八雲記念館	4/6-9/30	62,806	協力
47 兵庫県立美術館	2013年度コレクション展I「いのちの色 美術に息づく植物」展	美術と植物の関係を解説	県立美術館	4/28, 6/15	50	協力
48 六甲山を活用する会	平成25年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」	六甲山で観察会	神戸市六甲山	4月, 6月, 8月, 10月	119	協力
49 六甲山を活用する会	2013年度「六甲山子どもパークレンジャー」の学習綱領・運営方針づくり(不定期)	運営方針の検討	神戸市六甲山	不定期	100	協力
50 六甲山を活用する会	2013夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」H25年8月4日	指導者育成	神戸市六甲山	8/4	20	協力
51 六甲山を活用する会	2014冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」H26年2月2日	指導者育成	神戸市六甲山	2/2	70	協力
52 六甲山を活用する会	平成25年度六甲山環境整備協議会運営、および「二つ池環境学習林」の景観整備・環境調査等の指導者派遣(平成25年4月～平成26年3月31日の不定期)	指導者研修	神戸市六甲山	不定期	25	協力
53 丹波市	御影クラッセイベント及び伊丹空港空楽フェスタ2013「恐竜ワークショップ&丹波竜化石展示」	恐竜関係の展示	神戸市御影クラッセ	4/28	2,500	協力
54 丹波市	丹波竜化石工房ちーたんの館企画展 丹波竜復元画大公開	恐竜関係の展示	山南町	4/27-5/19	2,419	協力
55 NPO法人こどもとむしの会	講演会と昆虫たいけんムシのお話し5つ星レストラン:春の献立	昆虫の講演会	神戸大学 滝川記念館	5/6	300	協力
56 丹波市	丹波竜化石工房 化石クリーニング&発掘体験セミナー	化石の発掘体験	ちーたんの館	6/8, 7/14	80	協力
57 さんぽくらぶ	イナゴをとって食べる、はちみつしぼり	蜂蜜絞りの体験	ひとはく	6/8, 6/25, 7/25, 9/30, 10/8, 10/9	81	協力

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
58 佐賀県立宇宙科学館	2013ゆめぎんが夏の特別企画展「ジャングル熱帯の森の生き物」	熱帯関係の展示	宇宙科学館	7/13-9/16	89,332	協力
59 丹波市	関西大学博物館なんでも相談会「ちーたんと一緒に作ろう！&丹波竜化石展示」	相談会	関西大千里山キャンパス	7/28	20	協力
60 弥生が丘自治会	弥生ふるさとまつり	おまつり	弥生小学校	8/24	4,000	協力
61 宝塚こども未来協議会	化石発掘体験、太古への旅	化石発掘体験	阪急逆瀬川アピア	8/21-24	200	協力
62 日本山岳会関西支部	第17回森の勉強会	里山の植物観察会	ひとはく	10/5, 6	34	協力
63 公益社団法人日本山岳会関西支部自然保護委員会	森林と草原の学習会	草原の学習会	ひとはく	10/5, 6	15	協力
64 フェリシモしあわせの学校	生物多様性おやこ講座 丹波篠山アドベンチャー2「ささやまカラフルパラダイス〜ドングリと鳴く虫」	親子相談会	ささやまな家	11/16	20	協力
65 丹波市	丹波竜化石工房ちーたんの館特別展「羽毛をもった恐竜たち」	恐竜の展示	丹波市	11/23-1/13	4,626	協力
66 国立青少年交流の家	うずしおフェスティバル	渦潮関連の展示	淡路市	11/10	1,767	協力
67 兵庫県園芸公園協会 共同体明石海峡公園管理センター	あわジオフェスティバル2013	地学関係の展示	淡路市	12/21-1/13	7,408	協力
68 淡路夢舞台温室	淡路夢舞台ラン展2014	ランと昆虫の関係を展示	夢舞台温室	1/25-3/9	13,357	協力
69 宍粟市立図書館	巡回展示文庫「図書館を活用した防災学習」	防災学習の展示	宍粟市立図書館	1/17-2/8	2,642	協力
70 丹波市	丹波化石工房 化石クリーニング&発掘体験セミナー	化石発掘体験	丹波市	1/19	100	協力
71 明石文化芸術相勢財団	アートショカン！ 本のピクニック 恐竜ワールド	恐竜と本の関係の展示	アスパア 明石	1/19	83	協力
72 県立図書館	アートショカン！ ホントノデアイびつくり箱	図書に関する展示	アスパア 明石	3/8-3/10	1,000	協力
73 丹波市	空楽フェスタ(伊丹空港)「丹波竜化石工房恐竜ワークショップ&丹波竜化石展示」	恐竜関係の展示	伊丹空港	5/25	1,109	後援
74 江古花園運営委員会	第9回里山学校	里山の自然観察会	青垣町東芦田	7/7	40	後援
75 三木商工会議所	三木木工ものづくり体験教室&木工イベント	木工細工などの展示	三木市	7/28	4,576	後援
76 江古花園運営委員会	第10回里山学校	里山の植物観察会	青垣町東芦田	10/6	39	後援
77 宝塚市自然保護協会	湿原保全と紅葉の里山で遊ぼうや	植物を使ったワークショップ	宝塚自然の家	11/17	49	後援
78 丸山湿原群保全の会	丸山湿原群保全の会シンポジウム～兵庫の里山の生物多様性の現状とその保全について	湿原に関するシンポジウム	西谷会館	2/15	78	後援

ひとはくフェスティバル2013 参画団体リスト（順不同）

■後援・協賛団体

株式会社 北摂コミュニティ開発センター
株式会社 ミツカングループ本社
兵庫県阪神北県民局
株式会社 エフコーポレーション

■ステージ出演団体・キャラクター

アミーチ・ウインド・アンサンブル
篠山市のまるいの
丹波市のちーたん
三田市のキッピー
兵庫県のはばタン

■イベント開催団体

NPO 法人 人と自然の会「理科ボックスクラブ」
NPO 法人 人と自然の会「花工房」
NPO 法人 人と自然の会「星の会」
NPO 法人 人と自然の会「里山クラブ」
NPO 法人 人と自然の会「ネイチャークラフトクラブ」
ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS
ひとはく連携活動グループ run ♪run ♪plaza
(るんるんぷらざ)
ひとはく連携活動グループ テネラル
神戸市立須磨海浜水族園ボランティア(SAPV)
三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ
(SMUG)
伊丹市昆虫館友の会・伊丹市昆虫館
一般財団法人大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪
ひょうご考古楽倶楽部
みんぱくミュージアムパートナーズ(MMP)
兵庫県立丹波並木道中央公園
たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会
丹波竜化石工房「ちーたんの館」

NPO 法人キッピーフレンズ&有馬富士公園パークセンター

兵庫県立歴史博物館
兵庫陶芸美術館
明石市立天文科学館
西宮市貝類館

株式会社 エフコーポレーション
株式会社 道下工務店神戸支店
国立淡路青少年交流の家
九州国立博物館
兵庫県立図書館

■飲食系出店団体

有限会社 福助
株式会社 飛行船
カレーハウス CoCo 壺番屋
企業組合 氷上つたの会
三田ホテル
峠茶屋
社会福祉法人 まほろば
ミツカンよかわビオトープ倶楽部
LOCOCREPE
まこれる三田の会

フロアサービス実績一覧

のべ 23,068 人参加

デジタル紙芝居(のべ 9,703 人)

アリマキのドロップ(481) たんぼぼレストラン(845) ころころだんちゃん(768)
ひとはくナイトミュージアム(361) アンモナイト物語(853)
タヨウ星人スナ・メリメリの冒険(836) くるりん・ひらりん空のたび(1,659)
丹波の恐竜タンタンものがたり(726) コウちゃんの 60 日間(726)
ぶくぶくあわわ～森から川へのおくりもの(909)
ススキ草原のオーケストラ(575) スミスネズミと 100 年の森(964)

展示室ツアー(のべ 3,534 人)

ひとはく不思議発見ツアー(278) 海のなかまたちツアー(527)
ひょうごのどうぶつ(30) ひょうごの自然じまんツアー(111)
ボルネオジャングル探検ツアー(2,409) 展示室ツアー(179)

フロアスタッフとあそぼう(のべ 4,322 人)

うきうきおりがみ～きょうりゅう(144) うみのカラフルさかな～浮沈子(93)
おひなさまづくり(80) かたつむりクイリング(72) ハロウィン(88)
きょうりゅうモバイル(90) クリスマスマバイル(64) はっぱ de かざろう!!(69)
くるくるとぶタネ(162) こいのぼりであそぼう(170) ひかる生きもの(200)
こいのぼりいをとぼそう(166) ころころだんごむし(45) ほねパズル(159)
ダンゴムシのおめん(66) チョコで作る化石のレプリカ(136)
ティラノ★ハット(78) どうぶつビンゴ～お正月 Ver(162) 画はくの日(647)
はくぶつかんペーパークラフト(62) ひとはくキュービックパズル(56)
へんしん☆だんごむし(201) ゆめはくペーパークラフト(65)
ゆらゆらきょうりゅう(77) ラフレシアを作ってみよう!!(45)
リサイクルペーパー工作(96) 化石のレプリカづくり(181) 川でさかなつり(565)
恐竜☆化石うちわづくり(98) 紙コップでつくる万華鏡(116)
風にのってとぶタネ(69)

うきうきワークショップ(のべ 3,471 人)

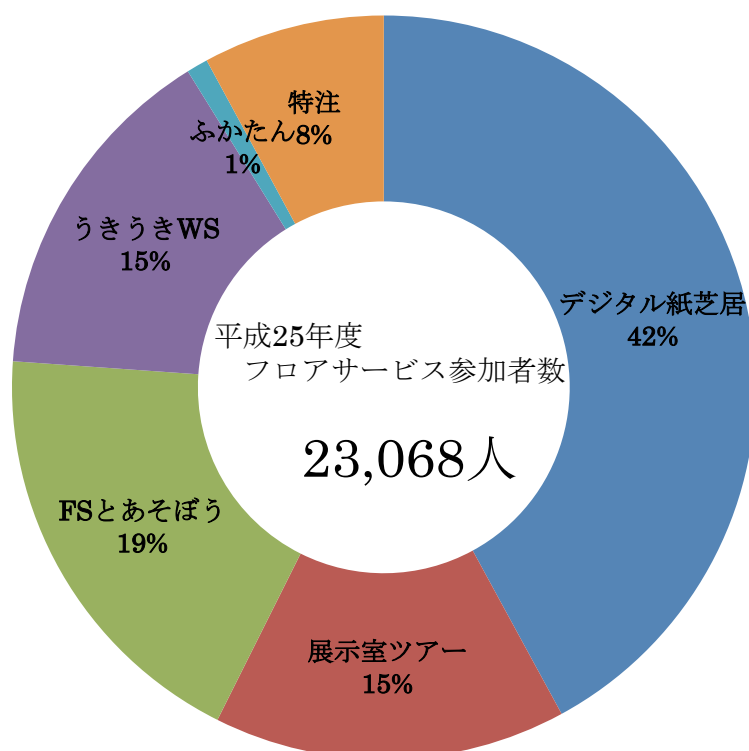
アメリカマストドンハット(64) からくり!!かくれ屏風(151)
くるくるとぶタネ(239) コノハムシペーパークラフト(83)
スライムをつくろう!!(117) チョウのペーパークラフト(106)
マジック★ちょきんぼこ(103) ゆめはくペーパークラフト(234)
簡単化石のレプリカづくり(2,148) 恐竜★化石うちわづくり(60)
六角パズル(130)

ふかたん(のべ 215 人)

ザリガニ捕まえられるかな?(102) きのこ GET だぜ!!(30)
トカゲを探しにいこう(44) 春の花さがし大作戦!!(19) 初夏の鳥をさがそう(20)

特注その他(のべ 1,823 人)

特注デジタル紙芝居(1,490) 特注展示室ツアー(101)
特注恐竜ラボレク(41) きょうりゅう骨パズル(61)
万華鏡づくり(68) 楽しい化石学習とレプリカづくり(62)



外部資金導入状況

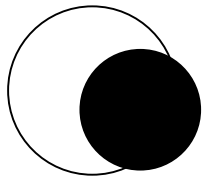
◆科研費等助成金

助成課題名	助成者	種別	代表者名(所属)	分担者名(館員のみ)	助成金額(万円)
1 地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	加藤茂弘		117
2 袋状埋積谷に着目した近畿三角帯北部域の伏在活断層の高精度評価	日本学術振興会	基盤研究(B)	岡田篤正(立命館大学)	加藤茂弘	104
3 ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実	日本学術振興会	特別推進研究	諏訪 元(東京大学総合研究博物館)	加藤茂弘	1170
4 日本産古生代後期有孔虫類の種多様性と群集組成の時空分布	日本学術振興会	基盤研究(C)	小林文夫		156
5 恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開	日本学術振興会	基盤研究(C)	佐藤裕司	古谷裕・三枝春生・半田久美子・池田忠広	143
6 広域分布する蘚苔類における地域集団間分化の解明	日本学術振興会	基盤研究(C)	秋山弘之		247
7 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域的インベントリー	日本学術振興会	基盤研究(A)	神崎護(京大)	秋山弘之	70
8 アリーアリ擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明:多様性創出は生態系安定に寄与するか	日本学術振興会	基盤研究(C)	橋本佳明		48
9 東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分類学的研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	太田英利		221
10 特異な性の維持機構とその進化ー全く新しい性表現を持つ植物からのアプローチ	日本学術振興会	若手研究(B)	布施静香		117
11 ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究(B)	先山徹	高野温子・高橋晃・藤本真里・赤澤宏樹	690
12 被災した子ども達が大人になるまでー博物館こそができる長期継続型支援システムの構築	日本学術振興会	基盤研究(C)	八木剛	赤澤宏樹・布施静香・古谷裕・小館誓治	5
13 分子生物学的手法によるオキナワキノボリトカゲ外来個体群の原産地の特定	日本学術振興会	基盤研究(C)	本多正尚(筑波大)	太田英利	26
14 アリ擬態クモ類におけるミミックモデル関係の進化パターン解明	住友財団基礎科学研究助成		山崎健史(鹿児島大学)	橋本佳明	40
15 ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究(B)	先山徹	藤本真里・赤澤宏樹・高野温子	20
16 被災した子ども達が大人になるまでー博物館こそができる長期継続型支援システムの構築	日本学術振興会	基盤研究(C)	八木剛	古谷裕・小館誓治・布施静香・赤澤宏樹	10
17 伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラの継承システムに関する研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	上甫木昭春	上田萌子	25
18 スマトラ島西部地震からの現地漸進型と集落移転型集落再建プロセスの空間論的比較分析	日本学術振興会	基盤研究(C)	市古太郎	山崎義人	26
19 ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究(B)	先山徹	藤本真里・赤澤宏樹・高野温子	20
20 学校と連携した地域学習の展開に関するアクションリサーチ	兵庫県シンクタンク等協議会自主研究グループ調査・研究助成		赤澤宏樹	赤澤宏樹・橋本佳明・八木剛・藤本真里・上田萌子・西岡敬三	30

助成課題名	助成者	種別	代表者名(所属)	分担者名(館員のみ)	助成金額(万円)
21 都市近接の沿岸域における塩性湿地のマネジメント手法の検討	公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団		上田萌子		49
22 希少種ニホンイヌワシの保全－餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築－	日本学術振興会	若手研究(B)	布野隆之		50
23 DAISYを応用したコミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解説技術の開発	日本学術振興会	基盤研究(C)	三谷雅純		33
24 受講者と探るカワバタモロコの絶滅過程	日本学術振興会	挑戦的萌芽	田中哲夫		78
25 コミュニケーション障がい者にも理解しやすい展示解説技術の研修	科学博物館活動助成		三谷雅純		32
26 都市域における自然系エコムージウム形成・持続的運営のための手法の開発	日本学術振興会	若手研究(B)	橋本佳延		90
27 海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築－山陰海岸国立公園を事例に	日本学術振興会	若手研究(B)	黒田有寿茂		104
28 照葉樹林の自然性および種多様性の復元に関する基礎的研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	石田弘明	黒田有寿茂・小館誓治	39
			合計		3760

◆受託研究等

件名	委託元	受託者	金額(円)
1 ミツカンよかわビオトープ倶楽部の運営に関する研究その2	株式会社ミツカングループ本社	藤本真里	750,000
2 加西市における「ひとほくキャラバン」の実施とその評価業務	加西市	高野温子・石田弘明・黒田有寿茂・藤本真里	230,000
3 平成25年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務	大阪ガス株式会社	橋本佳延・石田弘明・黒田有寿茂	1,305,150
4 シダ類等の栽培業務	公益財団法人ひょうご環境創造協会	橋本佳延	550,000
5 平成25年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	阪神南県民局	橋本佳延	1,100,400
6 南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務	三田市	橋本佳延・石田弘明・黒田有寿茂	400,000
7 平成25年度兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全業務(その2)	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	橋本佳延	628,000
8 平成25年度尼崎の森中央緑地新名神高速道路予定地における地域性植物の移植・育苗業務委託	阪神南県民局	橋本佳延	1,712,550
9 パークマネジメントの人材養成に関する研究その7	阪神北県民局	藤本真里	1,000,000
10 キリンビール神戸工場内レフュジアビオトープ創出に関する研究	キリンビール株式会社神戸工場	田中哲夫	450,000
11 「KOBELCOの森」植生モニタリング調査養成業務	(株)神戸製鋼所	橋本佳延・黒田有寿茂	50,000
12 野島断層の保存・活用に関する研究	淡路市教育委員会	加藤茂弘	270,000
13 慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	兵庫県立淡路景観園芸学校	黒田有寿茂	350,000
		合計	8,796,100



利用案内

■開館時間

10時～17時(入館は16時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)

年末年始(平成25年12月28日～平成26年1月2日)

メンテナンス休館(平成26年1月6日～2月7日)

■観覧料 (平成25年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
大人*	200円	150円
大学生	150円	100円
高校生	100円	70円
中学生以下	無料	

*:65歳以上の方は半額、障害者(介護者を含む)は半額

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

■使用料 (平成25年4月1日現在)

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
(土日祝)	5,500円	7,000円	12,500円
(平日)	4,400円	5,600円	10,000円

なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交通

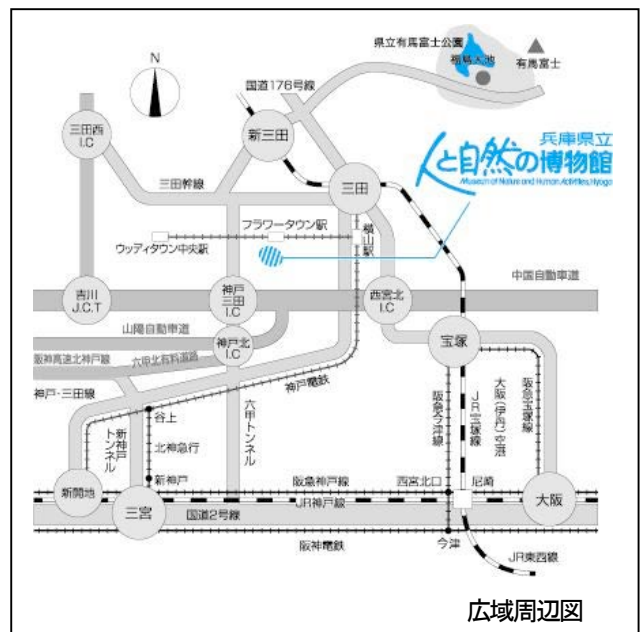
神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
神姫バスフラワータウンセンター下車すぐ。
中国自動車道神戸三田より10分。

■駐車場

バス 13台 無料(要予約)
普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



博物館周辺図



広域周辺図



ANNUAL REPORT
of
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
For the Fiscal Year of 2013
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan